
樋口葉子の日常

しゅう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者また
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

樋口葉子の日常

【Zコード】

N6157U

【作者名】

しゅう

【あらすじ】

22歳。高校教師。処女。樋口葉子は自己紹介が苦手だ。

せじめかにせじめり

今日でちょうど二ヶ月になる。立ちっぱなしでむくんだ足を洗すりつつ葉子は気づいた。どおりで「先生」なんて呼ばれても最近はあまり面喰わなくて済むんだ。

電車が揺れて、正面で居眠りしていた中年男が驚いたように顔をあげた。その顔を直視しないように慎重に視線を外すと、窓の外に墨汁を注いだみたいに真っ黒い森が見えた。新宿の街はこの時間にだつて屋外で本が読めるくらい明るかつたのに。葉子は数か月前、女子大生だった自分がもうよく思い出せない。楽しかったのか、つらかったのか、いろいろあつたはずなのに就職活動しかしてこなかつた気がする。

いま葉子は地元の出来の悪い私立高校で常勤講師をしている。常勤講師とは、正規雇用ではないにもかかわらず学年業務や、部活動や、ヘタをすると担任まで持たせられる教員のことだ。最低限の給料で、ボーナスもなければもちろん残業にも休日出勤にも手当ではつかない。毎日朝の七時半に学校につき毎日九時近くまで家に帰れない。でも葉子にはほかに行けるところがなかつたし、大学に残つて就活をする」とは親が許さなかつた。

七田五田（前書き）

暑い。

期末考査の一科目。朝から調子が悪くて（身体の健康状態のことではない）手提げ袋に突つ込んだ袋から豆菓子をつかんでぱりぱり噛み砕きながら電車に乗っていた。塩のついた手をどうしようかと考えながら歩いていたら先輩教諭の田淵がおはよう「やあ」まーす、と言いながら葉子を追い抜いて行つた。菓子を食べながら歩いていた自分に今更ながら恥ずかしくなつて、挨拶を返す声はやや裏返つた。ふと前を見ると葉子と同期の上村が歩いていて、田淵に気がつくと頭を下げる。一人は親しい友人同士のように並んで話しながら歩いて行く。

自分にはああいうことはできない。

みつともないのが分かつていても菓子を口に運ぶては止まらなかつた。胃も限界だし顎も痛いし、これ以上カロリーをとるなんてとんでもないのにどうにもならない。暑さのせいばかりでなく、校門をくぐるころには葉子はからだじゅうがじつとり汗ばんでいた。

職員室に入るとすつと空気が涼しい。挨拶をしながら席につき、さりげなく見渡す。阿部の姿がないのにほつとして、考査問題をとりに教務用ロッカーに向かつた。昨日は出勤したらすでに監督の教師の机に一日分の考査問題がおかれてしまつていた。専用の袋に入れてからロッカーに提出された考査問題を監督の先生に配つて歩くのは葉子の仕事なのに上司にやられてしまつてはなんというか非常にまずい。学校は他の業種に比べて縦関係が薄い。またそうでなければならぬものとされている。でもやっぱりそれは真に受けではいけない建前だし、分かりづらい暗黙のルールはたくさんある。

葉子は22年間かけて自分がただでさえ人の輪から外れやすい人間だとようやく認め、その危険性にも気がついた。だからそういうものにはことさら敏感でありたいと思うのだが、奈何せん、上手くいかない。

半日はあつとこう間に過ぎて、昼になつた。担当教科のテストが返ってきたのでマルつけをしていると、鈴木がメモボードを手に横に立つた

「先生、この日部活の大会あるんで、不参加です」

「そうでしたっけ。すみません、ありがとうございます」

そうでしたっけ、といったあとで葉子は以前その時期に大会があると知らされていたことを思い出した。なんでわざわざ『忘れてましたアピール』しちゃつてるんだろう。

「あ、そうだ。鈴木先生、今週の土曜つて練習あります?」

「ありますよ」ああ。あるんだ。

葉子は今週末オールでカラオケに行く予定だつた。六時から翌五時まで、アルコール飲み放題がついて三千円というお得なコースだ。「午前ですか? 午後ですか? あたしできたら午前のほうがいいかなー、なんて・・・」

「・・・バレーとバスケにもりますけど・・・午前ですね」

いつた瞬間また後悔した。これでは部活が自分の都合の妨げになると黙つていいようなものではないか。

「そうですか。ありがとうございます」

部活いやだ部活いやだ部活いやだといつのがもうたぶん全身からオーラになつて飛んでいるんだろう。そうだよわたしは働くのなんか嫌いだし汗かくのも苦労するのも大つきらいなんだよ。こんな仕事を辞めて新宿とか池袋に戻りたい。ちょっと服買つたり過食用食材買うくらいのお金なら何の苦労もなく調達できる環境に戻りたいんだよ。ああああああでも正社員にならないとだし、事務も営業もできそうにないしでもこんなんじゃ正採用されるかどうかなんかわからない。そのための努力をするとかするふりをすることすらいやでいやでしかたがない。このついさっきだつて業務時間中に携帯をいじつていたところを主任に話しかけられてしまつた。しかもその内容はむしろ自分のほうから伺いを立てなければならない類のものだつた。気が利かない、サボりたがり、仕事はミスばかり、知識な

らあるのかといふと別にそういうわけでもない。教育実習生よりたちがわるい。そしてなにより周りの輪に溶け込めない。

三時を過ぎるとみんな中学校訪問やら下校指導やらで学年の先生はいなくなつてしまつた。他の学年は人数は少ないものの「スク」に人がいるのに一年生だけガラガラだ。

周りの談笑を聞きながらペンを動かしていると急に猛烈な孤独と焦りを感じた。

給湯室まわりの掃除もひとりきりでやつた。「ゴミ袋を一つ抱えて、足で扉を開けたのを教頭に見られた。教頭は何とも言えない顔をして

「大丈夫樋口さん」

「大丈夫です、すみません」

「ゴミ置き場は雑然としていて、ジュースのペットボトルを入れたポリ袋の表面には普通より一回り大きく黒々としたありが多数這いまわっていた。考查中だからかサッカーボールの声も聞こえない。まだ夏の日は明るい。静かで、うだるように暑かった。

定時になるのを待つて葉子は「そこそと逃げるよつに帰つた。帰り際下田と岡本が連れだつて帰るのに会つた。下田は自分と同じ電車を使つてゐるのもしかしたら先を歩いているかもしれないと思つたが、ほんの数分しかたつていないので学校の前の長い一本道には誰の姿もなかつた。岡本の車で帰つたんだろうな、と思つた。

職員室の窓から笑い声が聞こえてくるような気がする。結局私は昔から何一つ変われない。じつとりと夏の暑さが染みてくる。駅までの道を歩きながら葉子はいままでの、ありとあらゆる思い出したくな事柄をつきつきと思いだし、叫びだしたくなりそうな衝動をこらえていた。

いつだつてここではないどこかへ行きたくて逃げたくて仕方がなかつた。ここが淵なのか、とおもつたら無性にやりきれなくなつた。自分の人生とは何か、なんて中学生見たいな感情があとからあとからあふれ出てやまない。

帰りにピノの抹茶味を買って帰つた。まだ火曜日か。一生かかつ

ても休日が来ないような気がしてきた。

監督表のミスで出勤していない教員が監督になつていいたせいです
スト袋が行方不明になつた。でもチェック表にもテスト袋の表にも
同じことが書いてあつたら信用しちゃう、と葉子は思う。その先生
が出張だなんて知らなかつたし。

「すみませんでした」

「いいよ、みつかつたなら」

小走りで駆けていく小川を見ながら葉子はなんとなく腑に落ちない
思いがしていた。

テスト監督は確かに退屈だが、楽だ。50分なんてあつという間に
過ぎる。座つてはいけないのがつらいが、座つたら座つたで眠氣
に耐えられそうなので逆に助かっていた。

午後から下校指導と中学校訪問で学年主任と一人行動だ。20分
に出るといわれて20分に職員室に戻つたら主任の姿はすでになく、
持つていくためのパンフレットなどの袋もない。慌ててカバンをひ
つかみ外へ出ると主任はすでに玄関の前に車をつけていた。馬鹿
か私は。20分に出るつて言つたら20分に学校を出ることだろう
に。慌てて謝つて車に乗つた。

正直、緊張するしなにを話しても落ち着かない。昼食も相手の食
べるのに合わせていたら少しも食べた気がしなかつた。こんなのに
1000円近く払つて、余分なカロリーを取つて馬鹿みたいだと思
う。営業職じゃなくてよかつた。

葉子は人とモノを食べるのが苦手だ。人と比べて明らかに食べる
のが遅いし、食べているところを見られるのがものすごく嫌だから
だ。でもくちに入れる量はほんの少しにしないと噛んでいるのか味
わつてしているのかまるでわからないからすこしずつすこしづつ食べ
たい。大口にいっぱい詰め込んで口を動かすと顔が崩れて不細工が
さらに不細工になるから絶対いやだ。よく仲良くなる手段として「

「食事」が用いられることがあるが、あの神経はさっぱり理解できない。食事はひとりきりで誰からも見られずこつそりゅつくり食べるのが一番いい。他人に見られながらい料理を食べるより、一人きりで卵ごはんでも食べていたほうがよっぽど幸せだ。まあとにかく今日の葉子の昼食は金のむだなばかりではなく、体に脂肪を蓄えて醜くなるだけものだつたのだ。

六時過ぎ、近くの駅で降ろしてもらつてから葉子はアイスクリーミュを一つとゆで卵を三つと、かき氷を一杯、ビスケットを5枚、豆乳をコップに一杯。合わせて700キロからリー近くをもかつ込んでしまつた。先週と比べて2キロも太つた。もう嘔吐を解禁してしまいたい。週末にカラオケに行くからと控えていたが、これ以上太つたら頭がおかしくなりそうだ。

七月十一日

七月七日。とにかくつらい。早く一週間が終わってほしい。つらいとしか表せないのがイライラしてくるくらいつらい。

七月八日。金曜日なのに明日も仕事がある。わけがわからない。世の中の人はみんな休んでるし、それでも私よりいい給料もらってるのに。部活とか土曜投稿とか考えたやつはみんな苦しみぬいて死ね。うざいうざいうざいうざい

たぶん来ないだろうと思つて在学ニーートをやりながら漫画家になりたいなんてほざいている発達障害気味の友人に（言つてのことがむかつくだけで本人に恨みがあるわけではない。事実彼女の行く末が非常に心配だし早くそういうあほなことを言うのをやめて普通に就職してほしいと思っている）週末のヒトカラにつきあわないかと聞いたら来るという返事。やけになつてもうひとりにも連絡してみるとやはり来るという返事。約束が決まつたら無性に一人になりたくなってきた。人と一緒のカラオケは正直ただの接待だ。まあ酒が飲みやすくなるから我慢しよう。人のほうが気楽だが酒が注文しづらいのだ。ストレスがたまつて食べ物ばかり買つては吐いてしまう。全然何も残らないし体にも悪いし太るし苦しくて汚いのにそれだけが唯一の楽しみでもある。矛盾してる。

七月九日。朝から帰りたい帰りたいで変なオーラが体から出でている気がする。模試監督もないし何もすることがない。夏期講習の準備なんて言つて半日テキストをいじつて、まだ大勢先生方が仕事をしているのをしり目に勤務時間が終わるとあわただしく逃げ出してきた。給湯室の掃除を忘れたのに気がついたがもう校門を出てしまっていた。もういい。火曜日は全部私が一人でやつたんだし。大富につくとワンピースに着替えた。二年前に電車で体を触つておっさんを脅して取つた金で買ったその服がなんだかものすごくダサいのに気がついて一人に会う前になにかなんでもいいから服を

買おうと駅ビルを上から下まで見て回るがどれもこれも高いような気がして手が出ない。過食には3000円でも5000円でもぽーいとつかえてしまうのに1000円のキャミソールすら手が震えて買えない。鏡に映る自分の顔が鼻がでかくて気持ち悪い。「ゴリラが服を着ているようだ。いらっしゃいらしてくる。一人からそれぞれ約束の時間に遅れると連絡があった。どうせそうだと思っていたいつもこいつら人を待たせるんだ。会つてから、なぜかうどんをたべ、カラオケに行くがフリー・タイムにはあと40分たたなければ入れないという。仕方がないので近くのロフトへ行く。ひろ子が「ぽこにゃん」を探したいと言うので本屋に行く。不二子 F 富士夫美術館に行きたいのだと嬉しそうに言うひろ子だが、どうも葉子は不二子には興味がない。頭も体も丸々していて気持ちが悪い絵だと思つ。40分後店に戻つたが長いこと待たされて結局入つたのは受付から1時間もたつてからだつた。薄い酒を飲みながらカラオケをする。泉の選曲も歌のうまさも知つてははずだつたのにやたらいらいらする。「今日はのどの調子がよくなくて」なんて寒い言い訳をするものいつものことなのにいらいら。ひろ子も想像していた以上にヘタで聞くのがつらい。でもそれ以上に、こんな自分と付き合いを続けてくれている一人にいらいらしている自分にイライラした。なんの根拠もないが、もしかしたら奈都子も自分に対してもこんな気持ちをもつてているのかもしれない。もう電話も帰つてこなくなつた。彼女のことを考えるとなぜか失恋よりも気持ちが苦しい。あたしはどこかおかしいのか。アルコールが回るとだんだん寛容になつてきて、でもやっぱりときどきいらいらして、なんだか妙な気持で別れた。あたしはつくづく孤独の星の下に生まれついているのか。人といるのが向かないって、つらい。

七月十日。カラオケから出た後マックで時間をつぶす。仕事の愚痴をずいぶん聞いてもらつてしまつた。二人と別れてからまた少し時間をつぶして、それからココスの朝バイキングにいった。からあげと貝の焼き込みご飯がおいしい。御倉と納豆と生卵を潤滑にして

4回くらいリバつた。何回も隣の席の客が入れ替わるのがおかしかった。家に帰ったのは昼近くだった。夜母の誕生日の祝いでウナギを食べに行くという。父が母にコブクロのアルバムをプレゼントしているのをみて慌てて自室でなにかあげられそうのがないかと簞笥をあさつたら未開封のハンカチが出てきた。渡すと喜んでくれたが、値札がはがれていなかつたせいで値段がばれてしまった。どうしようもない。妹が帰宅するのをまつてみんなで魚庄にいった。

15組並んでいたのであきらめて、なぜか坂東太郎で鍋焼きうどんを食べて帰ってきた。なんだかいまいち話に入れず不機嫌になつていたのを悟られてしまう。家族ですらうまくつきあえない。本当にこの世の中は人とうまくやつていけない人間にとつては地獄だ。明日だつて早く帰つてくれば一緒にウナギが食べられるのよ、と母が言つ。まさかそんな空気の読めないことはできない。私はもう小さい、可愛い、一人の葉子ちゃんではないのだから。父と母の間に入つて二人の手をつないでもいいのはその子供だけだ。いまではもう母の一部だつたころよりわたしがわたしであった時間のほうがずっとずつと大きくなつてしまつた。相手のことを「いつまでもわたしのものだ」と思つていたのは母ばかりではない。それなのに、それでも、わたしはそう遠くない未来ここを出でいかなくてはならないのだ。たくさんの傷をみんなに残して、自分も傷ついて、それらを一つも修復できまま不完全な人間のまま去つていかなければならない。葉子にはそれがとてもつらかつた。

七月十一日。だるい。

七月十二日（前書き）

七月十二日

七月十一日。相変わらず一人の授業が酷い。なにがそんなに面白いのか大声で喚き散らし、雄たけびをあげ、体を机の向く方向に見て不自然に捻じ曲げる。黒板のある方を向かないというのがかつこいい高校生のポーズということになっているのだろうか。ボトムのホックを外しづり落ちそうなものをベルトで腰に留めるつて、なに?トイレから慌てて出てきたの?変だよ?髪を立たせるのはいいがその大きい顔をそれ以上大きく見せていつたいどうしたいんだろう。彼らは頭と顔が大きいほどイケメンだといふ、私とは違う文化圏に住んでいるのかもしれない。やたら胸元を空けたがるのもよく分からない。女子も女子で、出していい脚と悪い脚の区別もつかないらしいし。とりあえず顔が大きい子はそのへんなポニー テールはやめたほうが無難だと思う。

久しぶりにまた過食嘔吐してしまった。カツップめんとMOWと値引きされていたブランデーケーキを一気に食べて、家に帰つてチヨコアイスを追加して吐いた。なんとなくすつきりしなくて水を流しひがぶがぶ飲んでから吐くと胃液とともにほとんど消化されいい面がどさつと出てきた。ケーキのほうが後に食べたのに。ということはまだまだ胃の中に残つているのかもしれない。週末プールに行く予定が入つてしまつたのでもう少し吐こうかと思つたが面倒くさくてやめた。そのあと文字どおりの意味で何食わぬ顔をして階下へ降り、家族と食卓を囲んだ。夕食後物足りなくてナッシュをつまんでいたらスイッチが入り、取つておくつもりだったパイナップル味の氷結に手を出して2ラウンド目を始めてしまつた。お金をどぶに流しているみたいだと情けなさに泣いたのがついこないだなのに私は全然懲りていない。

七月十三日。三年の授業で、手首の十字について生徒に追及された。葉子はその場でてきた適当なことをべらべら言い訳しながら、

顔から火が出そうな気分を味わっていた。なんだつてあの頃の私はリストカットの傷に墨汁を流してみようなんてことを考えたんだろう。自分自身のことなのに全く理解できない。

「刺青かなつておもつたんすけど、そんなへタな刺青わざわざいれないつすよね」

生徒の言葉に教室が沸いた。葉子も力なく笑いながら、いつもかわいらしく見えるその生徒を絞め殺してやりたいと思つた。余計なことばかり気にしてるんじゃねえよ。くそがき。本当にどうかしていた。でおあの頃の自分は自分自身に一生後悔するような傷を負わせてやりたいと考えていたし、実際それはいまだ効力を発揮している。私の望みは叶つたのだ。

やつと授業が終わつたと思つたら学校紹介のパンフレットを袋詰めする作業が待つていた。弁当を慌ててしまつて（食べてからおいと言われたが、出遅れるのは嫌だつたし、なによりそんな状態で物を食べるくらいなら食べないほうがました。葉子が世の中で一番嫌いなことの一つに「せかされること」「がある）

食堂の奥にスペースがあり、その部屋には紙が山のように積まれていた。五種類の紙たちをそれぞれ決まつた順番で重ね、ビニールの手提げ袋に詰める。第一学年でのノルマは1400部だ。学年の人数分で割つたらまあそれなりの時間で終わるだろう。しかし実際はそうではない。

「すいません、指導行つてきていいっすかね」全然すまないなんて思つていらない口調で藤本がほんの申訳ばかりに詰めたいくつかと残りの紙束をどすつと残していった。

「すいません、塾訪問行かなくちゃいけなくて・・・」塾訪問はテスト期間中に済ませておくべきものなのだが。上村は自分なら許されるだろうと全く疑わない表情で阿部に告げた。

「なんで私に言つのよ」阿部も緩んだ笑いをしながら答える。

「いや、やはり班長に、と思いまして」

どつと笑いが起つる。葉子はずつとうつむいて早くも痛み出した

手首を気にしないように努めながら作業を続けた。

「まあ班長だよね。阿部先生だけ最初からずーっとここにこて働いてるし」

最初から一度も席を立たずに作業をしているのは葉子も同じなのだが。葉子は昔からこうだ。成績だつて運動だつて、いくら葉子のほうが出来が良くてもみんなの前でほめられるのはいつも自分以外だった。人から好かれない。特に好かれたほうが得になるような人には絶対に好かれない。勘弁してよ、臭い、きもい、近くに寄らないで、と思うような人間が仲間を見つけて嬉しいとでも言いたげに葉子にすり寄ってくる。汚いものに近寄られると自分がますますみじめで汚いものになる。

「そろそろ僕も塾訪問に行かなきゃなあ、早いいかないとなあ」隣で五十木が誰に言つてもなく、しかし周りに聞こえるように呟いている。塾訪問で逃げられるのなら何十件でも回つてやるよ。果てしない単純作業に葉子はひたすらいらしくしてくる。

「樋口先生、だんだん雑になつてる」資料をだんだん角を揃えずに組むようになつたのをこきめられる。

「すみません」

短い会話はそれだけで終わる。葉子がこんなにいらしているのには葉子以外の教員たちが仲睦まじくおしゃべりをしていることもある。なぜだろう。あの輪に入りたいという気持ちはみじんもないのに、近くで見ているといらいらする。これも昔からだ。輪の中に入りたいという気持ちはないのに（事実入つても少しも楽しくなかつた）人の輪を見ていると気が焦つて妙な感じがしてくる。

いつの間にか作業の仕方に決まりができていたらしく、それに気がつかなかつた葉子はきまりの悪い思いをする羽目になつた。

「このほうがわかりやすいから」

じゃあせめて一緒にテーブルで作業している私に説明してくれてもいいんじゃないか。なにがしたいのか教えてくれないと何をしたらしいのかわからない。わからてくれない癖にこちらがとりあえ

ず自分なりに考えて動いた結果を余計なことしやがってみたいに見るのは勘弁してほしい。なにより、どうして自分の思いついたやり方が最高で至上だと思っているんだろう。いや、私の優先順位とか考え方のほうがおかしいのかもしない。いつもいつも属する集団において「天然」だとか「KW」だと思われてきたんだから。葉子にはほんの小さな子供にだってわかることが分からぬ。目の前にあるものが視界に入らない。誰もが気がつく大きな音が聞こえない。どんなばかにもできる簡単なことができない。できそこない。失敗作。障害者になりかけ。白痴。油虫以下。死ねばいいのにこんな汚物。

まだ水曜日。土日も部活だし、最近葉子はほんとうに、生きるために働いている牛馬のよ持ちがしそつちゅうする。牛や馬のほうが自身の不幸を顧みるあたまがないだけまだしもましかもしれないと思つ。こんなに頭が悪いのにあたまがあるのが私の不幸だ。そう、葉子は思つ。いつそ気が違つてしまつたほうがよっぽど楽かもしれない。

七月十四日（前書き）

顧問がまたわけのわからないことでキレた。自分自身も真剣に諭しているつもりなのを生徒から「キレた」とされてはらわたが煮えくりかえる思いをしたが、なるほどあれは確かに「キレ」てる。人間どうすると間抜けに見えるかというのがよくわかった。

いつたい彼はうちの部員たちに何を望んでいるのだろうか。体育会系に自己中なやつが多いから体育会系は嫌いだといつか行つていたように思うのだがそれは自分の氣のせいだったのだろうか。

「すいませんでした」

「すいませんじゃねえんだよ。おまえら何が悪かったかわかつてんのか?」

「はい」

「はいじゃねえよ。わかつてねえだろ。うそついてんじゃねえよ」「うそついてません。体育館にいました」

「いなかつただろ。一時から練習だつて予定表にもかいてあつたのな。あ?なんだよ、なんでお前が切れてんだよ?」

「きれてないです」

「きれてんじゃねえか。おまえほんとになんにもわかつてねえな。やめちまえ、学校やめる。迷惑なんだよお前らみたいなやつがいると」

・・・なにをさせたいのかさっぱりわからない。謝つても受け付けないし、黙つてれば怒鳴るし、質問に答えればやつぱり怒鳴るし。40分近く好きなどけどなり散らした顧問を仕方なしに追う。

「先生」

「や、樋口先生。いつもすみません」やつきの今で「一二三四五」という。

「あの、これからどうしたら」

「こやいいんですよ。僕はもうあいつらのひとなんかなんにも知り

ませんから

うそつけ。趣味も恋人もいなくて部活しか居場所がなくて夏休みにちつとも休めない予定組んだ癖に。唯一自分が王様でいられる部活って箱庭が好きで好きでしかたがないくせに。ていうかなにその顔。裏表使い分けちゃうじぶんかつけーとか思つてるんですか。

そもそも、うちの子たちが規律ある行動とか時間厳守とか、できると思つてんですか。できないからこそここにいるんでしょうか。あんたの要求は脚のない人に歩けつていうようなものです。

今日講堂で薬物乱用に関する講話がありましたけどね。あんなのでたらめですよ。薬物は別に悪くない。っていうかただのモノに、いいとかわるいとかそういうものありませんから。薬物で身を持ち崩す人はね。たとえ薬物と出会わなくたって、遅かれ早かれ何か別のもので破滅するんですよ。それだけの人間だつたつてだけです。それをモノのせいにするのはどうかしている。ギャンブルだつて薬だつてお金だつて恋愛だつてセックスだつて車だつて掃除だつて水だつて猫だつて太陽だつてタバコだつて観葉植物だつてダーウィンだつてシェイクスピアだつてAKB48だつて田村正和だつて洗濯機だつてかぴバラさんだつて怒りや、嫉妬や、怠惰や、悲哀や、空氣だつてある人にとっての破滅のスイッチ（あるいは原因）になるわけだけど、それらが悪いわけじゃ決してない。モノでだめになる人は、結局それだけの人間だつたつてこと。進化論だよ。弱い種は滅びて強い種だけが生き残る。たつた一粒の種のくせに思考能力があるから人間だけはこうやってぐちぐちぐち悩まなきやならないわけだけど、その悩みだつてしまつてしまつてしなくなつて同じようなもの。経路がどうねじ曲がつてもひとは自分が生まれついたようにしか生きられない。

ふう。

とりあえず、自分の武勇伝ときれいな理想論をここで、世の中のくずの吐きだまりでドヤ顔して語るのは勘弁してほしい。

明日の授業がいや過ぎてリバつた上にビールまで飲んでしまった。

るたつがあやしこ。

みつじさんせんまよ。明日もあむこ。明田もあむこ。
すせめみー。

七月十九日

七月十五日。一年が酷い。なかなか帰れない。過食が酷い。

七月十六日。暑い。地獄の釜の中のよう。スポーツもスポーツする奴もみんな大嫌いだ。全員苦しんで死ね。私をまきこむな。一人スイパラで隣に座つたギャルに化け物扱いされる。聞こえてるつてわからないかな。服も化粧品も買えないのに食べ物ばかり買つてしまふ。家についたとたん号泣。もういやだ。

七月十七日。同上。うざいうざいうざい。しかも遠征でさりに一日休みがつぶれる。みんなしね。

七月十八日。海の日だけビーチ。小瀬がキモイ。体がぶつぶつとなにかの跡だらけだし歯並び悪いし色が歯の途中から色変わつてる。マジ勘弁してほしい。早く彼氏ほしい。不細工嫌い。

七月十九日。疲れた。日曜休めないこと確定。マジ顧問死ね。一生懸命書いた文章が消えてショック。このパソコンおかしい。

七月一十六日

七月二十日。台風がすごい。気分がすぐれなくて仕事が終わるのが待ち遠しく、仕事を言いつけられる前にそそくさと帰った。全部雨と風に流されればいいのに。

七月二十一日。まだ学校がある。この日もわざわざと帰る。そうだこれくらいに帰るのが人間の仕事だ。

七月二十二日。まだ学校がある。夏休みの宿題作りがかるく怒涛だった。仕事だらけで帰れない。ボーナスよこせ。過食嘔吐が止まらない。一応付き合つてることになつてゐる歯並びの悪い男が誕生日らしい。どうでもいい。プレゼントとか面倒くさい。とりあえずメールだけしておく。日焼けがようやく痛くなくなつてきたと思つたら背中から腰から尻から黒くまだらに汚く焼けていた。せっかくきれいな白い肌だったのに。そんなはずはないけど、もし戻らなかつたらと思うとぞつとする。めんべくさい。来週も土曜出勤なのにまた土曜出勤かよ。

七月二十三日。土曜出勤。生徒指導要録のファイルに背表紙を作らなければならず六時間残業。あほかと。ファイルくらいけちしないで背表紙のある奴を買えよ。紙印刷してテープで張つたり、正直貧乏くさいし、ていうかこの時代に紙媒体つてなんなの。過食嘔吐が止まらない。

七月二十四日。ボラボラでランチフリータイム。楽しかつたけど衝動に負けてはいたら喉が死んだ。最悪。ソイジョイのお試し版を五個かつぱらつてきた。頑張つてスカートを一着とまつ毛美容液を買った。買ってからもつといいスカートがみつかつていらつとした。明日から研修。

七月二十五日。やつぱりわたしは人と話すのむいてない。相手がつまらなさそう&引いてるのが分かる。私だけ話したくないのに。母が友達作れとか言ってきて中学校以来の「イラ」。友

達友達友達。友達がいる奴全員死ね。人づきあい分からなすぎてもう積んだ。わらびもち食べてはいた。

七月二十六日。成績原票の登録にミスがあった。期末は評定だけつて言つたじゃん。それとも私が小林先生の助言を一部分だけ聞き逃していたのか。はじめ言われてなかつた！とか思つたけどなんか言われたような気もしてきた。そもそも出した先生みんなに入力した？つて聞かれたのに自信満々でしたとかいつて自分を殺してやりたい。「評定だけいれればいいんですね」つて言つてれば「え、違うよ」つていつてくれたかも知れないのに。土曜日に音楽室の掃除を勝手に判断してやらなかつたことも思い出して本当に今死にたい。このままどんどん失敗してみんなの信頼を失っていくのが怖い。もう失敗しないといつていつまで信用してもらえるんだろう。悪い想像しか頭に浮かばない。一人スイパラでまた一千円をどぶに流してしまつた。こんなに苦しいいいやな思いをして稼いだお金なのに全部トイレに流れしていく。手首を切りたくなつてくる。こんな人は罰しなければならないという気持ちがぐんぐん大きくなつてきて怖くて仕方がない。明日も明後日もし明後日も永久に来なればいいのに。学校に行くのが怖い。人に会うのが怖い。仕事をするのが怖い。子供のころから今までずっと、大人になつても私は学校が怖い。

八月一日（前書き）

七月二十七日。研修最終日。ここにきていきなり睡魔がやばい。午前も午後も若干船をこいでいた。終了後同期の四人で飲みに行く。270円居酒屋に入るが、あまりにも食が進むのに恐れをなして途中で帰ってきた。全額割り勘されたらいや過ぎる。あたしは酒を飲むときはご飯を食べない主義なのに。家に帰る前にスーパーによつてまた過食嘔吐してしまった。カップめんとスナックとアイス。たつた三百円でこれだけの食材が買えるのにと思うと外食なんてもつたいてできない。できてもビュッフェだ。胃液まではいたらさすがにくらべらした。明日学校に行つてあたしが原票をいじつた先生方に謝り倒さなければいけない。なにか胃の一部が超薄型コンドームみたいに透き通つてゐる気がする。何かの拍子にぱちんと破れそうな気がする。

七月二十八日。朝からめちゃくちゃに謝つて回つた。自分がだめな人間ですと体中に塗りたくつて過ごしている気になつて、かなり落ちた。成績会議はひたすら眠かつた。何を話していたのかいまいちよく覚えていない。校長と席が一番近いのに。もうやだ。

七月二十九日。学年登校日。いつたい何のために来ているのかよくわからない日。夏休みなんだから休ませろよ。日曜にカラオケ行くのだけが楽しみ。そのためになんとか過食しないですんでの。部活が本当にうざすぎて家に帰つてから涙が止まなくなつた。情けない。でもやっぱりうざい。スポーツとそれにかかる人間とモノが死ぬほど憎い。気持ち悪い。大つきらいだ。

七月三十日。学校説明会。説明会自体は結構早く片付いたけどそれからの午後が長かつた。就業時間を過ぎても部活が終わらない。頼むから拘束する用事は定時までにしてほしい。お盆は誰が何と言おうと休んでやる。お母さんだって知るもんか。正社員になるより今現在の心の平穏が大事。それに仕事はちゃんとやってる。今の部

活は就業前に約束した範囲を大きく逸脱していると思つ。あれはきちがいの所業。父と母は今日から白馬へ旅行。夏の白馬つて何を見るんだろう。妹が帰つてこないと家に入れないからpapaのほうまで行つて時間をつぶした。ポップガールが閉店するらしい。セルでチームのショートパンツとヌーブラを買った。占めて2000円なり。最近少し足が細くなつて嬉しい。脚は使わないほうが細くなる。眠れなくて三時過ぎまでネットで遊んでいた。

七月三十一日。朝から大富に行こうとしたのに起きたら11時だつた。慌てて起きて、妹も起こして最近お気に入りのカラオケ屋に行つた。十一時過ぎ、初めて水槽付きの部屋に通してもらつた。靴を脱げる形式でテンションが上がる。サラダバーに見たことがないグラタンと肉みたいなハムと魚のマリネがあつて嬉しい。ここはデザートと七八百円相当の選べるメインとサラダ、ドリンクバーがついて六時間千五百円のカラオケなのだが、どうせならサラダとデザートなしで千円くらいにしてほしい。力を入れるところが間違つていると思う。今日は吐かないと決めたので喉の調子がいい。持つてきたデジカメで曲を録音するが意外と動画の容量が小さくて面倒くさい。四ギガじゃ足りないらしい。レールガンで100店出すつてどんな初音ミクだよしかし。

終わつてから彼氏かもしけないでも歯並びと歯の色と口臭がどうしても嫌で嫌でしかだがない相手に誕生日プレゼントを買わなきやいけないことに気づき丸井へ。ポールスマスの名刺入れと一途の望みをかけてファッショントマトを買った。頼むからこの程度のセンスを身につけてください。明日から夏期講習だ。冷凍してた団子と半額パンとそのたもろもろで存分に食べてはいた。このくらい自由にさせてほしいよね。

八月一日。夏期講習一日目。めんどい。キモイ生徒が最前列に陣取つていて顔を見るだけで本当に吐きそう。鼻の穴が気持ち悪過ぎる。なんであんな顔面で生きていけるんだろう。こないだ代行したクラスにも物凄いデブで臭くてふけだらけで、しかも女な生徒がい

たけどあれが自分の15歳だつたら私は自殺してる。死ぬより辛いことつていっぱいあると思う。呼吸する生ごみのほうがまだましな存在だと思う。肥料にもなるし。そのうち担任を持つかもしれないけど、不細工はともかく不潔な生徒だけは私絶対差別しない自信ない。気持ち悪い気持ち悪い気持ち悪い。ああああ。親がどら焼きを土産に帰ってきた。焼けそうに甘かつたけど気持ちは嬉しい。楽しかったみたいでよかつた。

八月一日。なんで就業は5時なのに六時まで部活なのか本当に意味がわからない。午後から事務の手伝いをなぜかすることになつて厚紙を切つてフィルムで加工して裏面にシールを張る作業をしていたら入つてくる教員たちから同情の目で見られた。帰る前になんでもはいはいきいてると雑用をおしつけられるから気をつけろと忠告までされた。私からしたら部活とかやつてるより100万倍もしまなんだけどな。ほんとスポーツに携わる人間はみんな苦しみぬいてから死ねばいい。アディダスとかヨネックスとか津波に飲まれてなくなれ。個人個人に恨みは全くないが、私はとにかく体を動かすのとそれに付き合わされるのが大つきらいなんだよ。みんな滅べ。

夕飯のパック寿司を半分残してしまった。でも午前中にもみじ饅頭と煎餅とどら焼き食べたからカロリーは取りすぎなくらいだと思う。体重も増えてたし。夏休み中にできたら三キロ落としたい。今年はなんだか行けそうな気がする。倒れそうなくらい細くなればみんなわたしにやさしくしてくれるような気がする。こんな見た目だから何もかもうまくいかないんだ。不細工でも細ければなんとかなるかもしない。

今朝、明後日の夜に脱毛サロンの予約を入れた。カウンセリングを受けると施術はしてくれないらしいが、いろいろとたくを並べてカウンセリングだけにされたらむかつくなあと思う。

最近部活で練習の手伝いまでさせられるようになつた。汗をかくし非常に腹立たしい。食べる量が減つて運動量が増えたのにちつともやせないのはきつとストレスのせいだ。もづほんとに部活動とか考えたやつ死ね。あと普通のTシャツ来てるだけで胸があいてるとかなんとかいう奴も死ね。なんでもかんでもそういう目で見てるからそういう風にしか見れないんだよ。本当に死ね。簡単に殺されるゴキブリとか蚊とかに対して死んで謝れ。首元が詰まつた服を着ると顔がでかく見えるから嫌なんだよ。どうしてこの世では美形と不細工がいて、しかも不細工には不細工を隠す手段すら取らせてもらえないんだろう。そのくせ人間は見た目じやないとこまじうける。美人にしろと肺はないが、せめて加工させろ。

八月七日

八月四日。夏期講習最終日。生徒の一人がうるさいから模試対策をとつてやろうとしたのにその子だけピンポイントで休み。何考えてんだか。河合模試は難しすぎたらしくぐだぐだな90分間になつた。

最近部活でのシャトル上げが完全に自分の仕事になりつつある。うつかり顧問の説教タイムに残された生徒にシャトルあげていたせいのような気がする。一回一回、ひまなときとかならないが、ノルマになつてしまふと正直うざい。右手ばかり使うと半身だけが疲れるのでどうにか左手でもなげられないか画策した結果、左手投げのスキルまで身につけてしまった。何の役にも立たない。

自分が意味がないとか、嫌いだとか思つているもののために時間や労力やお金を使うのは、それらがたとえ痛くもなんともない負担だつたとしても精神的な消耗が大きい。だからわたし水泳とスキー以外のスポーツはことごとく嫌いなんだつてば。特に暑い思いするのは最悪。シャトルを拾つたびに膝を曲げているせいか、就職してから少し細くなつたはずの脚が早くも発達しかけてきている。前腿が堅い。・・・・・

家に帰つてから明後日の彼氏かもしれない人のお誕生日お祝いのために代官山のイタリアンを予約した。青山のフレンチにしたかつたのに。イタリアンの店は単価が高いらしくて正直コースを頼む意味がわからない。でもアラカルトで料金の上限が予想付かないのもいやだし。相手が男でなければ表参道のブルガリがやつているカフェに行つてみたかったのだが。鳥の餌みたいな量のお上品なランチで相手がおなかをすかせるのもかわいそうだ。

八月五日。町役場で住民基本台帳カードの申請をするため午前休みをとつて午後から部活のためだけに学校へ行く。バスポートか免許証がないと一回目は申請しかできない。母親に余計なことを言う

となんで身分証がいるのかとかぐだぐだ聞かれまくった上に、変な勘織りまでされそうなのでいつもと変わらない時間に家を出た。コンビニで一時間漫画を読んで、ほぼ九時ぴったりに役場に行つた。そのあとは特にやることもなかつたが休みなのに学校に行くのもばかりかしくふらふらしていたが暑くてとてもいられなかつた。こういうとき本当にこの街はいらいらする。お茶を飲むところすらないのだから。公園で弁当を食べたら蚊に刺されまくつて、食べている最中もよくわからない羽虫がぶんぶんとんで、本当に不愉快な思いをした。胃の調子が悪い。コーラックのせいかもしれない。あれをやるとおなかが下るだけじゃなくて吐き気とか悪寒もでる。それにあれで出すものは異常に臭い。真っ黒で、べたついていて、水っぽいのがでる。絶対体に悪そうだけれど、普通食を普通量食べるとならかの代償行為をせずにはいられない。こんなにバスなのにこれ以上デブになつたら目もあてられない。

部活は顧問が進路指導で顔を出せなかつたせいで非常にのんびりしていた。体育館は蚊が多くて、虫よけをしていたのにまた刺された。うちの部活しかいないとときは窓も開けてないのにどこから入つてくるんだ。顧問は終わりのころちょっとだけ入ってきて、水曜日の午後から遠征に行くと嬉しそうに言いだした。頼むからちょっとくらい私にも選択権をください。午後からでしかも遠征じゃほとんど一日そのために使わなければならぬ。なんでこの男はこんなに私の時間をどぶに捨てさせるのが好きなんだろ。暇なのはお前だけだわたしを巻き込むなくそやう。手取り20ないんだぞこちとら。毎日四時間以上サービス労働して、研修とかにも行かされて、もういやだ。誰でもいいからリッチな専業主婦させてくれる金持ちと結婚したい。もういやだ。

八月六日。代官山で待ち合わせなのを母にぐちぐち言われた。現地集合現地解散なんて愛がない証拠だ、かわいそうだ、おまえは人でなし。あんまりだと思う。だってタクシーとかちゃんとした車ならともかく、軽自動車とかJRとかで隣に座つても正直冷めるだ

けだし、うざい。わたしはそもそも他人が一定距離内にいるのがストレス。相手が自分に好意をもつていてもそれは変わらない。とうか、大方のまともな人間は私のことがきらいだし。自分を嫌っている相手と一緒にいたくはないよね。

渋谷から歩けそだと思つたら原宿のほう近そだつたので原宿から表参道まで歩いたがやつぱりなんか違うみたいなのでまた原宿、渋谷と戻つて渋谷からあるいたらなぜか恵比寿について、それからなんとか時間ぎりぎりに代官山についた。

食事はまづはなかつたけれど三千円の価値があるかというと微妙。代官山のマンションがどれもこれもきれいで、こいつこいつに住みたいという気持ちがむくむくしてきた。少しの間でもこんな暮らしができるなら体でも臓器でもうつぱらつてしまいたい。なにもかもがきれいで品がある。坂が多いのも素敵。でも相手は尻の座りが悪いらしく、渋谷に行こうとあつとこつまに代官山を連れ去られてしまった。

恵比寿で前登録しかけてビビつてやめたプロダクションのビルをみて鬱になつた。なんで大学時代にやつておかなかつたんだろう。キヤバクラより人にも言えるし、いろんな出会いもあつたかもしれないのに。いまショートパンツをはける足になつてからはさらに後悔することしきり。やってみたらいろいろできたかもしれないのに。もしかしたら代官山に住まわせてくれるようなひととの出会いもあつたかもよ。でもこの仕事をしているかぎりそういうことには手は出せない。ていうか、もうそろそろ「トウガ立つた女」になつてしまふ。いやだ。若さを無駄に垂れ流してしまつたことが悔しい。まだ間に合つとかいう人いるけど、もうこれからイベコンはどう考えても難しいよ。脱毛もコンパニオンもメイドカフェも整形ももつと早くしておぐんだつた。悔しくて悔しくて仕方がない。なつちゃんが誘つてくれたなかつたのは私がブスだからか。くやしくやしい。もしかしたらあの程度のことならできたかもしないのに。もうやだ。お似合いのひととなんかいたくない。今一瞬の損得だけの付き

合いがしたい。深いのとか重いのとか本当にだめなんだ。人の善意が気持ち悪い。ぬるくてべたべたして、耐えられない。不幸体質だつてわかつてもいやだ。理屈なんかなくて、ゴキブリをみたらうわきもつて思うようなもんで、私は「まともな」ものに拒否反応が出てしまう。それがいやなのかそれをきりつてしまつ自分がいやなのかわからないけど自己嫌悪ではちきれそうだ。

ストレスで一万くらい安物買いをして、家のまんばんのクローゼットを思い出して懲りになり、池袋のお見合いパブで変な男といい飯を食べに出てしまいタクシー代もくれなかつたのにまたいろいろを蓄積させて、ひたすら不機嫌で家路についた。

八月七日。気分は変わらず。カラオケに来たのにぜんぜん気が乗らない。くやしくやしいと後悔ばかりが胃をせりあがつてくる。明日から仕事だしもうやだ。体重はまた増えた。いいかげんにしろよ食つなこの白豚。

八月八日。部活のためだけに学校へ行く日。様子がさっぱりわからぬので四十分前にいたが、さすがに今日は人が少ない。今日も当然のようにシャトル上げをやらされる。いやでいやでしかたがないでどこかで針が振り切れたらしい。妙にテンションが上がつて、あたまに上った血が降りてこない。東京行きの計画がなんだか面倒くさくなってきた。涼しい部屋でネットだけして過ごしたい。

午後ココスのドリンクバーで彼と一時間近く話をした。私はファッショング誌（自分の好みではないが精一杯妥協した結果の相手が好きそうなジャンルの。相手が好きそとはつまりリュックを背負えるか否かだ。たのむから街中でナップザックとしかいいようのないずたぶくろを担いで歩くのやめてください。両手が空いてないといやだつていうけどあなたの両手がいつたいあいていたからどんな生産的なことが起こるっていうんですか。そんなにひたすららしくにらくにすごしたいなら精神病院の拘束服のなかで栄養点滴で生活すればいいよ）、彼はわたしにこの間のキャンプで行つた河口湖のお土産をもつてきた。山梨の赤ワインだった。大事に飲もう。

八月九日。あまりにあつくて疲れてたぶんそれが生徒にも伝わっていたんだろう。なんとなくきまずかった。顧問は相変わらず声を出せ声を出せってうるさい。ええい、とかおおい、とかあの掛け声にいつたい何の意味があるのか、文系の血しか流れていらないわたしにはまじさっぱりわかんない。こいつセックスンときもこんな調子なのか？疲れると、若いところの人にセクハラするおっさんの思考トレースをしてしまう。役場に行つて住民基本台帳カードをつくってきた。このまえと同じ顔触れ。書類を受け取ると「ちょっと待つてください」といしながら一人が引つ込んであとのふたりはにこにこと内輪のおしゃべり。ちょっとといながら十五分はもどつてこない職員にいらっしゃつておしゃべり女どもにいつまでばいののか、

ときくと「少々お待ちください」だからいつまでつてきいてんだよ
お前の脳みそここ連日の暑さで腐つてんのか。家についたのは3時。
それもこれも一時過ぎまで部活をやる顧問が悪い。ほんとうに苦し
んで死ねばいいのに。スポーツやつてる奴は全員不治の病にかかる
て苦しみながら死ね。明日は顧問の前任校にいかなきやいけないし。
夕飯前にいらいらしてエビスの大きいほうを飲んでしまつたら父に
嫌がられた。ああ本当にもういや。チックに体入予約入れてしまつ
たらそつちのそわそわが大きくて少し治まつた。こういう意味でや
っぱり私には水だの風だの空氣が必要だ。カンフル剤的な役割で
八月十日。最悪としか言ひよつのない一日だつた。家を早くに追
い出されて畠が落ち着かなくて王子でとか店でも探してカショろ
うとしたらほんとうになんにもない。きれいなトイレがありそうな
店も皆無。千葉の田舎に来ているみたいな雰囲気。東武ストアの場
末感がパ無い。そして暑い。気が狂いそうになるほど暑い。毎日毎
日汗だらけになる。洋服も髪も洗わなくちゃういけなくて摩擦で消
耗が早まる。夏は若さというよりは老いとか衰えの季節だ。すべて
が死に向かつて一直線に動いている気がする。そしてついた体育館
は汚い。とにかく汚くてあつい。どうしてあいつらあんなに戒律厳
しくせに練習場所がほこり臭くても平氣なんだろう。トイレは言
つたスリッパでべたべた歩いてるところで腹筋運動始めたりしちゃ
いうあたり部活人とはとにかく衛生觀念が合はない。ここであと七
時間。本当に死ねよ。おまえもおまえもおまえもおまえもだよ。し
ねしねしね。若い貴重な時間がこんなところで蚊に食われて（蚊が
酷い。いまこうしていても羽音が、虫が血をすおうと皮膚の近くに
当たる感触が、する。気持ちが悪い体中がかゆい）浪費されていく
と改めて感じさせられて泣きそうになる。わたしは刺された跡がき
れいに消えてなくなる性質ではないし、たとえ消えたつてそれまで
赤い斑点が白い肌に梅毒患者みたいに残つているのは目に不快だ。
おまえのクレーターみたいな皮膚がどうなるうがおまえも他人も気
にしないんだろうが、わたしのは別なんだよ。生徒たちと距離の取

り方を間違つていた気がする。なんでわたしにアイスをおごつても
られるとか考えるんだろう。おまえらはわたしという人間をちから
いっぱいおろし金におしあてて痛い痛いと泣きわめくわたしをすり
すりおろしてすりこころしてしまおうとするたくさんの手のなかの何
本かなんだぞ。加害者なんだよ。「冗談じやねえ。さとられまいとに
こにこへらへらしていたのが完全に裏目。私がこんなにつらい思い
をして月に14万だかそこら。セックスが平気なあたまに生まれた
かつた。せめて風俗のアルバイトでもして毎週末に20万ぐらいず
つ入ればもう少しこころも穏やかになるのに。こんな思いをしてこ
んな少しあかももらえないなんて。事務の試用期間中の小川さんに電
話をしても向こうも向こうでとんでもない労働環境らしい。こ
れから先何十年こんな生活を続けることを思うとあんなにきらいな
子供を産んでもいいかとか思つてしまつ自分がいる。それくらい仕
事がつらい。

八月十一日。とりあえず六本木に来てみた。有楽町線が止まつた
せいで新宿から六本木まで40分近くかかってしまったあげく30
円をけちつて六本木一丁目から歩こうなんてしたせいで件のスタバ
についたのはもうお昼になるころだつた。汗をかいたのと足が痛い
のと途中セレブを見すぎたせいで完全にグロッキー。東京のガイド
ブックで食べ物を眺めるだけで四時になつてしまつた。ワンピース
を着替えて、駅のほうへ向かう。先に店を見て置いてみたかつた。
・

・たしかになんだかすこかつた。チック、キンコンカ、瀬里菜、
グラントクリュ、聞いたことのある店ばかり、行きかうひとはみんな
頭蓋骨が小さい。行きたくなくなつて本屋に行つたり、時間をつぶ
す場所を考えているうちに六時になつてしまつた。電話を受けて店
に行つてエレベーターを上がる。ドラマで見たことのある豪勢なら
せん階段、曇り一つない鏡の壁にゴージャスな雰囲気の椅子とテー
ブルが並び、いかにもキャバクラ。赤とゴールドと白で統一された
きれいな店だつた。私以外にも面接が2人きていて、大したことな
いギャルっぽい感じだつたので安心していたけれど目の前に座つた

面接官はあきらかに自分をみてがっかりしていた。ここで明るくはきはき対応していたらまた違ったのかもしないけどすっかり委縮してぼそぼそ目線きょろきょろでそうでなくともだめなのにきもさ倍増。やっぱり来なきゃよかつた。後日連絡（＝不合格）だつた。むかつ腹立つてシングルスバーでただ酒飲もうとしたら出禁になつていた。前回の一時間たつたたつてないのあれのことか。結局二時間座つたのに。あの女。マジ死ねよ。多分ここでまともに考えるあたまが死んだ。単価の安い池袋や新宿に行けばよかつたのになぜか銀座の並木通りを歩いてスカウトのノルマ達成に使われて、どこにいくにも変な時間になつて新橋の1500円。汚い汚いうたひろで一晩明かした。マイクは臭いしすぐ音とぶしコンセントが少ない。というかそのまえに11時まで時間をつぶすのがものすごく辛かつた。ナンパも本当に暇な時に限つて絶対かからないし。こういうとき付き合つてくれる友達がほしい。まあこんな思考に至つたせいで翌日と翌々日わたしはなかなかどうして後悔とイライラに苦しめられることになるのだが。なんとなく気乗りしないカラオケをまずい臭いお茶を飲みながら（これで1500円・・・）猛烈にさびしくて悲しくて仕方がなくなつた。自分がみじめだつた。私は都市生活とか孤独とかに向いていない。バスだし要領悪いしのろまでしかも怠惰だ。なのに憧れは捨てられなくて蛾みたいに光のありそうなほうをふらふら飛ぼうとして、ああもうお金がほしい。ひたすらお金がほしい。たくさんお金があつて、きれいにきれいになればさびしさなんてなくなるはず。

八月十四日

八月十一日。今日も多分部活はあるけど構つもんか。昨日の引きずりでむしゃくしゃした気分のまま銀座まで行つて有楽町線で新宿に帰ってきた。そう。帰つてきたのだ。やっぱり新宿と池袋は自分のホームだという気がする。知らない路地もないし、いる人間もい程度に低俗だ。水商売の世界今まで見た目以上にコミュニケーション能力が問われるというまあとよく考えれば至極簡単なことに気がついて葉子は結構すっかり落ち込んでいた。新宿靖国のミスドで新発売のベイクド紫芋を食べようとしたがどうにも自分の胃の状態がドーナツを受け入れられそうになかったので麺を頼む。あつたかい汁のある麺類つてなんでこんなにおいしいんだろう。永遠に食べ続けられそうな気がする。知り合いはみんな（パスタ含む）麺類が嫌いだからけつこう普段はさびしい思いをするが今日は全くの一人だから気にしなくていい。なんだか明後日まで町にいられる気が全然しなくて、しかもちひろはなんだかいつも都内住みのくせに泊めてもくれないし上から目線なんで面倒くさくなつて予定をキャンセル。泉に声かけたらオール付き合つてくれるらしいので泉と遊ぶことにした。それまえに御庭で和食バイキングして買い物して五時ごろ池袋に行つた。なぜかやつはコーヒー一杯七百円もするくせに店内がざわざわ騒がしい喫茶店に入つていてむかついた。なんのなんでこんなに見せ探すのが下手なの。隣同士近すぎだし窓の近くだから暑いし虫が飛んでてふくらはぎがどんどんぼこぼこになる。イライラしながら高いコーヒー。漫画のプロットをつくつているというから見せてと言つたら、なんと二ーとになつて四ヶ月、登場人物と設定のプロットしか書いておらず話の内容もオチもないらしい。そりや親御さんだつて怒るわ。いつたい今までなにしてたの。それでいつたなんで徹夜とかしたのか意味分からん。絶対こいつ真夜中眠いとか疲れたとかいうぞといまから嫌な予感。というかまた太つたら

しい。だから新しい水着が見たいって・・・やせろよ。なんでそんなに太るの？吐かないあたしより食べないし酒も飲めないのに。しかも唯一きれいだった髪の毛すらなんか油でべつとりと/orしてあたまのてっぺんはふけが浮いている。こんなのでなんでそんなに水着が着たいんだろう。正直いやだ。デパートの水着売り場を引きずりまわされる。ギャルっぽい原色がいいらしい。かわいらしい水玉とかのほうがまだどうにかなりそうなのに、ピンクとか水色はガン無視。着れなくなつた水着に色も形もそつくりなものを買つてしまつた。あほじやないだろうか。八千円とか。やせろよ。

ドンキとか見て、居酒屋でやっぱり疲れて不機嫌になつてる。しかもがつづり食べたいとかいいつつ居酒屋。頼むから飯食うならフアミレスしてくれよ。なんで単価の高い店で飯食いたがるの。しかも居酒屋飯とか油と塩分ばっかでげろまずいものばっかりだし。アラカルトでガンガン頼む人つて本当にいや。こつちは財布が気になつてやつていられない。気を使う相手じゃないので、自分のビルを御通代だけ小銭をテーブルの上においてこれ以上払いませんよアピールした。実際これ以外飲み食いしてないし。みつともないのは承知だけどあなたの脂肪をふくらますのに投資する気もないんですね。

八月十三日。朝四時にタイムズスパレスタにいつて1600円。久々のお風呂最高。せっかく一人じゃないのに相方はいつまでもいつもいいつまでも体を洗つていて。つまらん。本當なんなの。そんなにあなた汚いの。風呂に入つている間は元気だつたしちょつと贅沢空間に喜んでいたが、出たらきなりまた疲れたモード。デブが体力ないと無性にいらいらする。その脂肪ほんとむだだよね。あたしも気をつけよう。バスとデブの体弱い自慢はイライラするだけだ。心配ですらない。うるさいのでさつと帰らせる。プールの誘いは絶対無視しよう。ひとりでミスドにいつてからいり豆に花で3R過食嘔吐した。しばらくこないからなんて思われてもいいや。午後美容院に行つて、洋服とか見てから帰つた。夕飯は家で食べた。

酒を飲ませてくれなくてむかついた。

八月十四日。おばあちゃん家につれていかれる。留守番でも車の中でも妹との会話はほぼ〇。なんであいつあんなにお高くとまつてんの。わけわからぬオーストラリアでカンガルーにせらわれて行方不明になつて数一〇年後にわけのわからぬ民族の長とかになつてシドニーを襲撃して世界を未曾有の恐怖に陥れたりしていればいいよ。あるいはコアラになつてしまえ。帰りの車で、おなかがすいたと言つたらこんなにおなかがすぐ人が仕事帰りになにも食べないでいられるはずがないと母が言つから悔しくて怒鳴つて、涙が出るほどとりみだしてしまつた。食べたい日と食べたくない日があるつてそんなにおかしいか。本当にうざいあああああ。

帰つてから昼寝のつもりが七時まで爆睡。いきなり整理来る。夕飯食べすぎ、ソイジョイ食べても止まらない。いまこ

八月十六日

八月十五日。しながわ水族館に行く。駅の待ち合わせで何口か決めていなかつたからぐだぐだして、靴が合わないせいで足が痛くてイライラして、ガキがわんさかあふれかえつているのでげんなりした。だから盆にどつかいくの嫌だつたんだよ。何なんだこいつ。葉子はとなりの一応付き合つていることになつている歯の汚い男を見た。なんだかむしゃくしゃしたのでチケットのお金は知らんふりをした。請求されたらそのとき払えばいい。水族館は汚くて人でごつた返していく不快だつた。脚が尋常じゃなく痛い。そのあとなぜか上野までいつてカレーを食べて、白いワンピースにしみつくつた。もうこの服着れない最悪。まだ三回くらいしか着てないのに。靴を買つてはきかえた。そのあとアメ横をぶらぶらして東京駅に行つてサンパカで力カオソフトを食べて日比谷のインペリアルラウンジで酒をがぶがぶ飲んだ。食べ物があんまり高いので酒ばかり飲んでいてすっかり酔つた。ビールをしこたま飲もうと思っていたのに結局一杯だけだつた。オリジナルカクテルつてやつが死ぬほど甘くてまずかつた。なんとなく不穏な空気を感じていたら、別れた後家に夕飯を食べにこないかというメールを受け取つてしまつた。埼玉県で内定先が学習塾で、家の格もうちより低いし、万が一結婚したつて私も働かせる気満々らしいし、正直これ以上近づきたくない。とりあえず断つたけどどうしたもんだろう。

八月十六日。おばあちゃんに行きたくないがゆえにけんかつの図書館で一応勉強していた。タンクトップにショートパンツというなんだか露出過剰気味な格好をしていることに気がつく。帰りヤオコーでしろくまをたべてマルエツで生クリーミロールを食べたら過食衝動が来てソイジヨイを3本も一氣食いしてしまつたがなんとかいまのところ吐かないで住んでる。家に一人ならマルエツで半額になつていたパンを買ってきて存分に過食嘔吐するのに。そわそわす

る。それから学校が始まるのもいやだ。ていうかいつの間にか公立に行くつて田舎を忘れていた自分に愕然。わたし今すぐあたま悪くなってるし、いまからやつてどうにかなることだろうか。

有楽町の銀座口に十一時半といったのに、来たのは三十分遅れま
すとだけのメールだつた。携帯を逆向きに折りそくなつた。大学
の数少ない友人のりつちゃんはいつも葉子との約束に遅れる。多分
相手があたしでなければ時間通りにくるんだろう。キャンキャンと
かノンとかの雑誌をうのみにしていて、自分の装飾品にだけは金遣
いが荒くて、体弱いアピールの多い痛い子だけど、葉子には友人が
とにかく少ないので。というか、自分と友達になつてくれるのなん
てその程度の人間だ。そもそも昨日の夜から息が苦しいのでも頑張
つていくだのうざいメールがきて嫌な予感はしていた。だから朝に
も確認の意味で「今日大丈夫?」とメールをして、大丈夫だといふ
から來たのに。家からここまで片道九百円以上する。葉子は「もう
いいよじやあ」とだけ打つて、昼食を取りに行くことに決めた。四
年の付き合いだが、我慢の限界だつた。ああこいつやってわたしもい
ろんな人から切られてきたんだろうなと思つた。きっかけとか動機
とかつていうのは、嘘だ。ありとあらゆることはすべて幾重にも折
り重なつた時間の上に決まる。二ユートンのリングゴはただ最後のほ
んのひと押しにすぎない。何時間にも何日にも何年にも及ぶ観察と
思考とが彼に結果をもたらしたのだと思う。

前から行つてみたかつたリプトンのランチビュッフェに行つてみ
た。すごい行列だつた。なので葉子は順番が来るまでに謝罪のメー
ルが来たら許そう、とひとつかけをしてみることにした。行列は進
まない。メール。「もうすぐつきます。まつてて」誰が待つか。

もうこれで友達の縁がきれても構うもんか。いらいらが物凄い。
三十分くらいで席に案内された。食べろぐで評判の良かつたサン
ディッチは具だくさんで確かにおいしい。鶏肉の脂身の多いところ
をクリーム煮にしたものも気に入つた。パスタは惰性で取つてしま
つたけれど微妙な味だった。始めは普通の食事のつもりで食べてい

たのに、ケーキのせいでスイッチが入ってしまった。脂っぽいもの、炭水化物をちょっと異常なスピードでかっこみ、ケーキを無料の紅茶で流し込んだ。おいしいと思ったサンドイッチは気がついたら口に押し込んで呑み込むだけのものになっていた。全部おいしいのに憎らしい。おなががくちくなつたせいで律子に対するいら立ちが治まつて自己嫌悪に変わってきたのも過食を加速させた。六十分の時間制限をいっぱいに使って、一階のトイレで吐いた。脂っぽいものを詰め込んだ分気持ちいいくらいすっきりはけた。

そのあと暑い銀座をブラブラ歩いた。買いたいものはたくさんあるけどお金がない。明らかに水商売の女とその客であるような二人をたくさん見た。うらやましかった。ティファニーとかアルマーニとかヴィトンとかカルティエとかよくわからないけれどでもほしい。自分で買つても意味ない。誰かに買つてほしい。そういうのほんぽん買つてくれるならセックストかしたつていいのに。でもそういう機会は私にはなかつた。もつとしょぼいのならあつたけど。まああたしも何してあげたわけじゃないからしようがないんだろうけど。まだ女として価値があるうちに高く売りたいけどあたしみたいな女が水商売以外でどこでそういう相手をみつけろつていうんだ。本当にあの家に生まれたのが疎ましい。大学ではキャバクラとか銀座のクラブとかでアルバイトして人脈創るつもりだつたのに全部計画がぶちこわれだ。仕方なく出入りしていた出会い系カフェは私の人格と男に対する幻想をますます打ち碎いたし。まあ風俗に落ちなかつたのはカフェのおかげだしカフェの一番おいしい時期を体験できたのはよかつたのかもしれないけど、いかんせん単価が安すぎた。当時はそれなりにお金周りはよかつたけどぜんぜん引つ張れなかつたし、貯金もほとんどない（一ート時期と過食嘔吐のせいもあるけど）腹立たしい。今水商売はあたしだけじゃなくてたいていの女の憧れだつづうの。なつちゃんみたいな青春が送りたかった。なつちゃんはどうしてるかな。あたしは絶対仲良くなれると思うのに、距離をとられてしまう。正直失恋より辛い。あたしはおかしいんだろうか。

そのあたりつちゃんと一緒に行く予定だつたピュールマルコリーにいつて1700円のチョコレートパフェを食べた。この世のものは思えないほどおいしかつた。吐いたせいで背中と胃が痛くて体調が万全でなかつたのが悔しい。食べ終わる頃には完全に元気になつていて、もう一杯食べたいのを理性で捻じ曲げて帰つてきた。ムースが濃くて、アイスもちゃんとカカオなのにまろやかで甘くて、無糖のホイップもおいしいしバニラアイスはぶちぶちにバニラビーンズが入つていた。カカオの力が元気になつてしまつたのでまえから気になつていた有楽町の献血ルームに行つてみた。いつもと同じで赤血球の量が足りなくてできなかつた。献血できたのは唯一一回、大宮だけだけど、大宮のはなんか基準がおかしいんぢやないだらうか。あそこだけだ検査とあるの。携帯の充電させてもらいながらこつそりサツマイモあいすを食べ、クッキーをふた袋食べ、家路についた。今日は泊まるんぢやなかつたのかと母が機嫌悪くしていた。新橋と池袋での二晩を経て、結局電車代がかさんでも家に帰つたほうが快適で安く上がると気がついたのだからしかたない。でもまた物凄く一人になりたくなつたらみじめな貧しい夜を過ごしてみるとひとのありがたみがわかつていいかもしけない。

八月二十一日

部活をサボつて大富のココスで存分に食べて存分に吐いてきた。親には嘘をついた。非常に気分がいい。一通目の「やつぱり休みます」メールには返信がなかつたが知つたことか。・・・でもこれ以上休まないようにしよう。

午後はベッドに寝つ転がつてネット。酒が飲めれば最高だけれど日の高いうちは飲ませてもらえない。グラスも使えない。つまらん。明日からそろそろ学校が始まるのが本気で憂鬱。なつちゃんからの連絡も多分来ないし。お金はほしいが、働きたくない。

八月二十六日

八月二十一日。親知らずが痛い。のに吐いてばかりいる。アメ横で買ったマカダミアナッツのせいだ。あれ気持ち悪くなるのにとまらない。脂肪にも依存するらしいからそのせいかも。とにかく体がだるくてつらくて体育館のアリーナでこつそりうとうとしていた。渡辺の中學一年生の弟とその友達（といつても中三）が遊びに来ていて、うちのレギュラー陣は彼らに負けていた。野球部が因縁の学校に大差で勝つたらしい。それになぜかうちの顧問が浮足立つて、やつぱり学校は部活が強くないとかいっていてうざい。頼むからそのへんなドリームに他人を巻き込むのはやめてくれ。本当に具合が悪くて、周りに人がたくさんいるのがすごくストレスだつた。朝化粧もできなくてマスクをして過ごしていたが、マスクに突っ込み入れるひとがたくさんいて本当にイライラした。家に帰つてもなにもできなくてずっとベッドで寝ていた。

八月二十三日。また朝食を吐いてしまった。それでまたへんなビスクエットとかは吸収させちゃうんだから嫌になる。もうすこしになるもので体をつくらないと、相変わらず体がだるくてなにもやる気が起きない。今日から勉強合宿がはじまつて身の回りがすつきりしていく快適。このまま誰も帰つてこなければいいのに。とはいえる今いる先生方が忙しく動き回つている中とくにやることがないのもそわそわした。

日曜どうやらやつの実家に行つて一緒に飯を食わなければならないうらしい。面倒くさい・・・

八月二十四日。大会一日目。上尾陸上競技場。暑いけどこの前ほどじやない。生徒も顧問も何を考えているのか全然わからないし分かりたくない。羽つきがそんなにすきならそういう工場にでも勤めればいいのに。途中何度も抜け出して近所の汚いスーパーで半額セールになつていた小物アイスを食べたりして乗り切つた。まだ歯

がすごく痛い。朝食の生ハム載せパンとか最悪。かたくてやわらかいのがものすごく歯茎に障る。帰り上尾駅近くのはんこ屋で訂正印をつくりひつとしたら店頭にあるものは五百円なのに千五十円取られた。珍しい名字って損だ。明日の準備でセキチユウにいくからまつすぐ帰らないで時間をつぶしてくれとメールが来て、明日両親が旅行だったことを思い出した。夕飯は昼間アイスを三個も食べたからご飯を抜いたけれどマカダミアナッツを食べてしまった。五千円をおかあさんからせしめた。よっしゃ。

八月二十五日。身が入らない。旅行委員の子の英語作文を添削する用事ができて助かった。こうしてみると自分は「勉強がすき」なんだなと改めて思う。スポーツなんかするくらいならたしかに勉強したほうがましだ。一時に学校を上がって大宮に行く。始めマックで六時から十一時間フリータイムを強行するつもりだつたけれど休日料金らしいので興がそがれてビッグエコーに行こうと思うもののに一千六百円するしどうだしていたらユーススタイル（アイスつきフリードリンク完備）が十一時から朝まで千八十円というのでそっちにした。時間まで本屋、ブックオフ、閉店間際でもう帰れよ・モードのミスドで時間をつぶした。ミスドで化粧を落としていたら壁にでっかい黒い蛾がいて蛇口に近寄れなくなってしまった。顔がぬるぬるして不快だつたし肌にも悪そうな気がした。だれが座ったかもわからない椅子の上で身を固くしながら、家に帰りたいなあと考えた。あの歌広の晩を思い出した。始め通路側のせまい部屋だったが途中で変えもらった。録音どころか動画の撮影ができるサービスを見つけてかなり手間取りながらも登録してためしてみた。自分の唄つてるところが見えるのは面白い。生クリームののったプリン、玉子どふ三連。豆乳クッキー六百キロカロリー、ミスドシナモン風味なポンデリングにあんこ挟まったやつとかろくなもの食べてない癖に結構カロリーをとっているのでおさッピで歌いまくつてあたまがぴよぴよしたまま朝のドンキをぶらつ

いてJRの改札に入つて、超直を取ろうか迷つたが食欲がないのでトイレで長々身づくりして着替えスペースでちょっとだけ気を失つて、そのまま南与野に向かつた。

八月二十六日。だるい。駅から体育館まで歩く途中で巨大な、鮮やかな黄緑色をした芋虫をみてしまつて嫌な気分になつた。本当にこのあたりは汚い街だ。ヨーロッパに比べて日本は景観を気にし無さ過ぎるといわれているのがよくわかる気がする。こちらの家に住んでいる人たちは毎朝憂鬱な気分にさいなまれなりしないのか。あんなに、窓の近くに樹の枝がしなだれかかつて、虫が入つてきそう。気持ち悪い。ローソンの卵サンドがものすごくおいしそうに見えたがなんとなく買わなくて、そのかわりにマルエツでカツupめんをかつて人目を気にしながら啜つてしまつた。こんなところ知り合いにみられたら生きていけない。

試合は十一時には全員ストレーント負けて勝負が決まつてしまつた。ここから蒸暑くてやることなくて機嫌悪い顧問が傍らにいて六時間。死ぬ死と思つていたら顧問の勘違いで帰つてよかつたといふことが三時過ぎに発覚。大宮についてからそういうの上の中華料理屋で一回リバつてしまつた。もう。

帰りお母さんたちとの合流の際すこしあぶなかつたけど爆発しなくて済んだ。明日が憂鬱。早めに寝よう。

体験入学と部活動体験。この前の学校説明会がメインのものとは違うから個別相談は40人ほどしかいなくてカルテ整理も楽だつた。英語の授業を聞きにいった。主任がいつもより早口になつてゐるようを見えた。あんな人でも（この「あんな」はいい意味）緊張するらしい。そのあとベテランの先生の面談を見学させてもらつたけれど途中強烈な眠気が襲つてきて死ぬかと思った。ばれていなかつただろうか。西武文理にいただけあってやっぱり凄い人なんだと思う。いろいろ問題はあるらしいけど、まさに立て板に水というかんじだつた。肝心の生徒のほうは気持ち悪い顔面をしていて、しかも多動性らしい。始終落ち着きなく腕を動かしたり視線をさまよわせたり。こういう点で自分は教員に向いていない気がする。きもちわるいにんげんはきもちわるい。ほんとに。あと一センチ近かつたら蹴り倒してしまいそうだ。なんであんなきもちわるいかおで平氣で生きていられるんだろう。まともな美意識とか人に迷惑をかけないようにしてしまうという心を持つて生まれていたらとっくに自殺していると思うんだけど。もうそこからして私の理解の及ばない化け物だ。

朝はじめ何をやるのかさっぱりわからなくてやりづらかったけど隣の先生とも雑談っぽいことができたし定時上がりだし穏やかな気持ちで帰つてきた。明日のために1500円の焼き菓子も買った。作れば安くてもうまいのに。馬鹿らしい。でも初めて訪ねるお宅なら焼き菓子が安全だよねやつぱり。

夕飯が待てなくて煎餅的な菓子を食べまくつて、スペムとキャベツの焼いたのを食べ、にごりざけの御相伴にあずかつて、納豆を食べて、そこで終わりにしどきやいいのにサラダ煎餅を追加したせいで吐いてしまつた。キャベツもつたいない。まともな食べ物を流してしまふとすゞくもつたいなく感じる。実際もつたいない。昨日のみたいのは平氣なのにな。

八月三十日（前書き）

八月三十日

八月二十八日。久々に大出を振つて休める日。彼の実家に行つて、そのあと大宮のジョイサウンドで食べ飲み放題をやつた。彼の母親が自分の勤め先の卒業生だったと聞いてビビつた。多分和やかに進行したと思う。ビール飲まされたけど。明日部活が終わつた後三井のアウトレットパークに行くことに。

八月二十九日。朝気持ち悪さで目を覚まし、黄色ぽい酸のペーストを吐いた。血が混ざつていた。体を引きずるようにして学校に行ってみたら部活なかつた。確かにそんなこと言つてた気がする。新井先生に頼まれていたコピーを慌てて刷つて（後からひと学年分まるまる抜けていたのに気がつく）予定より一時間早く待ち合わせて入間のコストコとアウトレットに行つた。会員には彼がなつた。家族カードを譲つてくれるかと思ったけれど家族手いくこともあるだろくから黙つた。サーモンは水っぽかつたけれどマフィンとアップルパイの試食がおいしかつた。巨大なスーパーは面白かつた。駐車料金を気にして途中で一回で手入れ直してからアウトレットを見た。アプワイザーリツシェと丸井のアウトレットがかなり安くて興奮した。セットアップとアンサンブルニットを買つた。向こうも巻物なんか初挑戦していた。三時ごろ遅い昼を探り、八時半ごろ家にいつたその足でカラオケルに行つた。この前のコーススタイルだ。

前回楽しかつたので二匹目のジョウでそこに行つたのだがひどかつた。十一時を二十分近く待たされ、クロッソの部屋にもなかなかしてくれない。学生多くうるさい。声もなんだか出ないし何が歌いたいのか分からなくなってきた。これはもしかして、飽きたのかわたし。

八月三十日。やつほづ部活する休みで二重埋没直してきました。朝、五時から予約の十時まではコンビニで実話ナックルズとかジャンプを立ち読みして過ごした。けぢらないでカフェに入れればいいの

に。昼食もけちつてついまた食べ放題にしてしまって後悔した。なんとなく気分が悪いまま東京まで行ってサンパカのソフトを食べたりデパ地下試食めぐりをしつつ、自分とかけ離れた世界をたくさん見て鬱になつた。自分は社会の底辺ではいざりまわっているノミ蟲みたいなもんだと思う。ゆで卵を三個過食したくせにステーキの夕飯を平らげてカロリーが怖い。母とお笑い番組を並んでみた。なんだか落ち着かなかつた。昔は自分の考えていることが全部母に分かつている気がしたけれど今はどうなんだろう。

ところでまぶたの黒い点は糸が毛穴を内側に引っ張り込んでしまつたことにより皮脂その他がつまつたにきびのようなものだつた。前回のデブがあんまり感じ悪かつたので担当を変えてもらつて、そいつも埋没なんて詰まんない手術どうでもいいしみたいな態度がすけてみえたがまぶたの幅を左右合わせてあげると行つてくれてほつとした。どうやら人の顔を言うものはきき手がだんだん反対に比べて長くなるのと同じように右側のまぶただけ肉があつくなるそうだ。なのに件のあの医者はまぶたの厚みを考慮にいれずとにかく同じ幅で縫いつけたんだ。ふざけんなだから非対称だつたのか。腫れは別に休むから気にしなくていいですつて言つたのに最初から最後まで腫れる腫れないの話しかしないし。それより幅取つてくれつつうの。今日の奴はやっぱりカウンセリングは激短だったが今のところ添付れ通り「ひろすぎる一重」になつてくれている。この前は全く変わらなかつたもんね。ちょっと内出血してるけど冷やすの面倒くさい。しかし事前カウンセリングでいろいろ聞きたいこととかこうしてほしいこととかあってもすごく言いづらい。まさかそんなことまさかしないと思うけど、これから自分に施術するこの医者を怒らせたる氣を損ねたりしたらわざと手抜きをしたりあとで具合が悪くなるように何かされるんじゃないかって勘ぐつてしまつ。麻酔を効きづらくするとか。もつと命にかかる事態で手術を受ける人はこれの何倍も怖いんだろう。じつはところから医者の勘違いとかドクハラとかが生まれるんだろう。金を払つているのはこっちなのにな

ぜか病院では客の立場が圧倒的にやわいのだ。文字とおり命を握られているわけで。ちなみに今回も私はめたくそに痛くて怖かつたです。一番初めの目薬はいつてないのに看護婦さんひとり納得して行つちゃうし、ライトめっちゃ眩しいし、まず古い糸取るだけでもう痛くて帰りたくなつたし、ほんとうに麻酔効いてたのか板入れるときはやつぱり悶絶した。

中村農場で卵丼を食べようとしたら定休日だったので清里の清泉寮に行つてソフトクリームとかミルクスープとかフランクとかプリンとか食べててきた。三人で出かけるのは本当に珍しいからなるべく起きていてたくさん話をしようと思つたんだけ車に揺られていると眠くなつて結構道すがらうとうとしていた。安心しちゃうのかな。清泉寮でミルク餅と大吟醸カステラをお土産にする。父は最後まで卵丼のことを憂いていた。

帰り御殿場で甲州のB級グルメ一位になつたという甘辛い鶏モツ煮を食べた。赤みそと山椒が効いて甘辛い濃い味付けがおいしかつた。きんかんという鶏の体の中でこれから卵になる予定の未卵も入つていた。考えてみると結構酷い食べ物だけどおいしかつた。また時間ができたら今度は鹿のカレーを食べに行こうと言われた。なんだか懐かしい話もたくさんしたけど覚えていないことも多い。家族つて空氣みたいなものなんだと思う。もうちょっとちゃんと覚えていたい。時間が、手の指の間から砂がこぼれていくみたいにどんどんなくなつていぐ。かき集めようとしても脚の下には水が流れいで、同じ砂は一度と帰つてこない。

夜は狭山インターで武藏のうどんと半熟玉子のてんぷらを食べた。肉やマイタケや葱の入つたしょうゆ味の濃いアツアツのおつゆに氷で締めたしこしこのうどんをつけて食べる。ドライブ中ついつい甘いものばかり食べるからとてもおいしかつた。

七時くらいには家について、いま部屋でこれを書いている。やっぱり家につくと自分の部屋に帰つてしまつし、無理して近くにいてもなんか変な感じがする。なんなんだろうこれ。くつついてたいのに。不思議。

九月一日

特に重大な出来事が起こつてゐわけじゃないのにいたずらに時間だけ拘束されて、自分のスキルアップにつながるでもなし。つらい。九月一日。とにかく眠い。前日ちゃんと十一時前には寝たのに、学年会でうつらうつらしていたような気がする。まぶたの腫れはともかく内出血が治まらない、生徒何人かと福井先生には自分からばらしてしまった。だつてあきらかにあやしんでるんだもん。でも今から考へると「内出血しちゃつて」とか「逆さまつ毛の手術で」とか言つたほうがよかつた気がする。

一年生がやつぱりぜんぜんだめ。三年も。全然授業にならない。なになそなに一年中楽しいの。なんどそなに年中ゲラゲラゲラ笑うことがあるの。本当に理解できない。結局私は学校に、といふか人と接するのに向いていないんじゃないだろうか。やつらが子供とか大人とか女とか男とかじやなくともっと低俗で気持ちの悪いにかべつの生き物としか思えない。実際化け物レベルの不細工も多いし。

体重は変わらないのに顔が丸くてぱんぱかぱんだ。なんでだろう。不愉快。

学年会の前に図書室の補助員が紹介されるといわれていたのに忘れてしまっていた。阿部先生も忘れていたのがまだ救い(?)だけれどあいかわらずこの人とは緊張する。丸くなる前の母を思い出す。二十日のウエスティンまで貪食いは控えようと思ったのにそんなの守れるはずもなく、サケの切り身を買って塩を振つてがつがつ部屋で隠れ食べた。どんなものでも人にみられないところで隠れて食べるものがどんなごちそうよりおいしい。誰とも会いたくないし話したくない。

九月一日。授業が始まる。相変わらず授業は大崩壊。もうやだ。あいつらなんでそなに馬鹿になりたいの。五分も黙つていられな

い。楽しそうで何よりだよ。しねばいにのに。明日も時間割がぎつしりだし、来週もぎつしりだし、泣きそり。土田はがつつり試合だし。

放課後講習のときも「ほとほと嫌になつて帰りたい人は帰つてと言つたら七人くらいしか残らなかつた。問題にされるだろうか。でも帰つてつたやつらが教室にいたつて、どうせあいつら「そこにいる」だけでなにひとつ聞いてやしないから同じだと思つんだけど。

部活が筋トレで早く終わつて、さあ帰ろうと思つたら明日の保護者会の資料をくむとか言い出した。印刷するまではいいけど、なんで明日ホームルームで生徒に配るんじゃダメなのか理解に苦しむ。どうしてこちらがそこまでしなければいけないのか。配られたプリントを一時間くらいもなくさないでいられない人間つてもう社会じや必要とされないと思うのだが。しかも教員分も刷らされたが、これ昨日の学年会で配られた資料と全く一緒だ。どうして同じものをもう一度配布される必要があるのかやつぱり理解に苦しむ。結局学校を出られたのは九時ちょっと前。私は朝七時半から学校にいるんだぞ。頭おかしいんじゃないか。月二十万も行かないのに毎日十四時間拘束されてるつて。空き時間なんかいらぬから時給制にしてほしい。五百円でもいいから時間外の労働つけてくれたらかなりの小遣い稼ぎになるつつの。早くやめたい。仕事しなくて済むなら子供産んだつていいくらいだ。とにかく私にはこういうの耐えられない。向いてない。はやくしにたい。んで、死ぬならこんな思いしたくない。

夜はおなかがすいていたけどウイスキーだけ飲んで寝た。体重が大幅に増えて、体の厚みが半端ないことになつていた。何この豚。

今日も元気に授業崩壊。もう本当にみんなあいつら苦しみぬいた揚句に今までの人生全て後悔して泣きながらたつた一人で息絶えたらしいのに。

とはいえた午後の保護者説明会のほうがいやだつた。なにをすればいいのかさっぱりわからない。担任にしか流れが知らされていない部分もある。ただ、思ったのが、何をすればいいのか無能の指示待ち人間と化すときでも、オドオドモードをやめるだけでも印象が多少変わるんじやないかということだ。はきはきと、「私仕事したいんです！あほだけど仕事探してます！なんかさせてください！」つて感じでいたほうがいいんじゃないだろうか。次回からこのことを中心掛けてみようと思う。

部活でまた顧問が切れた。「つい熱くなっちゃう」じゃねーよと思ふ。別に熱くてもいいけど、少なくとも私を巻き込むのはやめる。失った青春を年下使って取り戻そうとするな。好きでやってる人は無給労働とか思わないんだろうが、私には業務時間外の拘束はことごとく拷問。興味はみじんもないし、しかもバドミントンなんか見ててもなんのスキルにもならない。勉強する時間や体力だけが奪われていく。体が疲れていると頭は働かないもん。明日も来週の土日も部活だし本当に死ねよ。あの人個人に恨みはないがほんつとうに部活やめてほしい。とにかく部活。

あと浦江がちょっと、いや大幅に気持ち悪い。あのどろつとし田がまず気もちわるいし、腹の中で何考えてるか他の人より三割増しで見えないし、体弱いアピールが半端ない精薄臭。近くにいつどぎょつをしてしまう。こっちのなにかが吸い取られそう。不気味。芋虫みつけたときみたいについ目が離せなくなることがあって悪夢。なんか妊娠でもして退学してくれないかな。

九月五日

九月四日。朝から上尾鷹の台と練習試合。一時までつて前提がかしくないか。普通の人間は十一時にご飯を食べるんですけどそんなわけで気分は最悪。朝から病的に生クリームがほしくなつてミニーストップでカップデザートを買って駅で流し込んだ。クリームはおいしかったけど残りがなんだかよくわからないますいムースとプリンで嫌になった。最近ようやく「おいしくない」という感覚が（体調関係なく、味覚的に）分かるようになった。しかし酷いゼラチン質だ。

学校につくと意外とトイレがきれいだったのであきらめていた胃の中のものを吐きたくなつてしまつて、もうすっかり消化していたすっぱい液体をちょっとだけ出した。喉を痛めただけだ。その後がやばかった。低血糖かカリウム不足か知らないがほとんど意識を保つていられなくてふらふらくらくらしていた。顧問は気づいていてスル なのか自分が楽しくて気がつかないのか触れなかつたが正直寝ていたと思う。

帰り定期を買わなければならなかつたので大宮まで顧問と一緒にで氣まずかつた。一つの話題があんまり続かないからぽつぽつお題を出してはそれが終わつて・・・みたいにテンポの悪い会話を繰り返して大宮についた。まとめ買いしても値段変わらないと思っていたのに結構差があるらしくてショックを受けた。いま半年買つてもな・

初サブウェイ。ツナとか馬鹿にしていたらめちゃくちゃ おいしかつた。野菜とパンつて合つ。こんなに高くなければしそつちゅう買いたい。大きさとか満足度の割にはやっぱり高い。サンドイッチが4、5百円とか。

ビッグカメラでフォトショップとかコミスタの本を読んだがなにがなんだか全く分からぬし興味をそらない。パソコンで絵を描

きたい気持ちは物凄くあるのに・・・。生徒にとつての勉強もこんな感じなんだろうか。解析度とかファイルとかほんとに全く何が手掛かりなのかもわからないし、お手上げだ。機械と私は相いれない。そのあとスイパラ行きたくなつたがお金がないので抑えたのにそごうの地下で揚げ物の試食をおいしく食べたらスイッチが入つて、セブンのチョコミニントコーン、スーパーカップのクッキーバニラ、半額のかぼちゃ大福、餅巾着で吐いた。帰りにヤオコーで禁断の力シューなツツまで買つてしまつた。食べ物代さえ浮けば私今頃大金持ちだと思う。おやじども転がして稼いだ金もまだ残つてただろうな。セックス売らなかつたのが奇跡だ。

九月五日。昨日の暴飲暴食がたたつて朝食が食べられなかつた、というのはうそで一度寝しました。十一時前に寝たのにな。

授業をもくもくなして、事務とか学校説明会とか学級活動よりも改めて思う。決まつた動きだからだ。あと他人が介入しないから。やっぱり私は技術職についたほうがよかつたんだろう。理系のアタマのだけど。

放課後特選特進の女子にクラスTシャツを貰えと詰め寄られてつい押されてしまつたがどうしてもいやで担任に相談して恥をかいだ。生徒しか動いてないなら生徒を言いくるめればよかつたのに。誰が嬉しくて担任でもないガキの作ったTシャツに金を払わなければいけないんだ。千円でも二千円でも、五百円だっていやだ。正直十円でもいやだしむしろくれるといつてもいらない。床を磨く雑巾ならうちにもいっぱいある。文化祭とか滅びろがこつちの本音なんだから。ちょっと勘弁してくれないかなとか言わなかつた自分をほめてあげたい。

そのあとまた馬鹿どもの和文英訳に付き合わされ。だから日本語をそのまま英語に直訳しようとするなつての。頭をつかつてください。使えないならどつかにその頭埋めとけ。

いつものゆで卵が半額になっていたので電光石火で買つて、家に帰つた。今日は「何かやることありませんか」も言わなかつた。

ちなみに大会は1-1日丸々になつた。成田には行けない。これだけでも最悪なのに、今度の大会では五校と五試合すつ、それぞれが試合をするらしい。一校でいいじゃん！…なにかんがえてるの、なんなの、ばかなの、しぬの？羽つき大会とか元旦にやれよ！むしろ元旦ならデパートもあいてないし全部正月料金だし部活あつてもいいのに、一番いい時にばっかりぶつけやがる。好きなやつはいいだろうけどこつちは迷惑っていうかむしろ呪つだ。どうしてそんなにハタ迷惑なの？羽つきにかかるすべての人があ亡くなりになりますように。

あ、そうそう鷹の台の顧問は小林ね。もと野球部だそうです。

九月七日

九月六日。1Cの授業が完全に崩壊して口を開いたら泣きそうな気がしたので一時間ネグレクトして通した。文化祭が怖い。

なにがそんなに面白くて年がら年中グラグラグラグラグラわらつてるんだろう。なにをコソコソクスクスいつまでも内緒話しているんだろう。学生のころから全く分からぬ。教員になつたらもつとわからない。上昇志向がまるでないし、勉強できなくて恥ずかしいって気持もないらしい。自分よりぐずな人間がいるのは安心するけどそれが取引相手だのお客様だのになると話は別だ。雑草みたいなものか。知らない山にでも生えてるならあー自然だなーですむけど、自分の庭に生えないと不快。

国内研修の打ち合わせもわけわからない話ばかりで海外は忙しそうだけど手伝いすべきなのか何なのかわからないし、夜中眠れなくてウオツカをリングゴジュースで割つて隠れ飲みだしたけれどさつぱり酔えなかつた。コップに一杯半は飲んだのに顔が赤くなるばかりで全然眠くも楽しくもならなくて、いらいらしてチキンラーメンとか生卵とか食べて吐いた。そのあと卵黄とキムチ混ぜたのを部屋のじゅうたんにぶちまけて死ぬほど後悔。いまも赤い色が落ちてない。九月七日。平穀に過ぎた。ここに三日酷い過食衝動さえ收まれば言つことないんだが。生徒指導部の仕事に振り回されてる福居先生の仕事を手伝つたら虫の居所がいいのかなんのかやたら感謝された。喜んどけばいいのに、馬鹿にされてるのかとかいいように使えるように「育て」てるのかとか、「ほめて育てる教育実施中」なんかとかとにかく自分の考えは卑屈だ。

しかし、これを書いている今も食べたくて食べたくて食べたくて仕方がない。土曜日ココスの肩バイキングにでも行くか。

九月九日

九月八日。二三百円のマルチパックとモウのトスプレッソ。我慢爆発でアイス衝動買いした。明日は一年生がテーブルマナー研修でいなかから気が楽で電光石火で帰れると思つたら学校に帰つてくるらしい。文化祭前だからか。ほんと文化祭爆発しろよ。

朝甘いものが食べたくて食べたくて仕方なかつたのをミントミルクとか言つよくわからない新商品を買うだけ買ってごまかして一日過ごした。結局それは飲まなくてその代わり学校にキープしていたドライジンジャーを呑み込むように食べて、寝過したせいで食べられなかつた朝食のパンもこそそデスクで食べて、早弁までした。おかしいこの午前中の食欲。明後日絶対ココス行こう。やつぱりウエスティンまで我慢はできなかつたよママン。

部活が明日ないのが死ぬほどうれしい。今日昨日と上村先生が五時半になるや否や電光石火だつたからなおさらつらやましかつた。給料安いんだからせめて拘束短くしてほしい。いくらあたしが無能だからつて本当に酷い。苦しむために生きているみたいだ。正直世間体さえなれば一ートになつて体でも売つて暮らしたほうがよっぽどいいと思う。こうしているうちに女としての消費期限はこく近くと近づいていて、処女膜は重くなる。まともな男はどんどん売れて目が肥えてあたしになんか見向きもしなくなるし。

あー鼻整形したい。下から見たとき鼻の穴が丸いのつて本当にみじめ。落ち込んで見せたつてみつともなくしか見えないし。悲しそうにしたとき同情引ける顔になりたい。もちろんいい意味でだ。体の調子が悪くても誰も心配してくれない。

今日篠崎先生とトイレでちょこつと話して、あたしより五歳くらい年上なのに肌がきれいだつたり、顔が驚くくらいちつちやくて体が細いのをみていたら自分と同じカテゴリーの生き物とは思えなくてすゞくみじめになつた。不細工は嫌いだけどあたしより不細工が

いなくなつたら死にたくなるからやつぱり多少は必要だと思つた。

九月九日。人に見せるものではないと開き直つてからの自分の文
章が酷い。

生理が来た。ここ何日かの異常な食欲はこれだつたのか、と思う
一方で別に生理関係なく私の食欲は化け物だつたような氣もある。
今日はただでさえ四時間授業があつて、しかも放課後講習と音楽室
掃除とマナー研修に行つた先生の自習監督があつてずっと稼働しつ
ぱなしだ。一二限の卒業研究はほとんどやることがなくて他二人の
先生が受験対策に右往左往しているのをいいことにほとんどネット
サーフィンして過ごした。ホテルラウンジ見たりあさつて行く与野
の周りにミスドがあつたらいいのにと思つたけどないのを確認して
うざぎつてしまつたり。いかにもありそなに・・・。久々にミスド
のモーニングでエンドレスコーヒーしたい。大学時代つてよかつた
な。二年は嫌なことばっかりだつたけど自分の時間が増えた四年
生とか就職のことさえなければパラダイスだつた。二年だつても
う少し上手くやれたはず。過食症さえなければ万引きも人の目が気
になるのも人とごはん食べられない症候群も方と首がこるせいで多
動になるのも集中力の欠如も睡眠障害もなかつた。水商売に足突つ
込んだりもしなかつた。あんだけ食べてはいてまだ食べたいし体に
は贅肉が山ほどついてる。今もアーモンドが止まらない。このまま
これからどうなつていくんだろう。同僚の女の先生の疲れた肌とか
たるんだからだと見てると怖くて仕方がなくなる。私なんか若く
てもぶすなのに年取つたらテロみたいな女になるんじゃないだろう
か。頭の中身もからつぽだし。

なのにうちの学校のアタマ底辺で（あたしより悪いんだ。相当だ）
ぶつさいくな女どもが（男も）毎日ゲラゲラ笑つてるの見
ると殺意が沸いてくる。全員トラックに詰め込んでそのまま崖下に
大分すればいいと思う。冬の海の底に沈め。

うちのクラス放課後講習大量脱走しやがつた。浦江鈴木さ根元丸
山あたりが本気でうざい。浦江はともかく（顔はいいほう。気持ち

悪いけど。）残りは高校生のうちから顔面凶器でなに勘違いしてゐるんだろう。特に根元髪もつさしき。鈴木は顔面センター。丸山は眼鏡取ると誰だかわからなくなる。ごめん赤眼鏡つて認識してたわ。男だと矢作が顔でかくて脚短いくせにいきがつててうざい。そいつえば中村は混血らしい。だからあんなに下品なのか。混ぜるものいけど組み合わせを考えろつて感じだ。外人に足開くのは勝手だけど変な血日本の社会にいれてくれるなよ。佐藤もいい加減にしろ。集団でいるときだけテンション高くてイライラする。大いなる愛で包もうと思つたけど無理だわ。私の博愛精神金魚すくいの網よりもろい。昨日の今日で内心大崩壊してたわ。こんなで英語わからんとか苦手とか嫌いとか、おまえら全員国内研修しろ。文化軽視する奴が外国行くところにならない。ミキサー車に放り込んでバラバラにしておさかさんのお栄養分になればいいのに。おまえらが社会に貢献できるとしたらそういう原始的な場面でしかりえねえよ。いるだけで害だ害。飯食うし息吸うし糞たれるし。水洗トイレの水道代がもつたといないから体に糞詰まらせ死ね。ちょうどうんこみたいな顔してるしちょうどいじやん。あーうぞい。

九月九日（後書き）

ひどいな後半

九月十一日

九月十日。突然降つてわいた休みだ。何をしようかと考えて、特に何もできないのに気がついた。というか正直何をしたいのかよくわからない。とにかく休みたい働きたくないのが本音だが休むつて今までどうしていたんだっけ。

迷走して拳句近所のココスで豚の餌みたいな食べ物を散々過食嘔吐してしまった。ほんといくら700円だからって伊奈店の品ぞろえは悪すぎる。唐揚げもないしメロンパンもピザもとろろもない。あさりの焼き込みご飯もなかつた。全部まずい。ホットミルクも薄いし。それでも限界まで胃を痛めつけるとあの鬼のような食欲が少しは収まつた。生理が始まつてしまつたせいもあるのだろうが。

母には部活があつたことになつてるので家に帰つて無理やり少しだけラーメンを食べて、母とちょっとした時間喋つていた。話が熱くなるとついつい嫌なことを掘り返してしまいそうになるので緊張もあつたが楽しかつた。でもそれにしても私は本当に歩く地雷原だと思う。母にとつては見たくないもの消してしまいたい物の象徴みたいに思われても確かに仕方ない。人間の根っこが屑だから。今持つてる生徒たちより屑だから。精神病に依存癖に盗癖に売春まいなこともしたし自意識過剰でわがままですぐキレるしもう本当にどうしようもない。だらしなくて努力が大つきらいなのが決定的だ。毛嫌いしていたルーキーズを見た。面白くてちょっとむかついた。溝端順平つてあんなに顔整つてたんだ。

夜食べすぎたけどおいしかつた。レバーのにつけたのが特に。

九月十一日。宏美の迎えには結局行けなかつた。正直この一日のことは思い出したくもない。とにかく暑い暑い暑い暑い暑い暑い暑い暑い。くそつまんないし、結局〇勝だし夏あんだけ迷惑掛けといて何考えてんのばつかじやないの。みんな死ね。女子もやめるなら辞める。最後のところまで大つきらいといつての顧問に責

任持つてもらおうなんて甘すぎる。いやならちゃんと直談判してやめろ。こいつらバイトとかもバッくれるタイプなんだろうな。目先のちょっと苦しいことが我慢できなくていろんなものの間をふらふらして何一つ身につかないタイプだ。しかし汚いし暑いし本当にスポートなんかみんな嫌いだ。携わる人間一人残らず苦しみもがいて死ね。ストレスでアーモンドをぱりぱりやって雪見大福のマルチパックを飲むように道端で押し込んで吐いたけれどほとんど出なかつた。吸収早すぎて頭が痛い。デブは嫌だ。呼吸する生ごみ。なのに食べることしか楽しみがない。

九月十一日。朝死ぬほど憂鬱だつたけれど行つたらなんとかなつた。まあお菓子は止まらないんだけど。時間割もさっぱりわからないし。問題はそのあと。

家についたのは八時半で、当然こんな時間にモノをたべたら脂肪まつしぐらだ。だから朝食べるといつただけなのに母発狂父発狂。自分の常識をこっちに押し付けるのはやめてほしい。おまけに仕事中のストレス間食すら禁止する気ですか。死ねつていうんですか。あたしはあなたたちと違つて劣等遺伝子なんで人の間に入つて普通に生活するだけでも常人のい何倍も何倍もすり減らすんです。そのためつらさを分かつてくれとは言わないけど理解してくれたつていんじゃないの。22年一緒にいるのになんにも見てない。ぎりぎりのところで正氣を保つてゐるのに。歩くのがストレス、チャイムがストレス、他人の声がストレス、パソコンはストレスの塊、etc..etc..もう死んだほうがましかもしれない。なにが楽しくて毎日生きてるのか全く分からぬ。

本当に1-Cが大崩壊している。教室の半分以上が教科書を机に出している。授業中に大野先生が入ってくるような事態。登用試験の話が出ているときにこういう事態つて本当どうしよう。あいつらみんな文化祭で不慮の事故が起こつて普通学級に通えないくらいの不具になるとか死ぬとかしてくれないかな。勉強する気ないやつは高校こないで働け。おまえらを大学なり専門に押し込む手間と押しこまれた大学・専門の迷惑を考える。

時間割をなんとか組み終わったものの自信なし。何をどう見てチエツクすればいいのかもわからない。選択科目が多くすぎる。なんでこんなに複雑にしたがる。そこまでするような頭の生徒じゃないだろ。文理とかいうけどどっちも同じような頭のつけるじゃん。まだ週の半分にもいかないのにクマがすごいし疲れが半端ない。まだまるまる一週間勤務が残ってる。いやだいやだいやだ。

給湯室掃除のとき藤本先生が何か言つていたが、あまり耳に入らないで生返事だつた。どなり声と猫なで声の落差が激しすぎて正直あのひと気持ちが悪い。というか教員になつて改めて思つたが、私やっぱり怒鳴る人嫌いだ。指導部会が終わる前に帰ろうと思つたのにタイミングを逃し、七時を過ぎても帰れなくて誰一人まともに取り組んでいない全校朝リスニングの問題印刷までやる羽目になつた。プログラム印刷というものを覚えてひとつレベルアップした気になつた。・・・地道すぎる。

家に帰つたら宏美のみやげの甘い白ワインが開いていて、それがグラスにいっぱいとたら二ティップのクラッカーと鶏肉と野菜を煮込んだものと冷凍すると言い張つていたはずのカレーのあまりが夕食に出た。全部食べてもなんとなく満腹しないのをむりやり抑え込んで風呂。つらい。なんにも食べないほうがましだ。やっぱり夕飯は食べない生活にしようか。ちょっとたべるくらいならたべないほ

うがらくなのに分かつてもらえない。昼から九時間何も食べないほうが変なのに分かつてもらえない。一日三食つてノイローゼみたいに思いこんでるあいつら。

口テが熱いまんまになつてて注意されたし。触るなよ。部屋はいるなよ。燃えねえよ。あーうぜえ。もつほんとに逃げたい。

九月十七日

九月十五日。木曜日は忙しい。それにしても最近食欲が酷くてお昼になるのを待ち切れずになにかしら口に運び続ける。汚しちゃいけないものもあるのにみつともなくてどうしよう。向かいに座る上村先生が気になって仕方ない。食べ方汚らしかったり音がしてたりするだろうか。最近今まで以上に態度がよそよそしい。国内一緒になのにやだなこのままじゃ。この人も阿部先生と同じで自分ひとりでなんでもぶんぶんすすめちゃう。こっちはおいてけぼり。そりやあなた方一人でやつたほうが早くて確実なんだろうけど、わざとこっちはわけわからなくしておいて急に話振ってきたりするのは本当に腹立つ。藤本もだ。私打ち合わせ中欠席電話の対応してたし、そうでなくとも担任が学年活動でどこに集まるかとか担任しか知るわけないのに私に大声で聞いたりするのやめてほしい。ああやつて人を第三者から見て間抜けに見せる方法熟知してる人って性質悪い。阿部先生のお得意の時間割組み、やっぱリデータあるんじやないですか。なんで「時間割見れば組めるでしょ」とかいうかな。授業とかカリキュラムについて熟知してなきや組めないつづーの。三年の特選特進なんて授業一個ももつてないし理系に至つては二年生でも接点ないんだから。経営情報はもう全く未知だし。阿部先生だつて一之瀬先生からデータもらつて組み換えたらしいじyan。なんでそういう言つてくれないのかな。

ほかにもいろいろあつて久々に過食で千円以上使ってしまった自己嫌悪。何回もレジに並んでみつともないつたらありやしない。生徒に見られてたら詰むのにやめられない。夜中こつそり下に降りてウォッカをたらふく、フルーツジュースで薄めて飲んだ。にんにくのしょうゆ漬けをパクパク食べた。明日が永遠に来なければいいのに。

九月十六日。学校も何をしたらいいのか分からず、でも暇そうに

してるわけにもいかなくて、お尻の座りの悪い一日だった。1Cの授業を一つやらずに済んだのがラッキーだつたくらい。また食欲がお化け。またヤオコーでアイスとカップラーメン半額だつたもつちリチーズビラ焼きとでリバ。家に帰つてキムチと赤ワインを一本空けた。また親がふたりして私に怒涛の勢いで炭水化物を食わせようとしてきてうざい。私はビタミンとタンパク質だけとりたいの。カロリーのお化けの炭水化物は意識しなくたつて採れちゃうしほんとほつといてほしい。自炊したい。

九月十七日。ほんとになにしたらいいかわからないイライラな一日。しかもおやつを切らしてそれもイライラ。午前中は2Aの女の子にいれてもらつてミサンガ作りを一緒にやって、午後は3Eに顔を出して一緒にセロハンを切つて。生徒と接する時間が多いためそもそもあんまりちゃんとしてない猫がはげれて嫌われそうで怖い。人と個人的にかかわりあいたくない。私を好きになる人なんてそれなりの人だし、そもそもそんな人を見る目の人とはお付き合いしたくない。

昼時わたしを露骨に無視するタバコとアイプチの名古屋あかりが藤本先生に怒られていて愉快だった。でもなんで尊敬も慈愛も抱いてないらしい顧問にあんなねちねち怒られて、それでもいつまでも部活に居座つてるんだろう。マゾなのか。

生徒指導で思い出した。1Cの一部がバイクやつてジッポオイルで看板燃やして拳句に仲間の脚もローストしかけたらしい。二人進路変更。言われてみれば発覚日の授業で俺たち学校追い出される予定だからとか言つていた。ついでにクラスの三分の一学校やめるとかも言つてた。馬鹿だね。追い出されたんじゃなくて勝手にでていつたんだよ。分からぬかな。あんたたちが力任せに暴れて大人たちみんなが必死で引っ張り上げようとしていた命綱を切り離しちゃつたんだよ。それにあんたたちと一緒に暴れまわつてるよう見えたあの子もその子もみんな内心じやそんなにあなたと同調しないし、ほんとのところ親にも先生にもお友達にも愛されててそんなに

自分が不幸とか思つてないよ。あなたたちが愚痴言つたりするの聞いてもあー自分はそれに比べて恵まれてよかつた! てなところだよ。見てみなよ。一心同体のつもりだつたんだろうけどレールから外れたのは結局あなたとあなただけだつたね。他の人はやつちまつたなつて思いつつも普通にそこに居続けるし普通に人生を続けていくよ。あなたたちのことなんて三日で忘れる。さようなら。ついでにいなくなればいいのにして生徒ほかにもいたけどまあそんなに上手くいかないか。

「あの辺」の女子が援でもやつてなおらない病氣うつされて妊娠すればいいのに。山に捨てられればいいのに。バスのくせに自信満々の女つて顔面すりおろしたくなる。おまえらが就職する気なんじや介護施設にも保育園にも絶対あづけたくないな。子供の何を知つてるつて言うんだろ。おまえらに子供の世話とか絶対無理。なんで自分の面倒見れない人間に限つて動物とか年寄りとか子供とかより面倒なもんの世話焼きたがるんだろーな。

明日明後日マジ憂鬱。食欲がいつまでたつてもお化け。早く仕事を辞めたい。

九月十八日

基本的に素人の見世物をみていて面白いと感じる奴はない。高校の文化祭なんてのはその最たるもので、セックス相手を探しに来た猿か、自分の劣等遺伝子のなれの果てを見に来た親か、その当人たちくらいしか楽しくない。というよりむしろ自分にとつては拷問。なにをすればいいのかさっぱりわからないし、暇そうにしてちゃいけないし、どこにもかしこにも人がいるし、なにより 祭りとか 大会とかいうものは私は全部嫌いなんだよ。

英検申し込みがどう数えても一人足りなくて、確認したら申し込んでいない子をなぜかチェックしてしまっていた。わけがわからぬ。福居先生もあきれはてたらしいし中野先生も表情にこそ出さないがなにを考えているやら。というか私はいまだにあのひとが相手の面接を思い出すと赤面しかける。

あんまり深く考えたくない。生きとし生けるものすべてがうざい。明日朝起きたら世界中が死んでればいいのに。もういや本当に。ああああ

九月二十一日

九月十九日。文化祭一日目。ほとほと愛想が尽きた。文化祭はダメなやつは結局なにをやってもだめだなあとしんしん分からせられたイベントだった。一日ずっとうろうろ歩いてくたくて。うるさい汚いし臭いし手持無沙汰でいらいらするし。なんで大学を出てまでこんな底辺な仕事をしていなければいけないんだろう。そんなに私悪いことしたかな。結構眞面目に頑張ってきたと思うのに。あまり疲れすぎて10の迷路には入りたくないとはっきり言ってしまつた。別にいいけど、いや少しまずいか?あつくてくたくて休憩所で涼んでたらそこの生徒にいつまでいるのか言われてイライラしていたせいもある。ほんとあいつら肩だ人間の顔をした生ごみでまともに生きてる人間のガンだ。十把一絡げでくだらない。

いろいろは後夜祭でピーカクをぶつちぎつた。みんな疲れてるのにまあ段取りの悪いこと。拳句待たせて待たせてその出し物が全部酷い。軽音のボーカルのへたくそ加減なんかもうキャラにしてやつてもいいかなつてくらいお粗末。あんなのを学校の後夜祭程度とはいえ披露して恥ずかしくないってのはもう一種の才能だと思う。恥の概念がない人間つて近くにいられるとものすごく迷惑で死んでほしいけど本人は楽しそうでたまにうらやましくなる。しかしひどかった。そのあとかたづけがまだらだら長いし生徒会の仕事は手伝つていいのか悪いのか分からないしとにかく疲れた。また阿部と福居れた自分たちだけで納得してすいすい現場仕切つてて、まあそれだけならないけど、そうやっておいて後であいつ手伝わないとか言ってたり疲れたとか言つてたらめちゃくちゃむかつく。

ミーティングが終わつて帰り道はひたすら解放感に満ち満ちていた。し明後日の片付けも憂鬱だけどとりあえず明日のウェスティンだ。家に帰つてもハイテンションで幸せだった。やつと地獄から解放されたんだから、これはもう祝うしかないということなんだ。

九月二十日。母が実家に行くと、いうので早めに家を出て、大宮のマックで軽く喰つてから恵比寿に行つてアトレとかを見て回つた。天気さえ良ければ代官山のほうへ散歩に行こうと思っていたのだが時間違えていたのに加えて泉がなぜかガーデンプレイスにくるのに迷つたせいですこしぐだつときて嫌な予感がしたがやっぱり終始イライラさせられっぱなしだった。どうせそんなに食べられないんだからショアして食べようというのをこれくらい食べられるしと露骨に嫌そうにしておいて一時間もしないうちにおなかいっぱいになつて具合の悪そうな顔をしているのでむかむかした。だからいつたじやないか。本人いわく朝や昼は食べられなくて夜おなかが減つていくらでも入るのだという。だから太るんだろ。ほかにも飲みたくない種類のドリンクを勝手に頼まれたり、並べられているナイフフォークをどこから使うのかなどマナーを気にしているようなわざとらしいそぶりをみせてきたりいろいろいろいろ。ホテルのレストランにデニムのショートパンツとサンダルをはいてくるような成人女性にマナーとか口にしてほしくないつつうの。食べ終わつてからもちくちく嫌な感じだつた。まだ立つているだけで汗をかくようなころに構想を練つていた漫画が結局まだ1ページもかけてないらしい。絵も描けないんだからとりあえずペンを入れてみれば練習にもなるのにいつたい何をやつているのか。見せるわけでもないのにアドバイスもなにもできないし、この期に及んで公務員はいやだとか言つている。おまえが嫌がらなくとも向こうが取らないから安心するべきだ。この後どうするかというときもどこかに座るでもなくずつと突つ立つてたまに「 とかもどうかなー、なんて」と聞えよがしに言つてくるが、決して自分で決めようとはしないのでひたすらスルし続けた。結局飲みに行くことになつたがそれでもぐだぐだぐだしててなにがしたいのか分からぬ挙句に1500円以内で雰囲気のいいところで酒が飲みたいとかぬかしやがる。サイゼリヤでもないと無理だけどサイゼは・・・とかいつてる

し、300円均一居酒屋に行きたそうだが、あそこは合計すると別に安くもないうえにまずいしうるさいから嫌だつた。結局わんに行つた。平日限定。飲み放題が777円に御通し400円。一人一品以上のオーダー。結論から言うと酒はおいしかつた。陶器でビールが出てきて、カクテルもおいしいし、サンザシのお酒なんてはじめ飲んだ。甘酸っぱくてすこし苦味がある。特によかつたのが、わかれめしか入つていのものとはいえ味噌汁の無料サービスがあつたことだ。これが塩分になつたし、二人ともおなかは一杯でケチなので焼き鳥を四本頼んで終わり。会計は一人で三千円だつた。ここで帰ればいいのに酔つた勢いでカラオケに行つてしまつた。案の定相手は疲れてグロッキー。疲れるなら迷惑だから帰れよ。不機嫌そうにして可愛いタイプか鏡を見てよく考えてみたらいいと思う。けだるげにしているつもりかもしれないが、完全にふてくされたぶすだから。

ほんとに泉といると「ディスコ//コニケーション」って感じがする。これつて多分私もほかの人から思われることだろう。極悪ではないだけに余計性質が悪い。

九月二十一日。台風で酷い風と雨。予定表通り八時半に一日酔いがんがんの頭で行つたら誰もいない。練習は九時からつて、聞いてない。もうなにがどうなろうと九時に来るようしようか。どうせ終わるのも終わる時間に終わらないわけだし。適當言つて十時に抜け出して大富のそごうの上の中華屋で四ラウンドくらい食べて吐いてを繰り返した。本当に私はどうしようもないなど感じた。社会の底辺になつて気分。ずいぶん吐き残つた自覚はあるけど今ようやく体調が戻つた。ああ明日行きたくないな。外は台風で風がガンガン吹いて雨が滝みたいに降つてる。

九月二十三日

九月二十一日。文化祭片付けと前期終業式。また原稿に不備があった。公欠の生徒を欠席でつけてしまっていたらしい。藤本が私の声真似をしてきてむかつく。私だってもうこのオドオドモード止めたい。自信ない時つてものの言い方とか目線とか、自分で自分が気持ち悪い。人に上手く話ができないて実際の三割増し以上に間抜けになる。

バトミントン部の女子一人がとうとう辞め・・・すばずが強引に休部にされる。去るもの追わないって言つてたその口で今度はどんな屁理屈こねるつもりなんですか鈴木先生。生徒が何をいつても「嫌なことがあつたらすぐ物事をなげだすのか」とそこに持つて行きたがる。なんかい「すぐ」ではないといつたら分かるのか。私も何度も相談したし直接の訴えもあつたのにすっかり忘れてる。しかしいいよな生徒は。いやならやめられるんだから。

牛乳を買って甘いものを我慢したのに結局体のためを思つて買ったアーモンドを過食嘔吐してしまった。こういう生活があと何年続くんだろう。とても耐えられない。つらい。苦しい。全部投げ出したい。気力がわからなくて酒を買いにさえいけない。鬱。

九月二十三日。ココスのバイキングで過食しようと思つたのに体がつらすぎて無理だつた。舌が荒れて、しかもパンパンに腫れて、とても食べ物を食べる気分じゃなかつた。まあ半日したら完治してるんだけど。十一時まで寝こけて、そのあとも祖母の家に無理やり連れて行かれるまでうとうとしていた。なんにもいらないからとにかくいつまでも眠つてみたい。サバランはあんまりおいしくない。甘いだけ。祖母の家は昔と違つて何から何まで汚くて気持ち悪い。ケーキを食べる横で痰の絡む咳をされたり、不幸のうちに死んでいった年寄りの話を何回も何回も聞かされたり、わたしもはたから見るとこう見えるのかな。小さい頃は気がつかなかつたけれど、お

ばあちゃんつて他人と自分を不幸にするひとだ。せめて早くみつちやんがなくなつてしまえばおばあちゃん単体ならひさに来てくれるもいいけど、おばあちゃん + みつちゃんじや我が家が背負い切れる不幸ゲージを簡単に振り切つてしまつだらう。ただでさえ私つていう疫病神がいるのに（でもうちほどモラル意識厳しい家じやなればわたしこんなに責め立てられないと思つ。そもそも人殺しだつて五年六年で婆婆に出てきてなんのわだかまりもなく社会復帰してのになんで私はこんなに長いこといつまでもいつまでも忘れさせてもらえなくて苦しまなくちゃいけないんだろう。酷い不公平だと思う。要するに世の中は反省しなくて顔の皮の厚い奴の一人勝ちなんだ。さらに声がおつきいとなおよし。あたしに子供が産まれたら他人のことなんかなんとも思わなくてあたしとその子自身だけ大事にする子に育てる。それこそが幸福への道だと思つ。）

九月二十六日

九月二十四日。土曜日。学校に三時間だけ行つて夜は件の彼とお酒。昼間は教育補助員だか何だか元はなさきとくはるの先生さまがくそつまんない話を九十分もしてくれたおかげで腕の内側が内出血だらけ。帰り際教頭に今日の講話はどうだつたときかれだけまさかふねこいでたの見られたのか。本採用の試験近いのに。もうやだ。

おやつ食べすぎがたたつてお昼ろくに食べられず、チョコアイスを買ってフードコートで食べて、一時間だけ授業の予習をして、第四文型危ない自分に愕然として（どうしてもbony系とglove系の違いが覚えられない）、そのあとはブラブラショッピングを見て回った。藤井リナが宣伝やつてる「スローリスレスレのなんとかつてブランドに無性に心ひかれる。そろそろ痛いってあれは！ダチュラも気になる。セール価格になつたら一式買いたいな。若いうちに着られる服を着ておきたい！

夜はこの前激安飲みを体験してしまつたせいで三千円がやたら高くもつたいく感じた。おごるからカラオケ行こうと言われたけれどすっかり気分が冷めて、それに吐き気がしたので早々にお別れした。家に帰ると不審なにおい。ああいやだ。

九月二十五日。遊びに行くと嘘をついて大宮ココスでひたすらリバ。6ラウンドくらいしてそうめんもクロワッサンもカレーも焼き込みも唐揚げもハッシュポテト（しらふじや食べられないけど最高吐きやすい）も気が済むまで食べてミルク系ドリンク並々で吐きまくつた。なんて思われようと思ったことか。そのあとドコモの趣味の悪い銀色の携帯を衝動買いして、家に帰つてから近所のAUシヨップに行つて醜態をさらした。さあ反省しようか。

夜また白飯攻撃が酷くてキレたら收拾つかなくなつてひどいことになつた。そのあとビールの500と部屋に隠してたズブロッカを

御猪口でくいきい飲んで、死んだ。思い出したくないけど、とにかくもう耐えられない。荷物検査も夜間一階降りるの禁止も勝手に部屋空けるのも普通だ普通だつていうけど、それは「普通」じゃなくて「二人の好み」だつづーの。頭がパンクしそう。

九月二十六日。AED講習をすっかり忘れてスカートはいて行ってしまった。九時五時なのに上村がいつまでも帰らないから立場的に自分も帰れなくてイライラした。自分で仕事抱え込んでいて大変そうな顔するとかマジ迷惑。挙句変な病気発生させたらしい。脳にでも回ればいいのに。面白くない。全部がむかつく。はやく休みたい樂になりたいつらい思いをするのはもううんざり。こんなことここでしか言えない。

十月四日

九月二十七日。火曜日。

九月二十八日。水曜日。長い。

九月二十九日。木曜日。本当にひどかつた。しんだほうがまし。

九月三十日。金曜日。つらい。日記が書けない。

十月一日。久々に六時に帰れた。

十月一日。大富のココスでまた過食祭り。すつごい嫌な客だ・・・。
そのあと加茂宮のドンキでお菓子とお酒を大量買い。

十月三日。やる気出ない。ミスも連発して。セロテープカッターハサミでまた阿部がこっちを間抜けに見せる裏技炸裂させて超絶にうざかった。いらないうそそれだけ言えば済む話だろ。もう今後一切あいつにかかることは言われたことしかやらないことに決めた。あたしがなにかをきにかけたって無駄だつて分かつてたつもりなのにまたやつてしまつた。自分にも他人にも一切期待しちゃダメつていい加減まだわからないかな。

九時過ぎまで仕事していたら守衛のなんとかさんが全員にあつたかいカフェオレとミルクティーを差し入れてくれた。職員室の給湯室にココアが入った。

十月五日

家の最寄り駅に斎藤美咲がいた。あからさまに嫌そうな顔をして避けてしまった。「こめんあんたレベルのバスはちょっとむり。

JICAでは昼食時にちよいちよい失言があつたくらいで特になにも問題は起こらなかつた気がする。しかしなんで私が口をはさむと微妙な空気が流れるんだろう。黙つても気まずいし。上村がなにかんがえてるかわけわからな過ぎていらいらする。

帰り恵比寿であんまり乗り気じゃないにもかかわらず予約がもつたいないとテラスでケーキを食べまくり吐きまくってきた。もつたいないし甘いしあんまりおいしくなかつた。適量を適度に食べられるようになりたい。むしゃくしゃして夜アルコールもずいぶん飲んでしまつた。ああやだ。

十月八日

十月六日。木曜日。禪寺で座禅&食事指導。新宿乗り換えをなぜか渋谷と思っていて遅れる。恥ずかしすぎる。座禅は股関節が痛くて死ぬかと思った。坊主の説法も全然面白くない。言っていること全部配られたプリントに書いてあるから、それ読むから、いいから黙れ糞坊主、と何度も叫びそうになつたかわからない。船を漕がなかつた自分を全身全靈でほめてやりたい。食事指導として出されたおかゆも塩気が足りなくて不味い。拳句、食べ終わつたスプーンを自分でなめてきれいにするという。全然きれいじゃありませんから残念——。ねぶり箸は日本ではかなり高度なマナー違反でござりまするのよ。時代錯誤なことさせるな。極めつけは食べ終わった容器の中にたくあん（これも塩が足りない）を入れお湯を注いでなま塩辛い生ぬるいするするした液体を飲まれたことだ。なんつう汚らしくて気持ちの悪い文化だろう。うつづ。

新宿で待ち合わせしてカラオケを行つた。散々迷つてシダックスに行つたら汚い部屋に案内されたので私が軽くキレて（内心で。表面上は穏やかに立ち去つた）結局機種はしょぼいけれど南口の歌ひろに行つた。部屋はこっちのほうが絶対いい。価格は半分以下だし。大宮の「わん」にまた行つて酒を飲んだけれど、その前にもひと悶着あつた。サブウェイかバーインで腹ごしらえしてから行こうと思つたらどの店に行つても食べたいものが全然わからなくなつてしまつた。相手は気にしないふりをしていたけれど内心どう思つていただろう。その前に電車で食べ物と罪悪感の話とかしてしまつたし。この人は私の異常性をどれだけわかっているのか。たまに心配になる。これがもし全部わかつた上で許容ならすごく心の広い尊敬すべきひとだと思うけれど、絶対分かつてない。何一つわかつてない。絶対童貞だし、若干仲間内でも馬鹿にされてそうなオーラを感じる。絶対童貞だし、若干仲間内でも馬鹿にされてそうなオーラを感じる。汚いものとか避けて歩かなきゃいけないものが

分かつてないしすゞく心配。いつか見限られそうな気がする。私がこうやってちよっぴり下に見ている相手から拒絕されたら、私は癡狂するかもしない。「わん」では心いくまで飲みまくつた。一人ワンオーダー制のはずが注文を忘れられたのでやつぱりかなり安く上がつた。サンザシ酒最高。ウイスキーはやっぱあんまり好きくない。しかし酔つた。風呂場で戻して翌日こつぴどくおこられるはめになる。たしかに朝起きてからも自分の手と口どぶ臭かつたもんな。吐いた時においが結構違うのでたまに驚く。あの土臭いような泥臭いようなのは一体なんなんだろう。普段は完全に胃液臭なのに。

十月七日。金曜日。朝むしゃくしゃしておとといバイキングから盗んできたパンを食べて、ポッキーも食べ、カフェオレ飲んで吐いた。朝一にぱくついた味付けのりがいつぱい出てきた。気持ち悪い。今日のげろもどぶ味。ケーキ類のいいところは吐くとき気持ち悪くないことだ。ばかみたいに忙しい日だ。一限、二限が卒研で三限は国内のお守に行かなきゃだし、四限は一年生。昼は国内の子たちのSHRで五限一息ついたら六限三年生。音楽室掃除でそのあと自習課題とか週明けからの用意をしなきゃいけない。胃が捩じ切れそうだ。結局英会話の予習とかなんにもしてない。どうしよう。五十木先生はちょっとぴり英会話できるらしいし変だったらばれる。英語教師つて肩書き負つて外人と会話とかなんの罰ゲームですか。あたしがこんな底辺校にいることから察しろよ。ミリュカ語学力零なんだよ！こないだの面接だつて・・・泡泡。

帰れたのが結局八時近く。ヤオコーで明治のパルムもどき買って食べて、カツオもひとさく買って部屋で塩ふつて隠れ食いして、ビルのでつかいのを飲んだ。夕食にカレーも食べた。吐かないで寝た。いいんだ週末だし。明日のチョコパフェ楽しみ。

十月八日。マロンパフェを頼んでしまって後悔してたらやつぱり

後悔した。あそこはチョコレートを食べなきゃやつぱり。どこにでもありそうな味で感動なし。栗あんなんて大体想像つくもんね。逆に安いのでもそこそこおいしい。理絵ちゃんは相変わらず可愛くて刺激のない女の子だ。ちょっと退屈だけじゅわかな気持ちになれる。あたしと一緒にいて楽しいのか非常に不安。ついあたしはおとなしい子相手だと自分のことばかり話してしまう。いろいろ秋服とか見て回って、ドトールでお茶した。あたしはまたケーキを食べて驚かれたけどあんなちっちゃいパフェ、カロリーは足りても歩きまわるとおなか減る。今度から混んでもいいからパフェはおやつの時間にしよう。すくしゃくしょっぱいものが食べたい。しょっぱいものモードでなぜかケーキでおなかをくちくしてしまった、正体不明のわさわさが沸いてきてせっかくあつた理絵ちゃんを帰させてしまった。献血ルームでお菓子とドーナツをばくばく食べて、そのあと閉まりかけのデパートに駆け込んでサンプル乞食をしてきた。乞食も大変だ。太もものうらにびっしり汗をかいた。お金は使わなくても人として大事なものをなくす気がする。こういうことを臆面もなくやれる人つていいか悪いか別として大物だわ。きれいな人からただでものを貰うの罪悪感。

でもファンデは単価も高いし使い切るのに時間がかかるし後悔したくないから仕方ない。マットさつぱりとシャレっとりといくつか貰ってきた。これから試すの楽しみシユウエムラのクレンジングも楽しみ。三連休終わってほしくない。あああ。

十月九日

清水公園に行つた。朝、なぜだかめちゃめちゃ早く家を追い出されて七時の約束の三十分前に羽貫駅に着く。ミニストで時間をつぶして戻るも来ない。いつまでたつても来ない。いい加減肌寒いし今度はローソンに行って漫画を一冊読んでも来ない。寝坊してた。今田は全部おごるというのでありがたくブリトニーと駐車場代と入園料と一千円の焼肉食べ放題とドリンクバーをおごつてもらつた。

アスレチック自体は懐かしくて楽しかつたけれどとにかく子供が多くてどれも待つの待たないのといった感じ。ハチの巣は一時間近くかかりそうだったので一人とも嫌になつて辞めた。子供みんな死ねよ。

水上コースで水につかつた。水に浮いた足場を跳んでいくもので、絶対いけると思つたら足を滑らせて膝を強打して（今赤黒い）あれと思つたら足場が斜めつてずぶずぶずぶと足場に肘をついて腰まで潰かつてしまつた。自分はもう少し動けると思つていたのでショック。始める前は着替えを用意する彼を用意よすぎと笑つたりしていたのにそれを借りる羽目になつた。なんとも間抜けなファッショնになる。スニーカーって時点でどんびきだつてのにマジ勘弁。

お昼は伸びに伸びて三時くらい。坂東太郎か彼お勧めの焼肉キングと二者択一にしたら、倍の値段するのに焼き肉をチヨイス。そんなにうどんが嫌いなのか困つた。こつちはコメよりパンよりうどんだつていうのに。普段2500のところ日曜祝日限定のランチがつて2000で済んだ。噛み切れないものが多かつたけれど野菜をたくさん食べられたしおなかがすいていたのでおいしかつた。前半飲むように食べてしまった。彼が白米を大盛り一杯食べているのには引いたけど。

そのあとダーツに連れて行かれるが自動ドアをぐぐろうとしたところ矢作を見つけて逃げ帰つた。ばれた気がするいやだなあ。確か

にあの辺やつらのホームだ忘れてた。いやだいやだ。あーー
ついでとばかりに業務スーパーでアーモンドお買い上げ。今日は
母いないから持ちこめるはず。

マックスで雑談して帰ってきた。なかなか帰させてくれなくて困つ
た。帰りにマルエツで明治チョコレートのアイスを買って食べて、
朝の残りのチヨコぱん、シーフードヌードル。昨日理絵ちゃんから
もらつたチューリップケーキなるフィナンシェみたいなものとを食
べて吐いた。体重は53.2だつた。五十キロきりたい。とにかく
細く細くなつてみんなに心配されるようになりたい。こんなでつか
かつたらどんなにかわいそうでもかわいそうに見えない。詐欺だわ。
明後日が死ぬほど憂鬱。明日も出かけなきゃ出し。あーあー。頼む
から休ませてくれよ。金が続かない。

十月十五日

十月十一日。ランゲッジ・ヴィレッジ一日目。行きのバスで相棒（五十木先生チヨイス）の劇場版？を見た。いろいろ衝撃。黒人の女性A-L-T-I-E-Sアンがとてもいい先生。ジェフはクールすぎてだめだ。うちの生徒は全然喋れなくて日本語を連発するので他の客が非常に迷惑そうにしていた。でも引率者もみんな日本語しかかたくないに話そうとしないししょうがない。麻野松本が意外と他女子をフォローしてくれる。特に松本は頭の回転も速いしなんで不登校なんだらう。

夕飯のハンバーグは冷めてて不味いし量も少なくて、拳句に生徒がみんなA-L-Tから逃げるせいと私が喋らなきやで時間もなくておなかがすいて仕方がなかつた。夜ビールを三本ごちそうになつてほんとにはりがたかつた。おかげでカマキリの死体がある部屋でも爆睡できた。朝八時起床つて普段より楽だわ。なんといつても同室のいない気樂さ。生理始まつたけどパンツ半分おろしたままナップキンとりにもいけるし。一人最高。

十月十二日。午前の三時間の授業で萩原斎藤宮川が完全にダウン。萩原斎藤はどうみても英語いやさの仮病。いろいろするがどうにもならん。特に斎藤美咲は正直ほんとになんであんなにいろいろするんだ。不細工でデブつて時点で生きてる意味ないけど、そのうえ頭が悪くて根性無しでぼそぼそしゃべるときた。これがもう少し変な方向にハイスペックになると泉になるわけか。頼むから死ねよつて気分になる。部屋にあがりこもつとされて鳥肌が立つた。他人と距離測れないから苦手とか言われるんだぜ、わかる？わかんねーだろうな。萩原も萩原で恋愛観が気持ち悪い。でふふ、とか笑うし不気味。麻野松本のえぐい下話のほうがなんばかましだ。宮川は「ごくごくありがちな遅咲き中一病なだけでなんともない。はやく復帰しながらばれ。私は陰ながら応援するよ。

午後はサファリに行つた。やることなくて本当に楽。夕飯のカレーは脂っぽくて、まずかった。ビールと、今日はカツプめんもいた。だいて自室に帰つてから盛大に吐いた。明日やつと帰れる。

十月十三日。日常に帰るのが惜しい気がする。普段よりらくだもん。食事と風呂と衛生の問題さえなければゆつたりのんびり。やることあんまないし。競争相手もいなくて気楽。

最後の最後に英語一分間スピーチで地獄を見たけど結構早くもどつてこられた。びんとろとアボカドの夕飯があいしくてカロリーとつたのに吐かないで満ち足りた気分で寝床についた。

十月十四日。金曜日。もうね。もう。死ぬかと。なんにもいいたくない。過食衝動ひどいし、生徒はモンスター度増してるし、気分悪いし髪は跳ねるし明日は学校説明会。長い長い長い。母に当たり散らした。さつまいもの風味のふんわり食パンを買ってきて。マーガリンも買つてきて、過食嘔吐した。気分は最悪。一日連續歯を磨かないで寝た。

十月十五日。朝から大雨。タイツも靴もぐしょぐしょになつた。英語演習はもうとりかえしがつかない。英語?は模擬テストをやつたら静かで気分がよかつたけど、出来栄えがさんざん。頭痛い。福音先生が旅行中に誕生日を迎えたらしい。くまのペンケースのお土産も貰つちゃつたし、いつかどこかで返さないと。プレッシャー感じる。

説明会が始まる前どこで何をしていいのか分からずいろいろいらしたがなんとか乗り切つて、今。メルシャンのロゼを飲んで気分悪くなつてくらくらしながら日記を書いてる。考えたことたくさんあつたのにいざかこうとすると忘れてしまつ。すぐれた文学者つて文章力以上に記憶力がすごいんだらう。

あたしはなんだこんなに覚えるそばから忘れていつてしまうのか

十月十九日

十月十六日。日曜日。食べたくないのになんだかなぜか大宮のココスで過食嘔吐三昧。焼きたてのあつあつふわふわクロワッサンがやばいおいしくていつまでも食べていきたい。食べるのってオナニーだと思つ。

帰家に帰つたら（部活つてふりしてた）母と妹がみつちゃんとかおばあちゃんのことでけんかしていて、私はその間を縫つて発泡酒と昨日の残りの不味いワインをカロリ丘峰で割つて飲んでた。宏美がいなくなつてからも飲み続けた。アルコールが入つた私は無敵なので母とわだかまりなく話して、そのうち二人も普通になつた。ずっとこうしていられたら平和でしあわせなのにな。

十月十七日。いやだいやだ月曜。おなかがすいてすいて仕方がない。少し異常。この日は一度もパソコンを触らなかつた。帰るころ携帯を見ると異常にくらい着信とメール。すべて母から。ぞつと嫌な予感がして電話をかけると伊奈のおばあちゃんが倒れたとのこと今から手術で終わるのは十一時過ぎる。宏美と連絡をとつてといわれた。まさか、と一瞬思つた。みつちゃんならよかつたのにと少し思つた。今お父さんはすぐ疲れているからそういう意味でもおばあちゃんになにかあつたら嫌だと物凄く思つた。お爺ちゃんとおばあちゃんと赤い服を着た赤ちゃんの私が古い方の家の門のところにいる写真を思い出していた。お爺ちゃんには事態がはつきりわかっているのかな。

こんなときなのに、アイスで過食嘔吐してしまつた。そのあとアーモンドを買つて帰つて自室に隠した。これがないと生きていけない。

結局腸が腐つていたもののそれを切つておなかを閉じて事態は完結したらしい。よかつた。無事とわかつたら、なんかそれダイエットになりそうとか思つていてる不謹慎な自分もいた。

十月十八日。朝リスニングの時間を勘違いする。五分早く始めて五分早く切り上げてしまっていた。授業も本当にぐだぐだ。あいつら全員ぐびりころしてやりたい。鈴木さやかはひとりで勝手に死ね。触りたくない。この日もやつぱりおなかがすいておなかがすいて、おやつをのべつまくなし口に運んでいた。ストレスもあるけど、過食で胃が大きくなってるんだと思う。我慢していれば収まるのに我慢できない。嫌いな飴玉まで食べてしまてる。太らないからだがほしい。海外の反省会になぜか参加させられて意味のないぐだぐだした時間を過ごした。正直死ぬほどでもいい。あたし契約だし。本採用にしてくれるなら頑張るけど、本当早く教えてくれないかな。生殺しだよ。いろいろしたまま明日の全校リスニングの準備も終わらないし、結局最後までいて、福居先生に送つてもらつてしまつた。しかし本当にあたしは会話ができる人だな。なんかもうひとりだけ違う言葉ではなしてるみたい。みんなが知つてるルールをあたしひとりだけ知らないみたい。つかれた。まだ火曜日だなんて。

十月十九日。授業を頑張つたら死ぬほど疲れた。反応がなかつたらつて思うフレッシャー。生徒のころは一度も感じなかつた。あたしの話を聞いてくれなくなつたらどうしようつて死ぬほど怖い。子供が怪物みたいに見える。じゃなきや知的障害者とかみたい。こわくてこわくて仕方がない。定時になるのを待つて電光石火で帰つた。三年の先生方とか忙しそうだけど気にするもんか。あたしの仕事はないし、明日明後日で死にそう。十一月を乗り切れる気がしない。休みなさすぎしんどすぎ、もう授業やりたくない。声出すの疲れたよ。稼いだわずかな金はトイレに全部流れちゃうし、でもそれがないと精神の安定が保てないし。カウンセリングに費やすよりましなのかな。いまの時間を貯金しといて、思いつきり壊れて、気が済んでから今の家に戻りたい。破壊衝動が物凄くていつ何をしてしまうか予想がつかない。怖い

十月二十一日

十月二十日。英語?の時間にあこせつがあんまりにもなつてないのでなんかいかやり直しさせたら矢作がキレた自分はちゃんとやつてたのにふざけんなというのだがこっちがふざけなんだ。おまえのいつもの態度をかんがみたら百回のうちたとえ一回一回まともにやつてる日があつたとしたつてノーカンだんなもん。死ねよ。今考へてもイライラしてくる。おまえがどうとか関係ないから。みんな押し並べて肩なんだからせめて始業の挨拶くらいまともにやれよ。馬鹿は繰り返すしか覚えるすべがないんだから何回でも単純動作繰り返してろよ。ほんっと頭足りないだけじゃなくてめんどうくせえ。

あんまりきんきん叫ぶから耳ふさいだらもう大喜びであおつてくるしどつかおかしいんじやねえの。男のくせに情緒不安定とかまじきもない。なんか雑種の犬みたいな顔面してるくせに勘違いしてるんじゃないか。あとおまえ気づいてるのかわかんないけど、男でその身長はやっぱいよ。中村みなみはあれでいいらしいけど五頭身だし、子供が不憫だから今のうちに劣等遺伝子残さないよう去勢しとけばいいよね。風呂場で転んで金玉つぶれる。あーうぜえ。

部活もあつてうんざり。つぶれちゃえばいいのにな。球技の一切命財大つきらいだつてはやく公言したい。あーあーあーあーあーあーあーあー

また電気つけっぱなしで寝オチしたし。

十月二十一日。帰りにカラオケ行つてオールしようとしたのに帰れなくて帰つてきてそれでもむずむずして十時くらいに出かけようか迷いまくつたあげく家にいる。着られる、着ても変じやない服が山のようにある。イライラする。アーモンドの過食が止まらない。お米は怖くてしかたないのにナツツはいくらでも食べられる。おかしいよね。カラオケ行きたいのに休日は馬鹿みたいに高い。お金が出ていくばかりでもういやだ。服も靴も鞄もない。いろいろみつ

ともない。どうしたらいいのか分からない。
いやだ。カラオケ行ってお酒も飲みたい。
髪の毛も顔もおかしい。

十月二十三日

二十一日。土曜日。来週からのことを考えるといまから胃が痛いがとりあえず今日は休みだ。なにか実のあるものを買おうと新宿まで来たらなぜか吸い込まれるようにスイーツパラダイス新宿東口店に来てしまった。ハロウィン前ということでかぼちゃスイーツがたくさんのお店は広くて開放的過ぎずなかなかのいごこち。ピザが窯焼きなのとパスタが生めん使用なのがポイント高い。生クリームを頼んだら特例だともつたいてびりつつ大量に持つてきてくれた。（あとで見渡したら結構クリーム注文客いたけど。シフォンとかたりなど）かぼちゃのバケツプリンがとてもおいしい。あと普段食わず嫌いしてたバナナブディングも表面のかりかりがおいしい。ハヤシライスもあつたし、どうせ吐くんだからこのくらいで十分と思っていたが、ここは時間制限があるので。そこがかなりのネック。しかも70分で。短すぎ。最後は店員に睨まれている気がして食べた気がしなかつた。もつとケーキ食べたかったのにがっかりしながら退店して服を見て回った。どこもかわいいと思うと平気で一万二万跳ぶ。セールにならなきやもつたいて買えない。食べ物ならぽいつと出せるのに不思議だ。新宿の信濃屋でイエーガーマイスターが1480円だったので喜び勇んで買つたらすごく重くて一日つらかつた。

出会いカフュの会員証を処分してしまったのが悔やまる。ちょっとくらい臨時収入になるかもしないし、飲み物が飲めて座れるのに。大学生より今のほうが必須だ。あたしつてホント馬鹿。三時くらいになるとどこもかしこも人であふれてどこにも座れなくなる。どこのスタバに行つても入れなくて最後には半切れになつた。

五時ごろ池袋に行つて、サンシャインのイングでリュックと赤いリボンを買った。帰りマツキヨで化粧水を衝動買いした。帰りビールとカロリを飲んで電車も座れてラッキーと思っていたら大宮で降

りるとき荷物を落としてイエーガーマイスターを落として割つてしまつた。何が起きたのかよくわからなかつた。そんなに高い位置から落としたわけでもないし、ちょっと耐久性に問題あると思う。それにしても一瞬の油断で1500円がパーだ。しかも思いの半日我慢して持つていたのに。悔しくて今でもちよつと泣きそつ。まあ買つたばかりの鞄とか

二十三日。一度寝したら10時半だつた。なんか損した気分。朝うこつけいの卵のご飯を食べただけどあんまりおいしいとも思わなかつた。甲州地鶏のほうがいい。やっぱり濃い色の黄身の卵が好き。アーモンド過食しすぎて気持ち悪くなつてきたが、素知らぬ顔でおばあちゃんのお見舞いに家族四人で行つた。お母さんに赤いリボンが似合つていらないといわれて、自分でもそんな気がして、なんでもう一つのかつちりしたほうにしなかつたんだろうつて自己嫌悪。そうでなくともイングあの店で買わなくともよかつたのに。あーだから買い物つて嫌い。誰かに似合う服コーディネートしてほしい。自分では何がいいんだか本当にさっぱりわからない。かわいい！と思つても自分には似合わないし。スタイルは悪くないのに頭と顔がでかいせいで何もかも台無し。最悪だ。

お見舞いでは宏美のコミニケーション能力の高さを目の当たりにしてショックを受けた。あれでオンオフ入れ返して嫌いなやつにはあんまりなくらい酷い態度をとるんだからますます恐れ入る。シヤンブルでも一人だけちゃんとヘアピン買ってもらつてるし。今家族で一番自由に使える金多いのお前なんだから自重しろよ。本当にむかつく。それにしても病院つていやだ。いることでかえつて病気になりそう。おばあちゃんに対してなんて言つていいか、どこまで話していいのか分からぬ自分もいや。空氣が読めない。どうすれば嫌われないかとしか考えてなくて、それつてつまり相手じゃなく自分のことしか考えてないつてことで、だから嫌われるのに、どうしてこんなにどうしようもないんだろう。自己分析はできるけど分かれば分かるほど問題のどうしようもなさだけが浮き彫りにな

つてどうにもこうにも身動きが取れない。解決できないってことだけが痛いほど分かつて、そのほかはどうにもならない。

夕飯はとんでもんに行つてお楽しみ膳を食べた。すごくおいしかったしたのしかつたのに吐くことしか考えてなくて、帰つてから電光石火で飛び出して、携帯の払い込みのついでにチョコもなかと雪見だいふくファミリーパックを平らげて吐いた。ピーナツクリームは買つたはいいが持ち込めなくて自転車かごの中。家帰つたら母入浴中だつたし持つてくればよかつた。くそ。今吐き終わつてまたアーモンド過食中。来年の夏。レオパレスでは食費がいくらかかるかなか楽しみ。食べたくない白飯とか食パンとか焼きそばとか食べないでいたら案外かからないんじやないかとも思うけど、そんなこともないんだろうな。お弁当がないつてだけでかなり痛手だし。それについても明日からいやだわ。

月曜日。ほんとによく働いた。英語演習のテストは刷り終わったし、英語? も仕上がった。多分。

今朝長谷川先生に考查袋をくれと言われて自分がどこにしまったのか覚えていないことに気がついた。何分間かパニックになつて探し、机と机の間（横じやなくて上村先生との間）にあつたのを発見した。餌を埋めたのを忘れるクマとかリストとかの類じやあるまいし。しかしこの頭ののつそり具合はクマのほうか。今日はほかにもボカが続いた。英語?、中村みなみの自習課題が見つからない。別にした覚えはないし全員分配つたのに。昼休み、事務から上村先生への電話を保留押したつもりで思いつきり切つてた。放課後考查袋を新井先生から受け取ろうとしたら先生も考查袋の置き場所が分からなくなつていたらしい。先生が渡す袋渡す袋ちょっとずつ惜しい。なかなか目的の英語演習がでこなくて、愛想笑いしているうちに妙なスイッチが入つてしまつたらしい。涙で前が見えなくなるまで笑つてしまつた。笑いのつぼが低すぎる。あほかと思われるだろ? ああもう。

片付けの当番が回つてきたのだけれど、阿部先生が福居先生をふくちゃんなど呼んで私をキノウチ先生なのでなんか他人行儀じゃないですかなんてこれまたあほなことを口走つたせいで一瞬妙な空気が流れた。そりや他人でござりますからね。ほんとごめんなさい。考えもしないことが飛び出す悪い口なんです。体のどこが悪いって一番は頭で一番目は口です。ほんとにすいません。でも一個のゴミ袋をなぜか一人してゴミ捨て場まで持つていったのはちょっとびり面白かった。阿部先生は富川を捨ててしまいたいらしい。まあたしかに面倒くさいけどさ。あたしはもう少し話してみたかったな。まともになれる子だと思うよ。

ネットサーフィン時間でヒヤツホーと思っていた卒研の時間に模

試対策をさせられそうな悪寒。一之瀬先生ひつやう三年山女性陣に若干うざがられてるらしいけどその理由がちょっと分かつた。彼は元優良校の先生だったのだ。多分その学校での流儀をここに持つてきちゃつているんだろう。五十木先生と同じような匂いがする。はきだめの中にはなぜかまともな人ほどよくない扱いうけるらしいから。そういうことなのかな。

久々になんにも買い食いしなくて済んだ。まあ今買いだめのアーモンドむさぼつていてるから同じようなことなんだろうが。ああそれにしてお金がほしい。パパとかほしい。

蛭田のKGカード作れ圧力が怖い。いやそれ事務の仕事だよね？暇な時なら部活やるよしまじだけど今テスト期間だよ何考えてるの。今日はやたらと長い日だった。テストが確認しても確認してもノースが見つかって最後には面倒くさくて刷っちゃった。というか英語演習日付入れ忘れてる空欄のままでもうどうにもならね。

それ以上にやばかったのがテスト時間割。監督者と実施教室にミスありまくり。なんで？ サーバにあつたのそのまんまなのに。わけわけめ。阿部先生は結局サーバにはあげてくれないから私は報告するだけ、結局あのひとがやつた。それともどうすればよかつたのか？ 長谷川先生が明日も朝リスニングやるとか言つからその準備も面倒くさかったし。八時過ぎるとおなかが減つておなかが減つて完全にグロッキーになつてしまつた。福居先生が声かけてくれなかつたら考查係の私は帰るタイミングをなくしていつまでも帰れないところだつた。ギルバーントのお礼もあるし今日アルフォートもらつちゃつたしどこかでなにかお返ししたいけどどうしよう。タオルとかハンカチとか？ はやりのお菓子とか？ 入づきあい経験少ないと何が何だかわからない。土産物が簡単だけどあいにく私はそう簡単に休みをとれない身分にあるし。

伊奈のおばあちゃんは順調に回復しているらしい。母は土曜日は坂戸、それ以外は自治医大に通う毎日で疲れきつているらしい。病院は確かにいやだ。

りつちゃんからはあれから一切連絡がない。話したくないなら勝手にすればいいだろう。しかしいらつくなつだな。

十月二十八日

一十六日。水曜日。中間テスト前日。もつ全部自習。あいつらのことなんか知るもんか。勝手に赤点でもなんでもそれよ。リーディングのクラスの子が江川先生にリー・ディング聞いてるの見てちょっといりうときた。

帰りが遅くなるだらうとあきらめてたら阿部先生、福居先生が帰るとき誘ってくれた。帰りの車でまた自転車で来ればいいのに攻撃を受けたけれどもう流そう。絶対自転車とかいやだから。勘弁してください。アーモンドを過食した以外あんまりこの日のことは覚えていない。一週間が本当に長い。

一十七日。木曜日がつぶれるととも心穏やか。12日の体験入学の授業をしなくてもいいよと言われたのがちょっと怖い。でも住先生も省かれたらしいし本部の方針ってことにしておこう。上村の手足口病のせいでまたまたいつまでも登用試験結果が分からぬ。いろいろする。過食が止まらない。

一十七日。木曜。この日は自分のテストが一科目もなくて、三時間続けて監督。最後のほう頭がおかしくなりそうだった。内職禁止、座るの禁止で生徒より教員のほうが苦痛大きいんですけど。きちがいか? わけわからぬえ。ばつかなんじやねーの。ちょっとカシーングしたぐらいでなんにも変らぬえよ。どうせテストの結果がどうあろうがみんな三年後には嘘八百を並べ立てた推薦書をおでこに張り付けて馬鹿田大学に進学召されるんだろ。糞袋みたいな野郎共のためにあたしが脚をむくませなきやならないとかまじわけわからん。隙を見て蛭田にKGカードはつくれないと言い逃げしてきた。のに、今田うつかりやつより早く上がってしまった。忙しいからとか言い訳過ぎアギヤー。ちなみに今日は私以外の二年女性陣がなんかやたらと盛り上がってた。なんか変なこと考えてしまう。あの組み合わせじゅ百合つてかレズつてかんじだけど。赤城の家族風呂のト

ラウマがよみがえる。親だつて彼氏だつてだめだつたというのにそう親しくもない同性のたるんだ裸とか絶対かかわりあいになりたくないでござる。ああもうあたし疲れてる。

ヤオコーでイチゴロールケーキが半額になつているのを見て食べたくなつて、そうしたら必然的に吐かなきやいけなくなるから雪見パックとビーノバターしようゆ味と麦とホップ黒と一緒に過食して吐いた。おいしかった夕飯の肉じゃがも出ちゃつて氣がして自己嫌悪。鼻の下のニキビ破つちゃつたし。肌がぼろぼろで死にたい。夜中の一時までハルヒのSSを読んでしまつた。これのせいで就活こけたつてのに。くそやつぱり長古最高。キヨンは死ね。もしくはハルヒと幸せになれ。長門とかみくるは違うから。恋愛感情じやないと思ひ。

一十八日。またまた主任と一緒に中学校訪問。また自転車通勤推奨される。だーかーらー。主任に至つては原付き勧められる始末。だーかーらー。免許取る時間どこにあるの、バイク買うお金、維持するお金どこにあるの、ガソリン? 軽油? 買うお金どこにあるの。特に維持費!! 今の給料でそんなこと言われても無理です! 過食が完全に治つたつて赤字だよ。

そんなにおなかすいてなかつたのにクリスティーヌ開いてるの見たら食べたくなつてクレープ食べてしまつた。ウニクスで食べた。子蠅がとんでいて嫌だつた。家の、自分の部屋で誰にも見られないでこつそり食べたい。一人でないとものを食べた気がしない。それに最近ほんとうに蠅が多くていやだ。学校は蠅だらけ。給湯室のどこかに蛆がわいているんじやなかろうか。ダリオ・アルジェントを連れてくるべき。まあそのあとまた雪見追加して吐いた。家でだから結構時間たちやつて吸収されてる気がしたけどまあいかと思つた。明日はしないで済むといいな。

夕飯は栗ごはんとかぶの味噌汁で豆腐でザ サイでブロッコリーだつた。おばあちゃんが長引きそつてことだつた。食後にお父さ

んが入れてくれたコーヒーがおいしかった。あさみちゃんの男の趣味が悪い話で盛り上がった。三次元で「私」敬語男はいやだな。というか親に紹介したくないっていうのは明らかにおかしいだろ。セフレにされてんじゃないの。男から見たら5歳も年上の女とかおばさんだよ。あんなにかわいいのにあさみちゃん趣味悪い。あとゆみちゃんちよっとわがまま過ぎて引いた。おばちゃんに掃除洗濯旦那の食事上の子供の世話買い物させて自分はおっぱいだけあげたいとかなんなんだ。子供産んでるのに子供みたいだし、デリケートってか強迫観念症じゃないの。すぐ意外だ。でも変な人がいると自分が絶対的にまともになれる気がしてちょっと落ち着く。

・・・親戚だから落ち着いてる場合じゃないんだけどね。火の粉ははじつにも飛ぶ

あしねしねしねしねしねしねしねむかたるく e.ju at e w.ju 9
k.jn l o o k o
o o o o o o o o o o v c v g n b . j / . k i m ¥ ; m

十月二十九日（後書き）

a1_z]_o@p3qa 1¥·1gea1z

十月三十一日。テスト返しあかりの日。樂っちゃ樂だけぢやつらの勉強しない癖に点数にこだわるのがいらっしゃ。

テストの点数と評定をいれた表がみつからなくなつてパニックを起こした。ひさびさに号泣。このことが大きすぎて何があつた日なんかいまいち覚えていない。一時過ぎまで眠れなかつた割に翌日スパッと目が覚めた。

十一月一日。音読中心の授業に移行したいけど英語？のノリが悪すぎる。挫折したい。つらい。件の表は探したら考查袋の中で未使用のテストどうじゅうちやになつていた。ほつとした。

阿部に2Gの英語を授業外に面倒見ろつて遠まわしに圧力掛けられた。生徒だつて特選特進でペーぺーの教員充てられたらいぢづくだろうに、こつちだつてひまじやないつづーのに勘弁してくれ。あのクラス阿部の増殖したようなばかりで怖い。リア充臭がする。陰で笑われてるよつな。はした金でこんな苦労したくない。一之瀬には模試対策しろとか無茶振り。無理だから。授業時間数から考えて無理だから。おまえらみたいに土日休めるならウイークディに頑張つたつていいけど無理だから。そんなむちやくちやなのに帰り際明日の朝リスニングの用意してないことに気がついてしまつて大後悔。言わなきやよかつた。あれ誰も聞いてなくてテスト前なんか無理やりやらされたけどだれも聞いてなくてテスト勉強されてたつていう。あれ準備に三十分はかかるんですけど。ほんと長谷川勘弁してよ。現実見ろつてあいつら英語なんか興味ないし一生縁のない生活送るから心配しなくていいつて。ほんとうに来ちゃうような生徒にいつたい何もとめてるのどいつもこいつも。身の丈に合わない学校に放り込んだら放り込まれたほうは迷惑千万だつて。なんでもんな面接とか書類とか面倒見まくつてんだろ。ボーナスに関係あつたりするの？下らん人間は下らん末路をたどればいいよ。本気で

あいつら助ける意味がわからない。あたしより糞な人間があんなにいるなんて今まで知らなかつたよ。あー

十一月一日。リスニングの問題を4級から、CDと模範解答を3級から持つてきてしまった。あとからわらわらねちねちいろんな人から言われた。ろくに聞きもしないで、水曜日教室に入るとリスニングの問題用紙ごろごろ転がってるくせに（紙にごろごろは変か）ふざけんなつて思いつつ全員に訂正版をお配りした。みちやいない癖に。止めればいいんだこんなこと。まるで無駄。しかし私はとにかく開いて表紙も見ずにプリントしちゃうとかうかつすぎるよ。

授業は相変わらずジャングル。今や1Cで一番の問題児となつた矢作の馬鹿が猿か原住民といった具合の雄たけびを上げまくついて。しかし、まあなにがそんなに彼のテンションを上げるのか。鈴木さやかもすぐむくれるし扱いづらい。バスのくせにいつたい何を勘違いしてんんだか。香取も気分屋だし、西村高木黒須あたりは本当ににひとつこちらの話を聞いていない。後藤の頭も空っぽ。前田はなんだか不気味だし、関根と寺田はいつ見ても寝てるし。あれあたしづいぶんよく見てるもんだな。四月五月は名前と顔もろくに一致しなかつたのに。

放課後石部第2学年主任と長谷川教務主任の主任コンビと面接？のようなものがあつた。つくづく私って喋れないどあほだ。中身が実はアルコールでゆだつてるのかもしれない。ノーコメント。つくほどいつまでもほこりが出る全身です。

佐藤先生の誕生祝いをしようといわれていたため&一之瀬先生に模試対策を投げられたためいつまでたつても帰れない。9時近くなつて、やつぱり帰つていいのかしらと思つたらタイミング悪く福居先生が気づいて爆弾ハンバーグに行く羽目になつてしまつた。せめて「コスならよかつたのにがつたり肉メニューしかなくて苦痛だつた。いつまでも喋つていて吐きにもいけないし。ここ1ヶ月くらいでせつかく減つた体重が2キロ増えて55キロに逆戻りし

てしまった。顔が丸いと思つたらやつぱりって嫌な気分が止まらない。

十一月三日。部活。サボるうと思つたのにバカ正直にきてしまった。昨日福居先生にあたしみたいな立場なら部活は鈴木先生にお任せしちゃえればいいのにつていわれたけど、任せてもいいのかな。あの人人が何を考えているのか分からない。少なくともあたしはバドミントン大つきらいということだけははつきりしている。

帰りバンバンに行つてみようと思つたらフリータイムは埋まつてしまつていた。今度予約して来ますとその場は帰つた。家に帰る前ヤオコーでいろいろつめこみ、家でも詰め込み、吐いた。物足りなくて、ココスのバイキングに行けばよかつたつて後悔してる。あと今日ノリで小渕君に連絡しちゃつて日曜会えるつて言つちやつたけど今からだるくて仕方がない。お金もないし、銀座にあのひとと行つても面白くないな。でもここらで機嫌とつとかなきやな氣もするし…嫌いなわけじゃないけど会いたくない、一人になりたい。そのあと五日に行く店を決めて予約を取つた。ロツクアップか竹取御殿に行きたかったけれど土曜だから無理だつたし、俺の台所の超お得プランも3人だから無理だつた。なつちゃんはどうとうひろちゃんまで切つたらしい。そいえばりつちゃんからメールの返信がないもういいや。結局人つてだれも当てにならない。今のあたしは実質友達0だ。こういうこともあつて小渕君をないがしろにするのは怖い。でもどうしよう。でも。

十一月四日。忙しそぎて疲れた。模試対策が何していいのか本当に分からず、拳句着てなかつた生徒が問題ほしいとか言つてきて、一之瀬先生が勝手に申し出なかつた生徒にも配つて、足りないとかわけわからんことを言い出したりしなければまあまあ平穀な1日だった。いや、あのね、なんでくれといつていない生徒にまでわざわざ紙無駄にしてインク代かけて模試の過去問あげなきやいけないんですか。ていうか、対策して何が起こると思つてるんですか、なにがさせたいんですか。分かりません。

ああもう一つあった。昼休み赤点の再検査を学年でやるのか教科でやるのか分からず、またとりまとめをするべきなのかすべきでないのかも分からず、冷や汗だらだら流す数分間もあった。あたしの頭越しにいろんな人が会話ををしていてあたしはかかしかなにかになつた気分だった。やっぱりこの頭の中高野豆腐でもつまってるんじやなかろうか。始めとか時間割つてイメージからなぜか阿部先生に声かけちゃつたし。あたしこの人の前でみじめが格好さらすの好きなんだろうか。何回似たようなへま踏めば気が済むのか。あがががが音楽室掃除も放課後講習もあるしわけがわからない。中野先生にはっぴがほしいといわれて走り回つたり加藤さんの面接練習に付き合つたり再検査のテスト問題を打ち直したら印刷したりしているうちに8時になつて家に帰つた。

加藤さんは学生時代に会つていたら友達になれたのかな。と不思議な感情を抱かせる生徒さんだ。まあ多分そうはならなかつたけど。教師と生徒で、ついでにいまのこの距離だから上手くいっているんだ多分。険悪ではないと思つよ。ちょっと心配な出来栄えだったので頑張つてほしい。

カボチャのスープがおいしかつた。ギリシャが大変らしいけどいまいちわからない。久々にテレビを見ながら、私つて本当に社会の底辺でうごめいてるんだなといつ気がした。国とか、多額のお金とか、まるで縁のない話みたい。

十一月四日。

十一月五日。土曜日。今日学校説明会と勘違いしていた。そりや明日だよ。眼鏡紛失するし本当つあほか私は。今日はいつも以上に気分が乗らなくて、1Cの授業でリアルに「絞め殺すぞ」発言してしまった。気が緩みすぎ。週明けから気をつけなくちゃ。

後期中間考查？の時間割と三年生の後期期末考查の時間割を作らなければいけない。阿部先生がこの前より丁寧に教えてくれている気がする。何があつたんだろうガクブル。どうせ来年はいなんだしゃさしくしてあげるかつてことなんだらうか。

夜大宮でひろちゃんといすみと飲みなので部活なんかでていらんないぜ！ってことで三時じろ学校を出た。志久と大宮とで眼鏡の落とし物の有無を聞いてみたけれど見つからなかつた。ニュー・シャトルの車内かホーム以外で落としては絶対ないのになんでもみつからないんだ。

「誰かが拾つてしまつと見つからないんですね
「誰かが持つて行つちゃうつてことですか？」

「ええ・・・まあそういうことです」

最初からそう言えよ拾つてくれるのはちゃんと届けてくれるつてことだろ。あなたの行つたのは盗みつてケースだろ。いるのかそんなやつ。他人の眼鏡なんか拾つて何に使う氣なんだよ。頼むから返してくれ。あんたには価値のないものでもあたしには大事なものなんだよ。ふざけんな拾つたやつ死ね。

約束の時間までかなり時間があつたので服を見て回つたけれどいまいち琴線に触れるものがない。何をみてもこの質の割に高いとか思えない。コスメのほうが見ていて楽しかつた。でも服よりコスメより私はこの頭蓋骨を小さくしたい。本当に頭がでかすぎて死にたくなる。りっちゃんから結局いつまでたつても返信がない。結局あたしはあの子の暇つぶしの道具でしかなかつたらしい。あたしも

いつまでニキビ面なんだとか金を回す順番違うだろとか、それ恋愛つていうかやらせないから捨てられただけだよねとか酷いこと一杯思つてたからそれが表面に出てたのかも。ほんと大学4年とおしてなんにも残らなかつた。そもそも高校で友達作れなかつたのがもうすでに詰んでるわ。歩きまわっている間もしかしてドタキャンされるんじゃないかってずっとびくびくしてた。

カインドハウスは料理がしょぼくて微妙だった。やけになつて酒をがばがば飲んだ。甘いのばっかりで気持ち悪いしカロリーが心配。物足りなくて帰り150円セール中のマックポテトと120円に一つの間にか値上がりしたマックポークを詰めて家で吐いた。それから「一ラックを一粒。

ちゃんとてきてたかな。退屈とか下品とか思われていないといいな。

十一月六日

六日。日曜日。朝三時じろ猛烈な気持ち悪さで目を覚ましてトイレで異常に酸っぱい液をほんのちょっとだけ吐いて喉と歯がきしきになつた。下剤のせいだと思う。

今日はデートをすっぽかして一人近所のカラオケに。生徒いるんじゃねえのという不安とドリンクバーとトイレが遠いのと、ドリンクバーのコップが一つしか使えずしかも水か臭いという点を除けば日曜八時間八百円はかなり魅力だ。バイキングで終日吐きまくつているよりは健康的だし。

フリップサイドばっかり歌いまくつて録音もして楽しんできた。あ、行く前にはなまるのうどんをひさびさに食べておいしかった。帰つてから今日はどうだつたと聞かれてどもつてしまつた。探りを入れているわけではないだろうがこつちに後ろめたいことがあるとどうにも。といふか感づかれた氣もするし。つけ麺がおいしかつた。

あー仕事いやだ。

十一月七日

これを書いているのは八日朝。また電気をつけたまま寝オチしてしまった。いやだいやだ。下に降りるのがうざい。また鬼の首をとつたみたいに言われるんだから。

月曜日からえらく忙しかった。まだ時間割も組んでないし入力も終わってないのに帰っちゃった。でもそれでも八時過ぎた。明日というか今日に至っては明日の誰も聞いてないリスニング準備もあるから本当にうざい。おなかがすいて仕方ないのも肌がぼろぼろのもだんだんじわじわ太ってきてるのも全部うざい。授業はわりとすらすらすんだのがまだ救いか。矢作がいなかつたからだろ思う。矢作も浦江もずっと来なければいいのに。早く学校やめる。いたつて腐敗臭まきちらすだけで何の役にもたたない。

1Cの田村君がバドミントン部にきた。何たくらんでるのか。

放課後に再考査やつたんだけどうざすぎた。馬鹿のくせに自信満々つてひねり殺したくなる。しかも不細工とか一重苦なのになんな

んだほんとあいつら

夕飯が鶏肉と大根の煮物と鮭の焼いたのと青菜と味噌汁で豪勢だった。

登用試験に落ちたのがショック過ぎて息するだけで精いっぱいだった。

今日は一年生の進路別説明会。まだ十一月だつていうのに石造りの後者はからだの芯から震えが来るくらい寒い。宏美は朝帰りのあととんぼ返りでバイト。お母さんは愛知へ紅葉を見るツアーツ旅行に行つたけど雨みたい。こちらでもやればざば振つてた。

一時二十分の定時になり次第退社してお父さんに車で迎えに来てもらつた。おおきやのラーメンを食べようとしたらい時近いつて言うのに込み合つてしかもカウンターに座つた七八人がうんざりした様子で水を飲んでいるのでやな予感がして菖蒲の肉うどんに変更した。肉うどんは売り切れでかも肉うどんを食べた。おいしかったけれどアツアツの汁のある麺類を期待していたのでなんだかあてが外れたような気がしておかしかつた。お父さんと教員の仕事をついてずいぶん長く話した。お父さんと同じ仕事をしているなんて不思議な気がする。家でご飯を食べていたりするとまずかつたりするのに車の助手席だといぐらでも話していられた。帰りたくなかったのでモラ ジュに連れて行つてもらおうとしたらなぜか不動岡高校のほうまで行つてしまつて羽生のイオンモールに来た。ちょっと前彼に連れてこられていろいろ盛大に引いた記憶が生々しくやな感じがした。しかも別行動だつた。まあいいんだけど。

問題は正体不明のむかむかに耐えきれずミスドーいつとシュークリームと爽のいちごミルクを買ってトイレで吐いてしまつたことだ。ついでに過食嘔吐用にパンと低脂肪乳までキープしている。せつかくおいしそうに飯を食べたのにとがつかりした。

イオンでさくでサーモンを買い、松前漬けを買い、マヨであったモノばかりのサラダを買い、インスタントの味噌汁と余っていたご飯で夕ご飯。おいしかつた。食後にコーヒーも飲んだ。今この前こ

つそり持ち込んだアーモンドをかじりながら日々の日記を書いてる。とりあえず、あと一年頑張る。スチュワーデスとかアナウンサーとか、そりやなればよかつたけど、なれなかつたよ。やつぱり。そろそろあたしも本物の自分を認めてあげてよくわからない幻想みたいなものをあきらめなきゃいけない年だ。それは可能性を手放すということとは違う。はなから「可能性」はなかつたんだ。成長つていうのは上に向かつて伸びていくものじゃなくて個人の中に埋まつている資質を発掘していく作業なんだ。種のない芽は出るはずがない。

一時つぶれた声は最近少しづつ回復してきた。早くまたカラオケに行きたい。パソコンの音源を聞いていたらそんな気がまたむくむくしてきた。漫画もまた書きたい。英語の勉強もしたい。本も読みたい。旅行にも行きたいし、友達作りたいし、両親に親孝行もしたい。

またいろいろ埋まつてると思ひ。すみからすみまで掘り返してみて、それでもなんにもいいものが見つからなかつたら、全部をやめてしまふのはそれからでいい。

十一月二十日。長くて長くて気が狂いそうな一日だった。朝松前瀆けどごはんと赤だし味噌汁を食べて、後はひたすら個別相談案内。入力がないからいいけど相談してるほうがましだって長さと単調さ。バドの植田くんが補助生徒で気が楽だつた。植田君はどうやら阿部先生のお気に入りさしい。見慣れてて気がつかなかつたけれど彼らはうちの学校の中では結構優秀なのだ。確かに人前である程度筋の通つた話ができるし、オドオドしないし、特選クラスだし。宿題忘れたり、ちょっと空気が読めないところがあるけど育てればそれなりに使えそうだ。私がなかなかなれなかつた個別相談受付の仕組みも簡単に理解したし、嫌な顔せずによく働く。いい子だなと改めて思った。池田君も誘導をしてて田村君もバス係と誘導をしてた。部長は生徒会運動部長だし、山崎君は会長になるらしいし、バドミントン優秀だな。バドはボロボロなのに。鈴木先生の心中やいかに。交代制でお昼御飯だと時間を気にしなきゃいけないのがいやだなあと思った。四時半から五時半が本当に長くて死ぬかと思った。

生徒カルテの検索が間違えていた。探す項目にカーソルを合わせてから検索、名字と名前の間にはスペースを入れる、など。入力は全くのノータッチだし、怖い。というか紙データとパソコンデータとあるのつて二重手間じやない?面談する先生がノート持ち込みじやだめなの?予算がないの?短大つぶせばいいのに。こっちの黒があっちの赤につぶされてるつていらいらする。あっちのほうが勤務時間も少なくて講師の給料高いのに。こっちは20万にもならない手取りであほみたいに働かされてるのに。校長の最後の一言には心底いらっしゃった。なにが「残り少ない休日をゆっくり過ごしてください」だ。今日は休日じゃねえよあたまおかしいんじやねえか。福居先生が送つてくれたけど、また口先のつまらない嘘をついてしまつた。うそをつくのが久々だからなんだか嫌な気分になつた。カフ

エ出入りしてた頃はマヒしてたのがつぐづくわかる。真人間つて爽快だけどしんどい。

ビーフシチューと赤ワインと大量のアーモンドとクリームチーズでおなかがいっぱい。寝オチして一時半に目覚めてまた寝なおした。十一月二十一日。寒い寒い。朝もたついて慌てたせいで、アッセンブリと生徒総会なのにジャケット忘れた。昨日も仕事だったのに今日も明日も明後日もし明後日もそのつきもそのつきもそのつきも仕事とか本当にわけわからない。死ねばいいのに。生徒うざいし。アフリカの、農業用の種もみ食べちゃう土人相手にしてる気分だよ。馬鹿つて適度ならかわいいけど過度だと殺意わくよね。そういうわけで寒さに凍えながら生徒総会を聞いた。山崎君はいい子だけど今一つぱつとしない。多分喋りが下手なせいだと思う。演技指導入れたい。つてかあたしじゃ役者が不足だから阿部先生あたりが指導してくれたらいいと思う。

そのあと海外の反省会があつて校長が非常にうざかつた。なんか、「冗談抜きにおつむがどこかへ飛んで行つてるみたい。なんでこんな爺が学校作れるくらい土地と資金もてたのか不思議。」當時の責任者出てこいよ。おまえの子孫あたまいかれてるぞ。分數の足し算のできない人間が世界に羽ばたくとか思つてるなら今すぐ脳外科にかかるべき。もはや一刻の猶予も許されない。教科会もあつたんだけど、なんと校長先生様教科会を英語でやるようになるとお達し。これにはさすがの中野先生も苦笑い。ダブリンでもさぞ苦労されただろうと思う。長谷川先生は苦い顔。他は笑うほかない、「え、ハローミスター・ナカノとかやるわけ?」そんなことより「教室とか音声教材揃えさせてください。日本人が日本人の英語聞いててもなんにもならないよ? ALTも一人しかいないしどうやらそいつ国に帰るしね。つちの勉強時間ことことくくだらない飲み会やら説明会やらでこそげとつといてどれだけこっちに重たい期待掛けるのさ。そんなに英語話せる人材がほしかったらアメリカかイギリスで探してくれば?みんな英語喋れるよ?直接交渉して月16万くらいで死ぬほど働く

英語教師探してこいよ。だれも止めないから。そのまま他国で行方知れずになつてください。あなたの死は3年は隠しておくからさ。

三年生のリーディングが完全に制御不能でもうどうでもよくなつてきた。どうせ卒業するし。向上心がない人間つて見ていて苦痛だ。なんで? なんでそんなに屑なの? なんで平気なの? わからんないわからんないつて叫びながら肩とかぐらぐらゆすりたてたいくらい酷い。

明日は朝から晩まで学校説明会だ。死ねばいいのにまた400人とかあほじやないか。もういいじゃん全入で。こっちは金ないんだし文句言うなよ。この地理条件と施設で今のレベルの生徒を集めるのが精いっぱいだつて。体育館は雨漏りするし、正門と昇降口が遠いし、プールはないし、ＬＩ教室もない。ＡＬＴもいないし、エアコンやらプレイヤーやらは壊れたら壊れっぱなし。学食も高くてまずい。図書館もない。図書室と呼ばれるスペースはあるが、あれむしろあるほうが失礼つてレベル。

昨日食べすぎたせいで胃が重くてしかたないのに相変わらず食欲だけはあって苦しかった。デブになるデブになるつてぶつぶつ言つてみてもおばけ胃袋が止まらない。日曜イオンでかごに放り込んだドルシアの生クリームプリンはどこがプリンなのかよくわからないけれど濃厚で水っぽくないのになめらかでおいしかつた。過食用食材を買って、でも今日はやらないだろうなとも思つた。しかし、どうせなら木曜がつぶれればよかつたのに。比較的楽な時間割の水曜がつぶれてうんざりする。あした行きたくないなあと思っているとなんの氣力もわからず、無理に七時前に帰つてきたというのにネットで怪談話を読むほか何もできなかつた。ちゃんと勉強してスキルアップしたいのに、寒いのと疲れとで全然頭が回らない。

風呂上がりの脚が冷たいのに汗まみれなのつて何が悪いんだろう

十一月十六日

木曜日。もう完全に氣力が失せててだらだらしながら一日終わった氣がある。もつあんなやつらのこと知るもんか。海外の反省会で寝そうになつた。職員会議では持ち直したけど、あの校長のブルドッグみたいに垂れ下がつた顔を見てるだけでいらいらする。ちんちくりんなマサモト×××して生まれたコドモオトナみたいな事務員にもいらいらする。手当とかいろいろわけわかんないもの漬けてるんだろうな。フライング九時五時のくせに。この日のことはあまりよく覚えていない。日記何の意味もねえ。早く週末にならないかな。朝リストニングがないのがうれしい。声はだんだん元に戻ってきた。たしかなんだか買い込んで過食嘔吐した。しようがないよね。

金曜日。1Cがまた崩壊した。頼むから浦江と矢作と鈴木のさのつくほうはなんか不幸な事故にあうとか通り魔にあうとかしてくれないかな。早くしないと低脳ほど子孫を残すのに必死（ゴキブリがいい例）らしいから手遅れになるぞ。これ以上不幸な子供を作るな。まあのクラス総じてどうしようもないんだけどね。つうか学院全体どうしようもないんだけどね。全員圧縮して東北に津波防ぐための堤防を作る土台として埋まつてくれればいいよ。もしくは福島の原発で素手で作業してきたらしいんじゃないかな。どうやら掃除をしたり勉強をするくらいなら死ぬつて感じらしいから。もう死ねよ。いいからさつさと死ねよ。あああああああ。寒くて寒くて気が狂いそう。再考査に全然来ないやつらがいるのに腹立つ。

今日一番腹立つたのが学院の中学校ができるという話を私が生徒に漏らしたことになつていてるらしい。いや、話す必要とか無いから。ていうか、そもそもなんで秘密になつてんの？なにが後ろめたいことあるの？なんだかなにがなんだかよくわからない。ビール・・・でなくて発泡酒をぐびぐび飲んでズブロッカもお茶割りで流し込んだ

で（はじめいいにおいと思つた桜餅がだんだんセメダインチックに感じられるようになつてきた）寝た。

土曜日。個別相談会あつたけど半日だけだからすぐ終わった。いつもこれくらいならいいのに。一日のあればきちがいじみてると思う。午後大宮で泉と会つた。京都のお土産を多分2000円くらい相当渡されてしまうとビビつた。旅行の話を聞きながら、ずれた人同士であつまつてると大変だらうなと思つた。みんながみんな何が悪いのか分からぬわけだから多分相当力オスだつたと思われる。化粧品見て、泉の年賀状はがき選び（えらく長かつた。いつたい何を選んでるのか悩んでるのかわかんないし、聞くとせかしてると思われそうだから放置）に付き合つて、ドトールで別に食べたくないのに惰性でキー キセットつづいてるうちに7時になつた。そのあと解散して大宮のアルしえで女優帽がいろいろ色そろつて500円になつてるの見て買いたくなつたが「ゴミになりそな」と、明日アウトレットに行くのを思つて我慢した。

なのに地元に近いヤオコーでまたナツツを買つてしまつ。真のあほだ。ナツツなんでこんな高いの。もうやだ寝る前なのに止まらないし。あああ

三井のアウトレットパークを一日徘徊してきた。さんざんだった。行きの車では一日遠出ドライブをしたかった母がいろいろしてお父さんも高速に乗りたいのをお母さんが渋つてるとなぜか勝手に勘違いして半分キしてて、入間のIC過ぎたあたりで「あとどれぐらいだ」つてめちゃくちゃ聞いてくるけど分かるわけないじゃん。距離は500メーターくらいだけ、車の行列の進みまでわからんないよ。こわいし、電話口でも怒鳴るし。

肝心のアウトレットは、全然安くないしいいモノないし、こないだ来た時とは違つて全然楽しめなかつた。なのに両親は高速のつて真鶴とかわけわかんない。寒い中すごい人込みで座るところもなくて、「折角来たんだからもつたいない」とかわけわかんないことを考えてつまらないもの買わないようにするので精いっぱいだった。渋谷とか行けばよかつた。超絶につまらなかつた。

一日歩きづめでつかれた。休みそのものより土曜夜の解放感のほうが楽しいと最近気がついた。終わっちゃうものなんてね。

二十八日。月曜日。テスト前で範囲が終わつてると手がつけられない。とくにすごく嫌なことがあつたわけじゃないのにむしゃくしやして電光石火で帰つて過食嘔吐してしまつた。ヤオコーである名が付けられてるかもしれない。江迎ちゃんかわいい。めだかがジヤンプの中で一番面白い。怖い話を読み過ぎて怖がりになつてきた。二回吐いても熱は收まらず、もう家帰らないで大富スイパラとか行けばよかつたつてくらい散在した。考えてみると私の一日の給料は5000円くらい。一円の給料が半分以上その日の食費で消えるつて私は江戸時代の人かよ。宵越しの錢がないとこの世は生きていけませんですよ。血を吐く思いで通学（ここが笑える）してるのでなんなんだろこれ。貰えもしない年金払つて、若い時間はどんどんすり減つて。いつかあの職場の女人たちみたいになつちゃうのか。嫌すぎる。ギャルギャルしさ保つてる篠崎先生とゴーリングマイウェイなクミ先生うらやましい。

ひさびさにビール飲んだら冬物語まずかつた。ショック。もつと甘みと香りのあるのがいい。スーパーードライにウォッカ足したみたいたつた。

二十九日。久々に荒れ狂つてた。六時便に乗りそこなつたあたりからイライラが堰を切つて ちゃんカレーうどん、スーパー カツプ、辛いピザポテト、ロールパン半額だつたやつ一袋、ほかにもなんだいろいろ。納豆と半額だつたときわかれも買って部屋の夜食にと蓄えた。業務までアーモンド買いに走りたかつたけどお茶代だしたらお金足りなかつたし手袋忘れてきたからあきらめた。家についたのは十時過ぎ。東京で働きたい。気晴らしの場所もありやしない。なんだか昔した失敗とか後悔とかちょっとした言い間違いとか忘れられなくてむかむかする。にしても昼休みの巡回本当勘弁してもらえないかな。ほかのひとの顔色みて声かけるの疲れた。

三十日。テストの提出を待つてたらまた七時になってしまった。
十一時間労働つておかしいって、ほんとおかしいって。

今日は吐かなくてすんでる。前髪がうざったくてあげてすぐして
た。周りに劣等感刺激する人がいないからそういう点では気楽。小
顔の生徒みると落ち込むこともあるけど私は元気出です。どて煮
込み?と昨日のすき焼きの黄金の汁とブロッコリと枝豆豆腐。茂蔵
のピーナツ豆腐がなくなつてショック。あーあ。

一日木曜日。後期中間考查一日目。児玉が休んだ穴を一人で埋めさせられた3時間連続監督たちっぱなし。あたし三日もなんですか。まじふざけんな。体力しか取りえないんだから休んでるんじやねーよ。部活は好きでやつてるんだろそれで体調壊したとかならマジ救えない。うぜえ。あー

あからさまに気分悪そうにしてしまって半日振替休日とのをすすめられた。でも主任いなししほんとは気分というより機嫌悪いからどうなかつた。一時くらいから取ればよかつたつて後悔。でもとつても家は入れないしなー。明日休みなら都内に遊びに出ちゃえばいいけど明日も明後日も仕事だし。

監督中なんか話考えようと思つたのに想像力が枯渇してる。生活に追われて心の余裕がない。お金もないし。昼はストックしてたお菓子やけ食いして気持ち悪くなつてリバッてしまつた。今度ココスのバイキングにでも行つて思う存分吐こうかな。あそこはおいしいものはないけど人目が気になりづらいのと時間設定長めのがいい。無制限なバイキング行きたい・・・。スイバラが無限なら神なのに。ウェスティンいいけど高いし行きづらいしな。

夕飯食べすぎた。カレーおいしかつた。カレー食べながら父が赤ん坊のころの自分がいかに下痢気味だったか語つてきてビビつた。お母さんが両手をうんちで汚されて泣いてたとか。つくづく思うんだけど、自我が芽生える前の子供つて「その人自身」では絶対にない気がする。

ともかくにもそこまで頑張つて育てて金を惜しみなく使ってワーキングプアとかかわいそう過ぎる。正直夢見させてあげたんだからいいんぢやないのとも思うけどそれは私は絶対言っちゃいけないセリフだ。それをさせてあげたのは「私自身」になる前の「かわいいめぐちゃん」であつてあたしではないわけだし。

一日金曜日。児玉の分はほかに割り振つてもらえた。ほつとした。昨日の態度が過激だつたような気がして反省。午後から中学校訪問。また石部さんと半日一緒に。今度で終わりなのでちょっとほつとする。嫌いなわけじゃないけどできたら一人で回りたい。回れるようになりたい。住先生まじすごい。どんな大学生だったんだ。入試がほんとうにきついらしくて（教師サイド）げんなりした。十一時過ぎつてそれなに勘弁してよ。はやく遠くの電車通勤になろう。今のままじや帰る言い訳が零だ。

チョッキしてもうこの時間に風呂入り終わつてこいつやって日記書いてる（八時半）明日にならなければいいのに。チョコ食べたい。

十一月五日

十一月三日土曜日。もつほんとがあほばっかり。今日は四時間監督で頭が発酵しそうだつた。ようやく喉が正常値になつてきた。妄想も種切れ。最近本当に物語が作れなくなつた。想像力が枯渇してゐる。これが普通の人になるつてことなのだとしたらつまらなさ過ぎる。韓流やらAKBがもてはやされるわけだ。つまらなさすぎりもん。

部活が始まるのが憂鬱。

午後は個別相談会。二時から始まり三時半ころには人が途切れてしまう。五時まで予定だつたから拍子抜けして予約表を見せてもらつたら一枠に一二組しか入つていない。つめれば三十分で終わるんですけど。何考へてるの。わけがわからない。相談の先生も余つてしまつてしまはらく雑談したりもしていた。でもこのおかげで英語演習のテスト採点が終わる。五時前ころ母からうどんを食べに行くけどどうするとメールが来た。定時を足踏みして待つて、飛んで帰つてしまつた。学校に置きっぱなしの件の嫌な思い出しかいスニーカーを履いて（あれ早く捨てなくちゃ。もう忘れたと思うとまだ忘れられない。あのころのあたしの頭はほんとうにおかしかつた。気違ひ。ふとした瞬間に思い出して、給料が安からうが夏から3キロ太らうが今のほうがましだとほつとさせられる。これからなにがあつても絶望しないように神様があたしの襟首つかんで地獄の底を垣間見させてくれたのかもしれない。あたしはたぶんこれから先道をたがえることはないと思う。あれは、ものすごく怖い。人としてなにかが不正確だ。）朝酷い雨が降つたせいであたしの安物のぼむぽむブーツは氷水で湿つたスポンジの筒みたいになつてしまつたのだ。あれを履いているくらいなら素足でいるほうが体にいい。

坂東太郎で四人そろつて鍋焼きうどんを食べた。おいしかったのに我慢できなくなつて後からヤオコーに行って雪見大福とあといく

つか追加して吐いてしまった。ばかばかばか。結構早く寝た。初めてシルシリミチルを見た。ナレーターがとてもよかつた。

四日日曜日。ココスの朝食バイキングにワッフルが入った。100円アップ。大富赤芝店へもう何回目にもなる訪問。ワッフルメーカー一台と氷で冷やされたミックス生地。嬉しいことには大量のホイップが添えある。一緒に置いてあるチョコレートはソントンのを逆さに返したみたいだしメープルも胡散臭かつたが（どうみてもケークリップ）食べればいのだ要するに。焼きたてのワッフルはおいしかったが子供連れの主婦が後ろに人が並んでいるのに家族全員分約まで頑張っていたのが殺したくなるくらいうざかった。一度声かけても「あと一枚ですか」知るか、どけ。今度は言つてやる。勇気が出なかつたのと安い店で民度期待して自分に嫌気がさしたのでイライラしながら待つた。あと、一体何をしたのかあほでも失敗しないワッフルメイカーに生地をべつたりはりつけちゃうおバカさんが数名いた。おかげで回転がより悪くなつたともいえる。パンではチョコクロワッサンがなかなか良かつたけれどメロンパンもピザもないし、何よりおかずが手抜き過ぎた。いつかの、泉とひろちゃんのオールした明けの時が神だったのに。

十一時過ぎまでいて、新聞を読んでつくづく暗い気持ちになつて大富を徘徊した。買いたいけど買えない。セールにならないと。あたしはただでさえお菓子代がかかるんだから。でもいつ死ぬか分からぬ身で汚い服をきているのも馬鹿みたいだしさやすく一杯買いたい。ていうか帰るようになりたい。お金がいっぱい、いっぱいほしい。どうしようなんか変なものに手をだすかも。とにかくお金さえ自由に使えるなら恋人も友人もいらぬ。

この前あれから「日曜会えない？」ってメールが来た。で、どこで？つて返した。会うのはいいよ。でもなんでじゃあなにしよう、どこ行こうって提案するのがあたしなの？バッティングセンターとカラオケしか知らないって、じゃあ知る努力をしろよ。何考えてるの？なんであたしがいつもいつも面白いこと探して提供しなき

五日月曜日。児玉学校来てる。偉そう。一言一言てめえの穴を埋めた先生方にあいさつあってもいいんあじやねえか。1Cが本当に大崩壊。もうあいつら全員まとめて塩釜に詰めて焼いて開けないで北大西洋に放り込みたい。なんか深海のよくわからない生物に一飲みにされて二度と戻つてくれんな。うつぜえ。

うぜえといえば鈴木が久々に部活見れるとか言つてきらきらして
るのがうざすぎる。あのさ、そんなに楽しいなら一人でやつてくれ
るかな。あたし本当無理だから。ていうか、立て替えた分返してくれ
るまで休みの部活は絶対でないからな。部員はかわいいけどお願
い最終バスの時間守ってくれ。

やつぱり胃は膨らんだらしい。55キロ目前なのに大盛りご飯とビーフシチューお代わりしても収まらない食欲。死ねよ本当にもう。標準より5キロも豚とか何考えてるのマジで。ただでさえバスなのに体の厚みがやばい。食に興味を持たない頭か、食べてもガリガリの体がほしい。このところとみにテブ。顔も心なしか丸くなってきた。でかい顔がさらにでかくなる。

今週は学院記念行事（なにを記念するの？短大の赤字？）というオナニー企画と忘年会というオナニー会が控えていて週末まで学校説明会というオナニーイベントが待っている。マジどんだけ説明したいんだよ。ア イ ツ ア タ マ オ カ シ イ。イイイイイ・イ・・

十一月八日

六日。火曜日。授業に嫌気がさしてきた。隙を見て六時バスで帰つたことしか思い出せない。ちふれのオレンジチークを買った。パウダーファンデも気になるけどカバー力弱そうな気がして心配。

七日。学院創立記念行事。朝八時半集合だけど大事をとつて八時ごろ大富をふらふらしていたら同僚と会つちゃつて行かざるを得なくなつた。脚の先が痛くて痛くて機嫌悪くなるくらい寒かつた。しかも九時半まで会場が開かないので立つたままフリージング。

後ろの席に陣取つてたら途中何回か気が遠くなつた。樋口なんとかというババアはこりやあの学長の仲良しだわとあきれるくらい長話の話好き。いろいろ言つてたけど要するに「働け、働け、死ぬほど働け。育児も病気も年齢もいいわけにはできないとにかく安い賃金で死ぬほど働け」だつた。あんなのが東大出てると思うとむかむかする。そもそも私は女性が女性がつてやつ嫌いなんだよ。いいよ日陰で。それよりストレスがなくて穏やかな生活がしたいのに。こんなだからあたしの肌はいつになつても治らないんだ。

午後は防災に関する研修会と銘打つて短大でだらだら過ごす時間がとられた。うざかつた。どうやら短大が「おれたち通常勤務なのに高校午前で帰るのズるい」とかわけのわからないことを言つたせいらしい。まずいジャパン亭の弁当食わされるし。

終わった後大富ふらふらしようと福居先生と篠崎先生と買い物に行くことになつてしまつた。めちゃくちゃありがたいんだけど、一人になりたいよおおおと思つちゃうあたり本当真正ばつちだ。福居先生が上村先生のカップを割つちゃつたかららしい。そうだ上村先生結婚するらしいよ。大丈夫なのかねこの用給で。もっともらつてゐるのかな。

面倒くさいついでにあれと飲みにも行くことにした。六時くらいになつたらお先に失礼させてもらうことにしてつらつら歩く。買い物

物の後お茶でも、のはずがなぜか居酒屋でキムチを前にビールを啜ることに。篠崎先生と話す機会があまりなかつたので面白かつた。同棲しているらしいことを今日知つた。あと年賀状書かなきゃいけないことも。

三杯のんで調子づいてわん行つたら記憶が飛んだ。初めて。翌日母親がやたら機嫌悪くて、あと眼鏡が見つからない。

八日。起きた瞬間は行けると思ったのに、午前中が本当地獄だつた。だるくて節々が痛くて吐き気がして、なのにチョコが止まらない。でもおいしくなくて、もつたひないカロリーだった・・・ついでに生理発動。

英検の願書メールボックスに入つてた。しかも福居先生に見つけられてしまった。自分のメールボックスとか給料明細くらいしかないうから完全に意識の外だつた。動くときいちいち主任に報告しなくちゃいけないんだけど忘れて勝手に募集始めようとしてた。再考査の連絡も福居先生に見せる前にお知らせの紙配っちゃつたりもして。で、不備があつて。微妙な顔されたし。最近変に慣れて基本の報告連絡相談をおろそかにしてた。反省。明日はつまらん忘年会だ。普通の飲み屋でやりたいよ。なんで講演会みたいになつてんの。ほんつとあいつおしゃべり。

さつき夕飯山もりおでんとカレーライス食べてしまつた。いいもん。生理中だし。ダイエットは一休み とばかりに今もナツツ食べてる。死ねばいいよね。

九日。金曜日。リーディングの授業の雰囲気が尋常じゃなく悪い。このクラスで拒否されたことないからストレスすごくて隠れちゃつと泣いた。どうしたら人に好かれるのか全然わからない。なんでこんな興味も適性もない仕事についちゃつたんだろう。経理の仕事とかいまから考えようか。でも自分に数字を扱う仕事ができるとはとても思えない。理絵ちゃんは転職したらしい。すごい。りつちゃんは結局連絡ないままだ。思い出すだけで腹が立つ。一生自分は悲劇の御姫様だと思ってればいい。美帆にメールが届かなくなつてた。地味にきいた。誕生日メールは送つてたのに。切られたんだよね。結局こうなるんだからもう誰ともかかわりあいにならないほうがいいんじゃないかなって気がする。

忘年会もある糞爺のそばに行つて蹴り倒して、何回も何回も何回も何回も顔面踏み潰してやりたい衝動を抑えるのがやつとだつた。久未先生とちよつと喋れたのが楽しかつたくらい。誰にお酌しにくとかビール注ぐとか面倒くさすぎて来年は絶対欠席したい。新年会もいまから憂鬱。また金どるのかな。ボーナスも出ないんだからおまえを祝う会くらいめえで支払いいやがりなさいと言つてやりたい。つうか短大うらやましすぎて田から血が出そう。いいな。もう働きたくないよ。

帰りにスーパーでアイス食べて吐いてからマツキヨでコッシュンとかタンポンとかまとめ買いした。後からキャンディードール?の白っぽいオレンジのグロスを買おうとしていたの思い出したけどもついいやつて思つた。とりあえず今ある分を使い切らなくちゃ。

十日。まるまる一日学校説明会。立ちっぱなしで寒くて叫びっぱなしだけど授業よりましかも。蛭田がまたあたしにKGカードくらせようと躍起になつてきた。昨日酒の席でぽろつと言つちやつたせいだ。自分にも腹立つけど、それならもつと仲いい先生に頼めよ。

雑用係だけさせるな死ね。絶対意地でも手伝つてやるものか。それにお前の息臭くて隣で作業されると吐き氣するんだよ。まず口臭と顔面直せ。おまえの娘とか生まれた瞬間からハードモード確定でマジかわいそう。得するのは低身長くらいうけどいまの子は低身長でもバランスいいからね。思春期に娘に外見を苦にした自殺されないようにせいぜい監視つけてろ。あーうぜえ。ショットグラスをこつそり買いこんでズブロッカをかぶかぶ飲んだ。明日はゆっくりするんだ。

夕飯の時母が今日は仕事は半日だつたんと言つたのにキレてしまつた。半日だつたのは予定勤務時間で、私は朝から晩まで働きどうしだよ。向こうもキレて変な空気になつた。月食があつたらしいけど何それくらいにしか思わなかつた。すごいとかきれいとかおもしろいとか最近本当によくわからなくなつてきた。人の噂話もへーつて言いながら全然興味わかない。漫画も映画も見なくなつたカラオケにすら行つてない。食べるのも、ストレスさえなければ食べないで済むし。身辺整理し始めようと思つ。

十一日。十時半に起きてさあ存分に引きこもるつと思つたら母に河口湖行つて富士山見ようと連れて行かれた。本当は物凄く嫌だつた。レオパレスに行つて冬休み入居できるかどうか確かめたかつたし、ドコモショップに行つて料金プランの変更をしなくちゃだつたし、業務スーパーでアーモンドの仕入れもしたかつた。それに昨日の今日でそれつて、リアルに自分河口湖に沈められるんじゃないかなつて氣もした。なにより車の中つて逃げ場がない。案の定、父母双方から給料安くてもボーナスでなくとも今のところで死ぬほど働けもつともつと働け周りの人と仲良くしろ、精進しろ今のまじやだめだ、学校に居場所をつくらなきやだめだ、おまえは部活も事務もだめなんだから勉強しなくちゃだめだと言われまくつて途中でもうここで降ろして帰ると言つてしまつて氣まずい空気が充満した。

なんでこの人たちつて自分が虐げられてるのとか、ずるがしこい人が真面目な人を踏みつけにするのをみて（あるいは実際にされて

も）平氣でいられるんだろう。そこだけは頭おかしいと思う。礼儀のなつてないやつらは人として扱われなくて当然だし、断固として不正とは戦うべきだと思う。それができなくて最低やつらに上手い目を見させない努力は最大限にしていきたいと思う。自分の嫌いなやつが得するくらいなら、お金でもモノでも火をつけて燃やしてしまったほうが絶対楽しいと思う私だ。

あたしは低俗な人間が死ぬほど嫌い。汚い奴もいやだし、怠惰なやつはもつといやだし、不細工が一番大つきらい。ああいうのはみんなまとめてつぶして固めて宇宙空間に放り込むとか北朝鮮で死ぬまで労働させてやりたいと思う。

まあともかくドライブして、富士山見て、小作いこうとしたらあまりにも混んでいたので白くてもこもこした建物の不動つてどこでほうとう食べた。帰りに談合坂でバナナムースみたいなもの買ってもらつて車でつづいてた。生バナナ入つておいしかったけど、五百円もした。

行きの談合坂でケーキ食べたいか聞かれておなかはすいていたけどケーキ気分じゃなくてぐだぐだしてたらいらつかれたんだけど、「甘い物の気分じゃない」っていえば解決してたらしい。一般人の思考分からな過ぎて詰む。あと食べ物に関してはあたしほんとうきちがいだから他項目にましてわけわかんなさが加速する。最近毎日吐いてる。

家に帰つてからのど飴を買いに行くと言いつつカロリーメイト的なものを買いこんで部屋で食べて吐いた。夕飯普通に食べたら足りなくて学校持つて行く用のダースに手を出してやつぱり吐いた。なのに背中部分が風呂で見たら脂肪でたっぷりしていた。気持ち悪い。なんでこんなにぶくぶく太るのに食べるのやめられないんだろう。それしか楽しいことがないからつてわかつてもだからどうしようっていうの。教員とかもうやだ。わかつたつてなんにもならない。偏差値ちょっとくらい高くてもなんにもならない。高校大学行つたつてお金をどぶにするよつなものだった。よくないものだけ吸収し

て帰ってきた。

今日も高校の頃のあれこれがなければ行かなかつたけど、そろそろ親とは出かけたくないよねとか言われたらうぐっときちゃう。もちろん楽しかつたし行きたくないわけないけど一人になりたい。なんにもいらないから働かないでたつた一人できれいな部屋で誰とも話さずかかわりあいにならず静かに長い時間すごしてみたい。あれも面倒くさいしもうやだ。泊まる泊まるつて夜じうすると思つてるんだろう。話し合いなんかしたくないけど勝手に思い込まれてるのもやだ。ホテル聞いたら出張で使うよつなしおぼいのだし。多分割り勘だし絶対いやだ。

十一月十一日

死ぬほど憂鬱だったけど行つて、なんとか一日終えてきた。甘甘の安納いもと豆乳スープと隠し持つたぶりの刺身ひとさくにたっぷりミルクティー食べてしまつて自己嫌悪&おなかが苦しい。腹筋を緩めたら終わる気がして、でも吐くのは野菜とかいろいろもつたいなさ過ぎて耐えてる。ぶり買うんじゃなかつた。もうしばらく就業後買い食い控えよう。先週の過食週間ともあいまつてくだらないお金使いすぎ。もっと、こいつ、オシャレとか服とかにお金かけるべきだよね。同じ服ばっか来てる私。かわいい私服が気がついたらゼロだ。バクバク食べてぶくぶく太つて豚になつてたら世話ねえよ。

今日藤本がまた質問した側をわけわかんなくして客観的に頭悪そくに見える裏技を使いやがつた。手が肘から先全部熱くなるほどトドイレの壁を叩いてしまつた。これはいい。傷も残らない音もじづらことか言つてる場合じゃない。自傷衝動がむらむらしてる。

気持ち悪すぎて年末お泊りはキャンセルしてしまつた。だめ。気持ち悪い。本当全然好きじやない。安定のためだけに付き合つてたけどもう限界。会つた瞬間から吐きそう。でも結婚できそうなのいないしじうしょう。5キロ痩せたい。体脂肪率が25パーセントになつてしまつた。

十三。火曜日。いらいらする」との多い日だつた。結局怒つてもあいつら何にも変わらないし。モチベーシヨンが保てない。努力する意味が見出せない。こういうときは何も考えず目の前のことをするのが一番つて分かつてゐるに何もできなくて過食に逃避し続け。身をすり減らす思いで働いたお金が文字通りどぶに消えていく。いやゼロどころか自分の健康を害してマイナスだな。

努力を出来ない人間つてことであたしはあの子たちを誰より分かつてあげられるはずなのになんでできないんだろうと考へて、自分がコミニ障だからという結論に至つた。袋小路。あたしつてほんとばか。誰とも会いたくない誰とも話したくないどこにも行きたくない見たくないし見られたくない。閉鎖空間作つて引きこもりたい。表面だけでも明るくできればいいのに。

過食で一週間ぐらい連續千円／日使つてゐる。セール前の服だつて買えるじゃん。もう本当屋だ。死んだほうがましだ。体なんかどうなつたつていいけど、苦労して稼いだお金を使いたくない。

十四日。水曜日。引き続きいらいら。何の意味もない再考査の後の教科会が本当長くて長くてバカみたいで死にたくなつた。そもそも特選特進の話しかしてないしだつたらあたしここにいる意味ないよね？同じセリフ話し展開何回も何回も繰り返してゐるし、新教材馬鹿みたいにいれてるけど豚に真珠だよね。やる気がないもん。何したつて無駄だよ。一番馬鹿みたいだと思ったのは河合サテライト導入。ビデオでもなんでも見せるのはいいよ？学校いながら予備校のビデオ流すとか指導力不足アピールお疲れさまつて感じだけどそんなの知るか。決めたのはあほの痴呆の腐れ教員だ。（教師ではない。ここ重要）なんでサテライト授業の後その内容に対する補講をしなくちゃいけないんですか――――――。あほか？あほか？あほなのか？「

家帰つたら帰つたで飯のおかずにならない味の薄い料理が一品だけあつて、玉子納豆食べたらお母さんがすねるすねる。だから嫌なんだよ。頼むから食べ物くらい勝手にさせてくれ。実家なのに消耗品全部自分で賄つて家賃までいれてるじゃんしかも正月は介護要員だらもつほんと頼むからお願ひ。自由全くないのに制約ばっかりあつて本当つやーい。どこにいても息のつけるまがない。いらない気ばっかりまわして大事なことはどんなに頼んでもきいてくれないし。疲れた。本気で死にたい。だれか殺してくれ。

金曜日。いろんなことが終わりに近づくのはいいことだ。ただしそのあとがなければ。年明けのことを考えると頭が痛い。

今日はなんとなく平穏に授業が進んでほんわり気持ちが明るくなつた。鈴木さやかと野崎と矢作がいなかつたからだと思つ。それでもまだだいぶんカオスで英語演習とか半分きてたけど今年最後と思つと心が軽かつた。球技大会もいやだけどさ。

りつちゃんやっぱり仕事だめらしい。今日ふと思いついて電話してみたら、休職中だつて。ああやつぱ止めたのね・・・休職中?聞くと一切出勤しないで家事手伝いとかして給料毎月振り込まれてるらしい。はああああああああああああああああああああああああ?/?/?そりやきれるよこつちは。てめえみたいのがいるからどうかにしわ寄せが来るんだよ。適応障害ってなんか自分がデリケートな人間とか思つてうつとりしてるらしかつたが、それはきちがいの別称です本当にありがとうございました。百万回死ねよ。うつぜええええ。そんなのとしか縁が続かないあたしもついでに保護してほしいわ。ほんとマジ勘弁してよ。生活保護とかいいだしそうでマジ気持ち悪い。働かないでいいとかうらやましすぎて血吐きそう。うがががが夕飯がSGPのとんかつで油ものだったのにまたナツツ食べてる。だからナツツはやめるとあれほど。こつちは脱毛サロンに行く暇すらないといつにああいらいらする。リツツ行きたかったのにつけが見つからないのもいらいらする。泉とか暇なんだから付き合えよ。おまえのところの塾時間千円けよつとだろ。その一コマのために二万近い割引をふいにするとかありえない。こんな安くリツツ泊まれる機会ないよーーー。しかもクラブフロア。あー泊まりたいよつ。

十一月十八日

十月十六日。金曜日。しんどい。矢作死ねばいいのに。鈴木と根元も一生出でくるな。リツツのホテルステイの件について、泉とかみみたいになつた。面倒くさい。おかげで過食嘔吐しちゃつたし
まじ勘弁してほしい。メールでバイト断つたら嫌み言われてつらい
胃が痛いというから、電話してそんなにつらいならそつち優先させ
なよといつたら、「まあ、ホテル代だしてくれるなら許してやらない
でもない」だと。ばっかじやねーのこいつとしか思えなかつた。多
分はじめからこいついう方向に持つて行く算段だつたのだろう。言わ
れっぱなしだとこっちがいい負かされたみたいに思われそうでつい
メール返し続けてしまつたけど、無駄な時間を過ごしてしまつた。
ついでにあれと会つことになつてしまつた。あたしの馬鹿。黙つて
ればよかつたのに。

ふなぐちは甘いばかりで後味が薬みたいで気持ち悪い。あたし
やつぱり日本酒合わないのかな。フルーティ系ならいけるんだけど。
お母さんに、恵とは面白いと思うものが違うから話しても楽し
くないといわれた。そんなのあたしのせいじゃないよ。

十七日。来週水曜の授業が鬱すぎる。あと球技大会。もう死にた
い。あした出かけるのやだ。ひきこもりたい。ああああ。

一之瀬先生は個別相談一件もやらないで逃げまくつていたらしい。
さすが。それでなんとかやっていられるのがすごい。というか他の
人たち文句言つぱつかじやなくてちくるとかなんかすればいいのに。
結局世の中まじめなもんが損するんだね。宏美がずっと感じ悪い。
死ねばいいのに。

十八日。日曜日。死ぬほど面倒くさくて起きられなくて、やっと起

きたら八時半だった。体が動くのを拒否してゐる氣がする。不動産屋をめぐつて、お昼を食べた。お昼、何が食べたいか全く分からなくなつた。そしてあいつはいつも通り行つたことあるといひしか提案できないうらしいし。この前おいしそうと思った焼き肉はやつぱり安っぽくてよくわからない味がした。やけになつてアイス三つ食べて店のトイレで戻した。だつたらよしかつのはうが安くてよかつたなと店出でから思つた。バッティングセンターとか地元も公園とか、本当やめてほしい。こいつといたら外見どころか中身まで安っぽい女にされてしまう。やっぱりだめ。どうしてもできない。気持ち悪い。歯が汚いとか肌が汚いとかそういうことばっかり気になつてしまつ。結局どこのもなにするのもあたし任せだし。なんにもするのやめよう。黙つてよう。だるい。どこにも行きたくない。気持ち悪い。変なペラペラのやな色したダッフル來てるし。中学生のもの捨てられないで持つてたみたい。なんであんなに変な服買つたりやうんだろう。理解に苦しむ。

十九日。月曜日。球技大会。朝登校してみたら先生方みんなジャージでビビった。山口先生と中野先生くらいが例外は。上村は年休。結婚式つていつてたつけ?いーなー。

足先が冷えて感覚がなくなつて棒になつちゃうくらい寒い。なんて野蛮な行事だろう。ただでさえ興味持てない猿みたいなやつらがいつも以上に猿みたいになつてるのなんてみてるだけで拷問なのに加えて寒さとか、もう文句つけるのも疲れる勢いで八時間凍え続けた。どこにいつても生徒がいるし、どこに行つても寒いし、コーヒーの一杯も飲めないし、仕事もできないしいらいらした。時間をどぶに捨てるほどいらいらすることはない。

結局全部が終わつた後から冬休みの宿題刷つたりしてたら八時回つてしまつた。そこから過食して吐いて疲れた。肌がぼろぼろ。

二十日。旅行に生理かかつたら嫌だなあ。一時からオーケストラ芸術鑑賞だけどなぜか一時間前に待機。メイクをしていなかつたせいか異常に氣後れして誰とも話せなくなつてしまつた。絶対変な人と思われた。あと伊藤先生「やだけど一応気を使つておくか」が態度に出過ぎ。さすがに不愉快。

やまやで梅酒を買うか散々悩んで結局プラロにして、そのあとアーモンド買って、年賀状の書き損じをはがきになおして、そうそう宏美に頼んだ年賀状がミスだらけでお母さんにぐちつたら怒られたおまけに現金を包めと言われた。え、じゃあ氣を使わないで済む分業者がいいんですけど。意味がわからない。ツタヤでカード作つたけど映画借りられなつた。最近ほんとうに興味関心が薄い。どうしようかな。

二十一日。最後の通常授業。全校リスニングすっかり忘れてしまつていた。ナツツが止まらないし肌荒れがやばい。生理怖い。27日旅行だから来ないでほしい・・・。

中野先生とティベアの企画一緒にやるのが楽しみだ。ちゃんと既婚だし、落ち着いた話し方をするのが好き。本人のプライベートは何一つ知らないわけなのになんとなく好感が持てる。

卒研が添削し終わってないけどもういいや。ティベアももつと見とくべきだしやる」とあるのかもだけどもういいやと七時バスで帰ってきた。

最近本気で来年から一人暮らししようかと思つんだけどお金が不安すぎる。化粧品と食べ物が山のようにほしい。帰りマツキヨでツヤ下地買おうとしたのになぜかヒロインメイクのマットBB買つた。そろそろこの病氣なおしたい。ほしいものが買いたい。
ほんとーじ女子がつざこ。みんなまとめて死ねばいいのに

二十一日。木曜日。死ぬかと思つほど体育館が寒い。アッセンブリが終わるころには手も脚も冷えてぱんぱんにむくんで感覚がなくなつてた。なんで教頭あんなに長く喋つていられるんだろう。ボケると暑さ寒さを感じなくなるつて本当だつたらしい。

音楽室の大掃除が死ぬほど面倒くさかつた。頭の悪い奴の近くの空気を吸つてると自分の頭も悪くなりそ。一般常識からすれば賢いとはとても言い難い特別選抜・特別進学の生徒もめちゃくちゃかわいく感じるよ。いろんなものをいやつてほど食べて吐きたい衝動に駆られてアーモンド大量に食べて吐いてしまつた。まともな栄養になるのもつたといない。

ひとり暮らしを夢見てるけど現実が重くのしかかる。お金、お金、とにかくお金。あたしも愛人ほしいな。ほんとなつちゃんは憧れだ。逆にいえばあの程度でいいんだ。あの程度であたしは幸せ。でも取り合えずこの肌をなんとかしないと出来る愛人もできないわ。やつぱりまともな部屋はださいたまでも七万ちょっと以上する。はやく正社員になりたい。

泉はひろちゃんに三十日都合悪いといつたらしい。あんたがそう思つてるならそれでいいよもう。

お酒飲みたいけどカロリーが気になつて飲めない。イエーガーマイスターも暖かくなる前に片したいんだけどな。

それにもしても最近ほんとうに想像力が枯渇してる。なにも浮かばない。死なないために生きてる、それだけつて感じがして人生にうまみとか色合いとかが全く感じられない。疲れちゃつたのかな。

二十三日。今日こそ本当の地獄だつた。視聴覚室開け放しで寒いの寒くないのつて、いや寒いんですけどね。お昼休憩はからずも一番忙しい時に三十分くらいとつちゃつて若干岡本先生の目が怖かつた。二十六日は休みとつちやつた。わーい。連休だ。

振つてわいた幸運。親から5万補助付きでレオパレス一人暮らし
体験できるらしい。何年振りかに料理できる！！いつからしようか
今からわくわく。過食嘔吐もいっぱい楽しめる。好きな時に好きな
だけ食べていいし風呂も入れるし不安もあるけど一ヶ月ならどうに
でもなると思う。やつた。今日はズブロッカのんで寝ようかな。こ
れを楽しみに地獄の大みそかも耐えよう。臭いのと汚いのはマジ勘
弁だ。あたしは自分の世話だけで精一杯です。早く結婚して専業主
婦になりたいな。

今日ようやく福居先生にリップとハンドクリームあげられた。人
にものを上げるのって場合によつてはもう少しひどい難しい。とくにあ
あいう氣使つてくれちゃうタイプには。

二十四日。クリスマスイブなのに個別相談会。昨日ほどの寒さはない。また阿部先生に面談やらされてへたれつぶりをアピールしてきた。相手を不安にさせるから沈黙しないこと。内諾という言葉は使わず、「これだけはしたらダメ」をアピールして、それさえなければ大丈夫なのだと分からせる。個人情報を書き写す時には一言了解を得てから。北辰は偏差値。件の個別相談セットのファイリング&持参は必至。あと電卓はあつたほうがいい。（上位二回分の成績で判断するから）不安だ。

午前で終わりなのに、個人カルテ相互チェックしないと帰れないのでおろおろしていたら上村先生がやってくれた、んだけど、帰ることばかり考えてたからひどいミスだらけだった。自分で見直しあないの？ってかんじ。出欠数きくの忘れたので備考に書こうとしたら、「し忘れ」ではネガティブだからと「記入せず」にしたほうがいいと言われた。水泳部が水連部になっていたし、住所が最後まで入つてなかつた。あたしつてホント馬鹿。振替とつて26日も休みにして逃げるように出てきた。なんかやだな。ていうかもう戻りたくない。

部活はサボつてレオパレスへゴー。でも結局部屋の下見はできず、なんだかよくわからない時間を過ごす。ていうか、冬休み一回も部活でない。五千円がまた回収しづらくなる・・・でも借りた金返さないやつがおかしいよね。

夕方、あたしの昼間のメールに現在位置がなかつたことについてしつこくしつこく怒られてキレそうになる。「なう」の話にまでさかのぼり、イライラ。父が夕飯の買い出しに行くといつのについて行く。スーパークリングワインとハーゲンダッツとグラタン買ってもらつた。ケーキはなし。家に帰つて、セブンのしょうゆ味鳥脚食べてワイン飲んでチーズとかもつまんで、小さいころの話されてなん

かしんみりしたけど楽しそうでよかつたなと思つたのが甘かつた。風呂出た後あれと別れたのかと母親に詰め寄られ、別れたのかとか（どう考へてもこっちの勝手だ）、クリスマスに会いたがらない（ついじや終わりだとか、恵のいいと他人のいいは違うとか（あたしは金さえあればいい）、あのがかわいそุดとかむかつくなことをめちゃくちゃ言われた。電話してみようかつて気さえ失せた。誰がげつ歯類に電話なんかするか。あのがつたがたの歯並び見ると胸が悪くなる。気持ち悪いがゆえに田が離せなくなつておえつとくる。口元と輪郭は大事だわ。

風呂の最中、ドコモのバカ女から電話が来て修理費5000円払えと言われたのも腹立つた。ワインの酔いにまかせてさんざん言つて、相手が壊れたジュークボックスみたいに同じ話を繰り返すのにキレた。明日はいっぱい吐きまくることに決めた。ズブロッカがどうとうなくなってしまった。あーあ。

二十五日。さすがに聖なる朝にファミレスバイキング来て食べ吐きちらしてやつは少ないようだつた。少なくとも朝七時半の時点ではいなかつた。ワッフル機も好いてて6枚くらいまとめて焼きしてホイップを山のように積み上げた。カレーはあんまり食べなくて、卵ごはんと揚げ物と、ケチャップぽい柔らかいパスタがあつてそれはかなり食べた。ピラフ見たいのに卵の黄身だけかけてラー油と一緒にとか。十一時過ぎまで繰り返して、かなり吸收もしただらうけど、まともな飯を食べない予定なのでよしとした。

なぜなら今日はポルノのライブに行くから。大富でだらりと時間をすりつぶして、なんかもつたないので幕張に早めについて散策することに。途中までデイズニー行くのと同じ道のりなのでわけもなく興奮した。東京駅に来ると小岩井のアイスが食べたくなるけどここはぐつと我慢。ついてみると千葉（笑）のイメージを結構吹き飛ばすきれいに整つた駅前。三井のアウトレットパークがあつたので覗いてみると、ジャイロでスカートを買って（学校用。ウエストジヤストで履いても膝が隠れる絶妙な丈。もつと安いとよかつ

たがまあいい）、家族三人に手袋をプレゼントに買って、会場に入つた。トイレが恐ろしく混んでいて、入場ももたもたしたので焦つたけれど五分前に椅子についた。母はもう座つていて、首にポルノのタオルなんか巻いてる。花道があつたりするすり鉢型のドーム会場を予想していた自分には体育館に椅子並べたような会場はちょっと面喰つたが、始まつてみると忘れた。思つてたより近い。表情なんかはさすがに見えないけど、テレビで見たり、CDで聞いたりするアキヒトが目の前にいて、知つているその声で歌つてるのがすごく感動した。ギフトではまだ三曲目なのにちょっと泣いた。腰が痛くて生理痛疑つたり、仕事のことが頭を何度もよぎつたけど、没頭するように努力したし、アキヒトもハルイチもやなことは忘れて楽しんでもつて何度も何度も呼びかけてくれた。こんなたくさんひとに愛されて望まれるつてどんな気持ちなんだろう。実際、見ていてすっごくいとおしくなつたしかわいかつた魅力的だつた。ステージの上の遠くのちつちやい人影から物凄いエネルギーを感じた。ほんとに唄うことが、奏でることが、音楽が大好きなんだなどいうのが伝わってきた。うらやましくてそういう意味でも泣けた。

帰りスイカをチャージしていなかつたことで母がちょっとといらつとしてたけど、一緒に高崎線で父の迎えで帰つた。帰り道、べつにそんなに疲れてないから大宮周りで羽貫から帰つてもよかつたと気がついた。そうすれば電車代も安く済んだ。損した気分。でもとにかく楽しかつた！！おなかはすいたけどね。牛乳と、昨日のあまりの梅酒飲んで久々に曇りなく幸せな気分で寝た。

二十六日。休みには罪悪感だけど幸せ。中見してきた。薄汚れてたけど清掃入るらしいし、近所で一番安いから勧められた羽貫近くのレオパレスに決めてきた。楽しみだけど、仕事きつい時期だから心配もある。でも自由！好きな時に寝て起きて好きな時に好きなもの食べれる、休みなら昼から酒も飲める。唯一、朝遅刻しないかだけが心配だけど、めざまし三つ仕掛ければいけるだろ。

午後ドコモショップでまた対決して、粘り勝ちした。でもクレー

マー扱いされてそう。やだな。日本酒ワンカップ隠し持つて、昼間はハーゲン食べて、昨日のじゃガリこと隠しアーモンド食べまくつてたらおなかがいっぱいになってしまった。なのにおでんと甘酒ではちきれそう。昨日乗れた体重計も今日は乗れません。食べたくないときは食べたくないよう。つらい。だらだら食いオンリーなら太らないけど、プラス普通食じやデブ製造プロジェクトだよ。

生理は平氣かもって気がしてきた。だつて胸ブニブニだし。もつと生理前は、こう、ドーンと、バーンと、なるもんだろたしか。どうにか一日間持つてください！！！あと二十九日、三十日に行くとこも決めなきやだな。ああめんどくせ。なんでいつもいつもあたしが面白いことを提供せにやいかんのだ。友達ほしい・・・

宏美のことはきらいじゃないが、自分が友達いなくて卑屈になっちゃう。大学でまなんだのはスケベなオヤジにいかにやらせずぼつたくるかつてことだもんな。笑っちゃうよ。それも過食嘔吐でなんにも残つてないし。ほんとあたしの人生くす。レディ・ガガみたいのもいるのに、人間つてなんなんだろ。あの人26だつて。詐欺だ。2000年くらい生きててほしいわ。パリス・ヒルトンになりたい。

十一月一十八日

一十七日。火曜日。家族三人で伊豆へ旅行。七時半に家を出る。狭山インターでちっちゃいパンとコーンスープを買ってもらう。父と母の間ではいつの間にか狭山でなにかを飲み食いすることが旅行前の決まりごとなつていたらしい。前富士山行つた時もそうだった。

朝はなんとなくうとうとして、御殿場のあたりでてんぷらそばときつねうどんとラーメンをそれぞれ食べて、そこで評判らしい鰯の丸揚げを一匹づつ食べた。天気は割とよくて、網代やら伊東やらのあたりはきれいな色の海だつた。熱海のあたりで甘いものが食べたくなつてみたらしだんごと汁粉ドリンクと杏仁豆腐をそれぞれ食べた。いろんなところにいつたらしが結構忘れているものだ。

途中トイレ休憩に寄つたうみえーるとかいう施設（多分夏は海水浴の案内所）のあたりで少し車から降りて歩いた。景色は微妙。お父さんが砂の数を数えられるかという不毛な疑問？を投げかけてきて二人に無視されていた。黄色いどぎつい色をした旅館がワインチエスターの屋敷のごとく増殖していく面白かった。

どこかに寄つていくか迷つたが、三時半ごろ早めに稻取の東海ホテル湯苑に着いた。露天を含めた二十種類近い風呂が評判のいい宿だったので、海が見える時間に露天風呂に入ったほうがいいと考えたからだ。ちょっと古めの外見からは想像できないきれいな内装で、風呂に至つては四年前に作つたばかりだという。広々して清潔しかも人が少なくてとてもよかつた。シャンプーも馬油と黒糖とあって、洗顔フォームもおなじみの茶と炭だつた。アメニティが安心して使えるのはかなり好印象。それにマッサージチェアが無料だつたのでしばしゆられてしまつた。

夕飯がまた豪華だつた。網代食堂でご飯を食べなかつたのは正解。入り口で刺身の種類の希望を聞かれて舞い上がつたのか、お母さん

が別注文でザザエとクルマエビの鬼殻焼きを頼んでしまった。もつと強く止めればよかつた。遠慮と思われたらしい。失敗。御座敷に通されて、後から後から料理が運ばれてテーブルに並びきらなかつた。ごま豆腐も、ちょっとした煮物の小鉢も、下から火をつけて温めるよせ鍋も、赤ワインゼリーまで何から何までおいしかつた。なんといつてもお刺身とカサゴの唐揚げ。唐揚げがくるころにはおかは一杯のはずなのに甘くて暖かい漬け汁の効果もあってかざくざく齧つて食べられた。熱くて身がふわふわでさくさくのざくざくで本当においしい。

日本酒もお母さんと分けて一合飲んだ。伊豆の里とあらばしり。伊豆の里のほうがちょっととろんとして、フルーティで飲みやすい。あらばしりは辛口。すっと溶けていくような感じ。

しばらく部屋で休んでからまた風呂に入った。時間で風呂が交代になるので食事前とはまたちょっと違つた風呂だつた。初めに入つたほうのローズ風呂が結論から言つて一番かも。寝つ転がるタイプの露天もよかつた。青空を仰いであつたかくてゆつたりして気持ちよかつた。風呂上がり足裏マッサージ機で悶絶したり楽しかつた。対して動いてないのに電気を消したらすぐ眠くなつた。

二十八日。また怒涛の朝食。湯豆腐はあるわ鯵の開きも脂乗つておいしいし、マグロのやまかけあるし、モーとにかくなんでもかんでもおいしい。おなががいっぱいになる。そういうえば朝ぶろの後に休憩所で金目鯛の味噌汁も飲んだ。こっちのほうが個人的には貝のそれよりおいしかつた。脂が浮いて濃厚なだしが出てた。

爪木崎を目指す。一緒に遊歩道を散策しててつくづく自分に筋力がないのを思い知る。やばい。寒くてだるいけど水仙が咲いてるのを見るの初めてで不思議。お父さんが意外と写メ好きなことを知る。昼ご飯はだれも食べる気にならなかつたので、とちゅうでコンビニのドーナツを分けたり飲むヨーグルトを飲んだり、塩辛屋で塩辛やまんじゅうやところてんなんかを試食したり、一の蔵のまんじゅうつまんだりして伊豆スカイラインと箱根スカイラインを通つて帰

つてきた。雲がすごいくて富士山は全然見えなかつたけれど、見えた
らす」」そつといふことはよくわかつたし、雲の隙間から太陽の光が
差し込む様子が不思議に幻想的でそれはそれでまたいものだつた。
あんまりちょくちょく車を止めておりたがるから最後のほうはちょ
つと嫌になつたくらい。

あんなにいろんな所へいつたのに覚えていないことが多くて情け
なくて悔しい。あと小さいころ自分がいかにすごかつたかエピソー
ドを聞かされると当然ながら落ちる。それがいまではこうですつて
「冗談なのもわかつてるけど、本当にその通りだよね。夢見せてごめ
んね。初めっからこんなだつて分かつてたら逆にあんなに口うるさ
くならなくて衝突もしなかつたし、塾に通うこともなくて激太りも
しなくて摂食にもならなくてそしたら当然万引きもしなかつたかも
しない。水商売もセルフ美人局みたいなこともしなかつたかも。
でもまあ終わっちゃつたことはしょうがないし、これからもこの
ままやつしていくしかないよね。ただ、昔は宏美があたしの後をおつ
かけてたつて話だけはいまだに耐性がつかない。つらすぎる。

一十九日。木曜日。何もしなかつた日。朝七時に起きてゆっくり朝食をとつたあとやつとの思いでTOEICの長文だけの問題を50分やる。勝率は五分の三。しかも何度か見た問題でだ。かなりやばい。のに力尽きて精読とかしないままに午前中いつぱいとうして（卒論やつてたころによくなつた現象。異常に眠い）、ホモ工口落書き書いて（どうせなら上手くかけよ。はだしの人の足がどうしても変）、昼ごろ雑誌を読みに行くと言つて外出。ジンの大瓶とヨーグルト一パック買つて帰宅した。母は坂戸で父しかいないので荷物検査はないのを見越してのことだ。ジンを買うのは初めて。アル中の門をぐぐるみたいでドキドキする。ヨーグルトは同じものを一個。ヤオコーで小岩井のヨーグルトを198円で買つてマルエツに寄つたら、238円の半額シールつきを発見してしまつたためだ。しかたないよね。食べなければ明日食べればいいし、ヨーグルトはお通じにいいしと言い訳しながら一つ田をパクパク空ける。ドトルでぱくつてきた低カロリーガムシロを途中で追加。午後はネットサーフィンばかりで勉強しない。だからだめなんだよ。

ルタオのチーズケーキが予想以上に甘かつたせいでスイッチが入つて、年明けまで持たせる予定だつたアーモンドを空けて、まんじゅうのかくしておいた分も食べて、吐いてしまつた。

夕飯は白菜の入つた鍋で、なんとなく罪悪感があつた。善意を吐いてしまつたような気がした。大晦日が憂鬱。

三十日。ホットケーキを食べて、ひろちゃんと大富で会つため出かけようとすると伊奈の実家に焼いたピザのおこぼれに預かつた。もちもちしておいしかつた。いい気になるから言わないけどお母さんの料理は世界一だと思う。

ひろちゃんと一人きりなのは妙に緊張する。嫌われたくないなと思つがゆえにぎりりなくわざとらしくなる。しかし「わたしらしさ」

つて何なんだといふ氣もする。そのくせ舞い上がつて失言とか気持ち悪い言動ばかり。何といわれると困るけどそんなだつた気がする。しかも中抜けして脱毛言つてるし。アスペルガーか私は。「私なら中抜けされても気にしないけど、「私」じゃないんだぞ今一緒に歩いてるのは。

昼食は迷つたあげくにワインバーみたいな個人経営のイタリアンで1000円のセットを食べた。ドルチエで選んだリングのシブーストが馬車道で昔頼んだそれと全然違つて小麦粉とカスターードを練つたような味がした。しかもめちゃくちゃ小さくて、ひろちゃんの頼んだオレンジのタルトがつらやましかつた。今度があつたら今度はタルトにしよう。

中抜け後はカラオケに行つた。喉が調子悪いのにいい気になつて声出したらがらがらで今喉痛い。回復しかけで何やつてるんだ私は。ロフトで見かけたふわふわの一 ハイソックスが気になつた。買えばよかつた。あとセシルマクビー ファビュラスの紺色のつるつるした素材のブラウス買えばよかつた。どうせあの手のものは3900円が損ねなんだから。

夕飯は大盛りカレーだつたけど罪悪感なくペロッと食べてしまつた。だからくびれがなくなるんだよ。

三十一日。生まれてきたことを後悔するくらいにひらくて汚くて苦しい最悪な年末年始だった。そもそも宏美が年越しライブであたしがおばあちゃんちに泊まらなきやいけない時点で嫌だつた。でも「かわいがつてもらつたのに」とか「おばあちゃんがさびしがつて」とか情を盾にされたら断れなかつた。断ればよかつた。歌舞伎のマックでも一人で年越ししたほうがよっぽどましだ。部屋の四隅に土が積もつてガラスは拭いても拭いてもきれいにならなくて、どこもかしこも汚くて臭くてとてもモノを食べた気がしないけど食べるものはそれしかないし、どこにいつても人がいて逃げられなくて本当に嫌だつた。

あげく一円もくれなかつた。

子供のころかわいがつてもらつたとか正直どうでもいい。大きくなれば宏美なんか掃除の手伝いもしないのに調子ばっかりよくて中トロも食べるし、坂戸にいたつて年賀状書いてるだけで横のものを縦にもしない癖におばあちゃんに愛想だけふりまいて夜になつたらとつと遊びに出る。おばあちゃんはひろみがいないからつてあたしに話しかけるし。宏美がいるときは宏美と喋つてたんだから代用品にするのはやめてほしい。汚いものばっかり家の中にため込んで。年をとつたのも一人暮らしなのもみつちゃんがいるのもいいわけにはならないと思う。いいわけばっかりして自分はひとつも痛い思いしないであたしとかお父さんとかお母さんとか「まともな」ひとにばっかり割をくわせて、見ず知らずの他人だのあのくそばばあだの豚だのばっかり大事にしてお金を一杯あげるんだ。馬鹿じやないの。せめてみつちゃんだけでも早く死ねばいいのに。生きてたつてつらいだけでしょ。自分でしょっちゅう言つてるじゃないか。さつさと実行すればいい。

とにかく不潔でみじめでたまらなかつた。まだ頭がかゆいような

気がする。せっかく仕事が休みだつたのに普段の仕事寄りつかれた。不幸にさせられた。絶対に許さない。死んだつて絶対泣かない。あたしを言いぐるめて連れてつたお母さんもお父さんも許さない。キーを打ちながら血が煮え立つような気がする。せっかくの年の瀬だつたのに。いろいろこつちにも予定とか楽しみとかあつたのに。ゆるさない。こんな不公平があつてなるもんか。みんな死ね。

そうだ、酒も飲ませてもらえなかつた。飲んだけど自腹だし、たつた一本なのにさんざん文句を言われた。喉が痛くて声も満足に出ないのにババアのくだらない話に相槌を声を張り上げてうたないと陰でねちねち文句を言われた。拷問にかけられたほうがましだつた。喉の調子は悪化した。こつちはこれが商売道具だつてのに。

一日。最悪な目覚めだつた。むしゃくしゃして下剤を飲んだせいで。胃の気持ち悪さで目が覚めて、幸い吐いたりはしなかつたけど一晩まんじりともしなかつた。ゴキブリが口に入つてくる夢とか、汚い土の上に裸みたいな恰好で寝なきやいけない夢とかを見て、生まられてきて一番不幸だつた。

昨日と同じようにずっと掃除させられるし。汚いものをいくら掃除したつて汚ねえんだよボケが。みんな死ね。死んでしまえ。

喉は悪化した。痛くてたまらない。それでマスクしるとか明日遊びに行くなど意味がわからない。誰のせいでこうなつたと思ってる。なんであたしがてめえらに散々不幸にさせられて、拳句自分の都合をキャンセルしなきやいけないんだ。ほんと話のわからない馬鹿は死ねよ。

家に着いてからも全身が汚れている気がして、全部着替えても落ち着かなくて、風呂に入つて全部洗い流してそれでもそわそわした。あんな汚い所に行くくらいなら死んだほうがまし。もう誰が何と言おうと絶対行かない。あれと一緒にいるほうがましだつた。あたしが悪かったよ。畜生。お年玉くれたらまだよかつたけどくれないし。一番大変な時期のことなんてどうでもいいんだ。あたしの喉が

使い物にならなくなるより自分の話の相槌をうたせたいんだ。じゃあおまえが給料払えよ。なんで無料の人間のほうをこき使つて、金持つてくやつらに甘くてなんでもあげるんだよ。ボケボケボケ。死んだって葬式行かないからな。知ったことじやない。
どうか明日には少し体調戻りますように。

一月八日

一日。初売りに渋谷へ行く。十時についたら駅前は福袋をいくつも抱えた女の子であふれかえつて、福袋買わないつもりだったのに悔しい気持ちになつた。なんか取れないかと思ってたけどガードが固くてかなわず、（よかつた）結局ローズブリットの一万円の袋を買つてしまい、後悔した。

ほしいものが分からなくなつて若干グロッキーになりつつ食べた500円のアラビアータは味がしなかつた。咳がずっと止まらなくて声もガラガラで、午後から理絵ちゃんとあつたわけだけど申し訳なかつた。

初め、彼女が母親への誕生日プレゼントをいつまでもいつまでも決めかねているのでちょっとといらいらした場面もあつたけど楽しく過ごせた。数少ないまともな友人だから大事にしたい。やっぱり同じ年の女の子がいろいろありつつ頑張ってるのを見ると自分だけじゃないんだなと力になる。

夜は大富のサブウェイでアボガドベジ を食べて勢いをつけた後、マーキュリーの気になつてたマント風コートを衝動買いしてしまつた。一万六千円成。

三日。反場強引に家で療養。でも少しもよくならない。五日は出かけるつもりだからまあこういうのもいいかな。昼ごろ餅食えと起こされたけど食べなかつた。運動不足で腹のたるみがやばい。でも動きたくない。

四日。この日も家でだらだら。何があつたのかいまいち思い出せない。なんてあほな休日の過ごし方だろ？ 全然有意義じゃない。

五日。明日学校とか憂鬱すぎる。最後の悪あがきで新宿へ。バーゲンは大体みんなめぼしいものは出切つてて、後は二月とかに最後の値下げを狙うべきか。

西口の「元気な食卓」へ。平日は1200円で生野菜サラダバー

とカレー やパン、フリッターなど。シズラ とは一長一短というところか。まず接客はよくない。狭苦しいところへ座られそうになつたので、混んだら出ますからと強引に四人がけ席へ。一時くらいちょっと焦つたけど、満席になんてならなかつた。生野菜はいいけど、料理っぽいサラダはなし。カレーはおいしかつた。ドリンクの種類が多いのもいい。ただデザートはまずいゼリーのみ。おいしかつたカボチャのロロッケは途中ででなくなる。御倉があつたので吐きやすかつたのはよかつた。

一時くらいまで粘つて、洋服を物色。わりと早めに帰つてきた。また性懲りもなくなつちゃんにメールしてしまつた。いい加減気持ち悪い自分。もうやめよう。

六日。朝から学校。午前中寒くて寒くて死ぬかと思つた。明日が憂鬱だ。咳はやっぱり止まらない。病院に行く必要があるのか。やだな。

出勤している教員は少なかつた。

夕方、父の内視鏡検査が異常なしだつたとメールがあつた。お祝いに母がババロアつくつたらしい。甘いもの食べないで帰つてきてねと言われたのにゆで卵持ちこんでしまつた。何やってるんだ。

もつとも家に帰つてきたら母以上に浮かれた父が豆大福8個も買ってきていてババロアは翌日になつたんだけど。咳が止まなくて眠れない。

七日。信念初顔合わせ。こういう、どつちを向いていたらいの分からぬイベントは本当に嫌いだ。ビビりまくつて集合の一時間前に着いてみたら、上村先生だけが所在なさげに入口に立つていた。はじめだけはお互いほつとしたものの、やつぱり会話は続かない。なんなんだろう。警戒されてるのか。心配しなくてもあたしなたに興味ないですよと言いたくなる。

ついビール飲んじゃつて後悔。長い時間の間中、咳の発作と「ばつかじやねーの」という本心のつぶやきに抗うのが本当に大変だつ

た。

午後、大富のなんたら「パートつての中の店で教員だけの打ち上げをやるのが定番だつたらしいけど、こつちは2時半新宿にひさびさの「テート」なのでこそそ帰つてきた。あと急に生理來たから薬局も行きたかつたし。

一縷の望みをかけてた龍角散はのどあれには聞くのかもしないけど咳を止めてはくれないし、合つてる間も咳しまくりだつた。しかもシャレで提案したらまじにスイバラ行くことになつてしまつて、つくづく、バイキングはひとりが楽しいなと思つた。がつがつ食べられなくてかえつて欲求不満になつた。

ティファニーで一番安い指輪を買つてくれたのは正直恥ずかしかつた。安いの安いのつて店の中歩き回るくらいならKISSとかで普通レベルの買つてくれたほうがデザインもかわいいのに。でもそんなこと言えなくてそのなんとも微妙なデザインのリングに喜んで見せた。

帰りダイエーで飲むヨーグルトと豆乳のアーモンド味を買つて飲みながら帰つたら、ヨーグルト熱が沸いてヤオコーでヨーグルトでかいの一つ買つて部屋で隠れ食い。来週から隠れないので済むの嬉しい（泣）

ハ日。まあもともとサボるつもりだつたけど、部活サボつて両親と富士山見に行つた。山中湖の小作でほうとうを食べた。驚くくらいおいしかつた。麺をちょっと食べすぎて嫌だつたけど、おいしかつたし、昼だし、木のことが多いし、よしとしたい。あつあつで野菜が多くて、具の大ぶりなカボチャも甘くてほくほくだつた。ご飯を食べていたらそれまできれいだつた富士山が雲にすっかり隠れてしまつてテンションが下がつたけど、山中湖、河口湖、西湖、精進湖^{うじ}と富士五湖五つのうち四つを制覇した。しつこじょうだがこの間咳は止まらない。

車に揺られて両親の話を聞きながらうとうとしているといふこと、いうこと

う時間がのこり少なくなっているなんて信じられない。蛇口をひねつたら出てくる水みたいにいつまでも持つていられるものだと思ってた。外に出て他人とかかわって、全然他人と親しくできない自分としてはこんなに近くにこんなに長い間そばにいてくれた人たちつて奇跡だと思う。口を開けば愚痴ばっかり言つてる自分が本当に情けない。あたしはそろそろ両親を守つてあげなきゃいけない立場のはずなのに、いつまで成熟しないこどものままでいるつもりなんだろう。もっとじっかりしなきゃ。泣いてばっかりだった宏美はりっぱに成長して明日は成人式だつて。時間が飛んでいくみたいに過ぎていく。お父さんが、むかしみんなで旅行している最中、いつまでもこのままだつたらいいって言つっていたのが最近本当によくわかる。世の中で一番悲しいことは世界がよどみなく動き続けることです。幸せだと、幸せじゃなかつたころにいた傷が今更痛んでくる。狭山のSAで狭山茶ソフトを食べた。おいしかった。でも最近甘いものつてあの半分を半額でほしいうことが多い。最初の一口以外は惰性だわ。

病院、どこ行こう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6157u/>

樋口葉子の日常

2012年1月8日21時46分発行